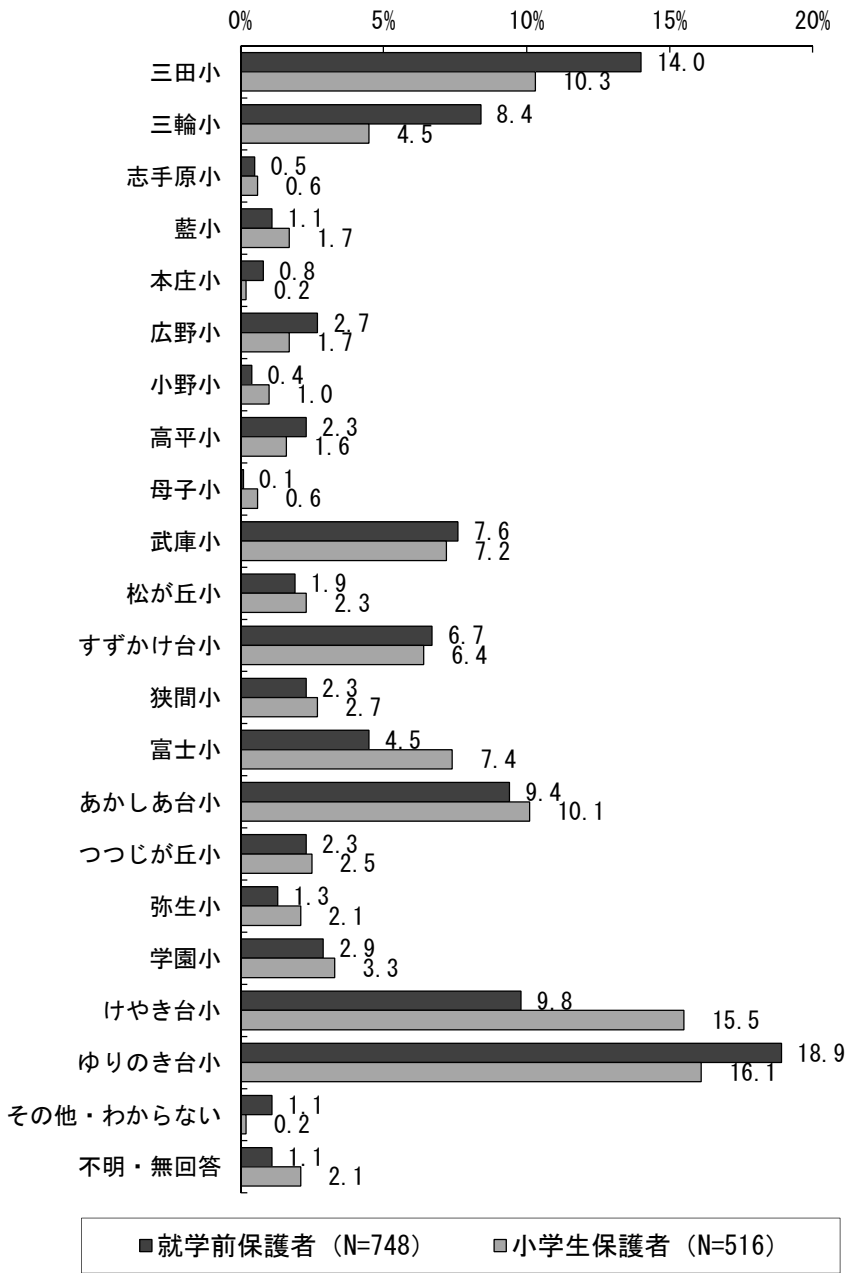


## 1. 保護者調査の結果（就学前・小学生）

就学前児童保護者を対象とした調査と、小学生児童保護者を対象とした調査は、多くの調査内容が共通しているため、結果を併せて記載します。問番号については、設問数の多い就学前児童保護者対象の調査票のものを採用しています。

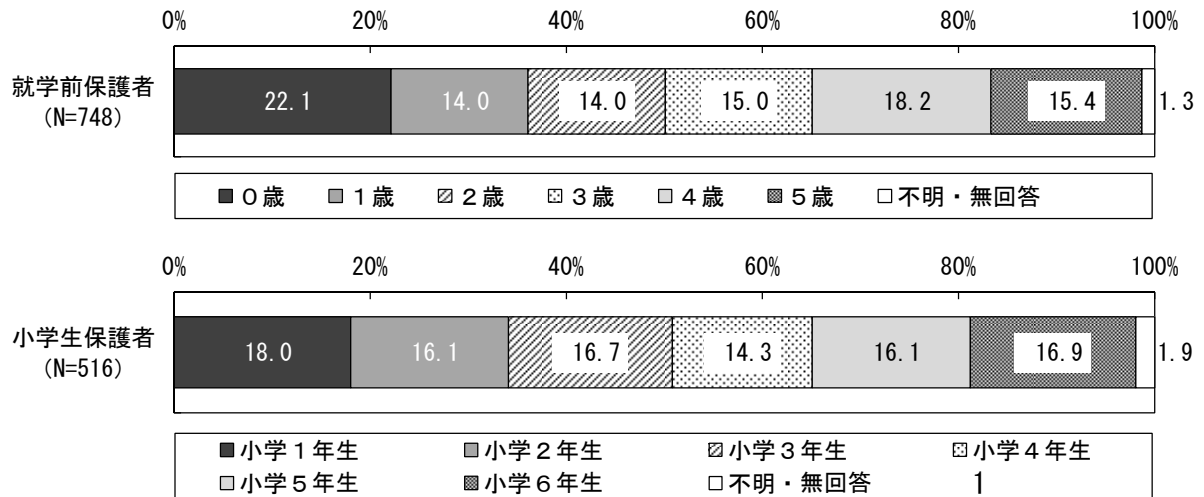
**問 1 お住まいの小学校区はどちらですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。**

就学前はゆりのき台小学校区、三田小学校区が多く、小学生はゆりのき台小学校区、けやき台小学校区が多くなっています。



問2 宛名のお子さんの生年月を、( ) 内に数字でご記入ください。(小学生保護者調査では「宛名のお子さんは何年生ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。）」

就学前については、記入された生年月に基づく学年(4月1日時点の年齢)を記載しています。

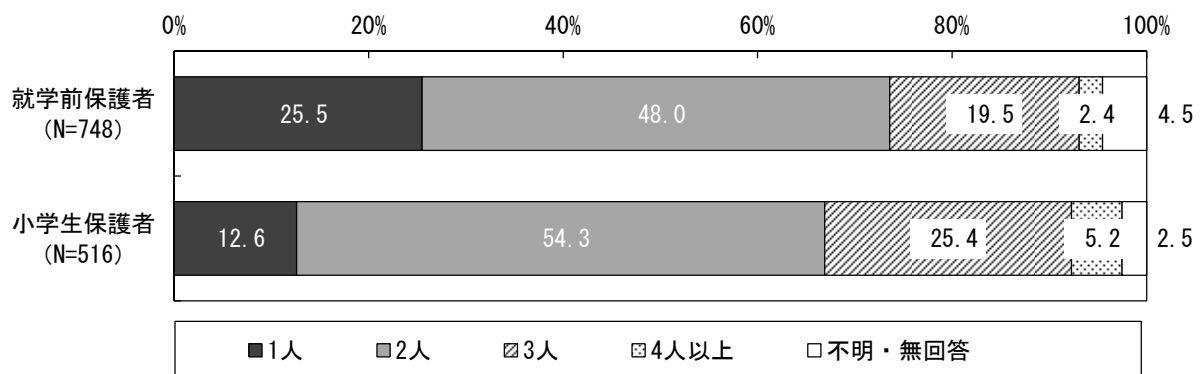


※小学生については、「その他」という選択肢を調査票では用意していましたが、回答はありませんでした。

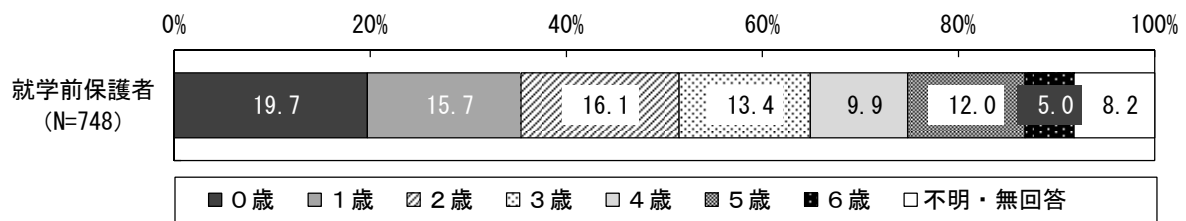
問3 問3 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を( ) 内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

いずれ調査においても、2人きょうだいが最も多く、次いで就学前では1人、小学生では3人が多くなっています。これは、保護者の年齢層の違いによるものと考えられます。

きょうだい数

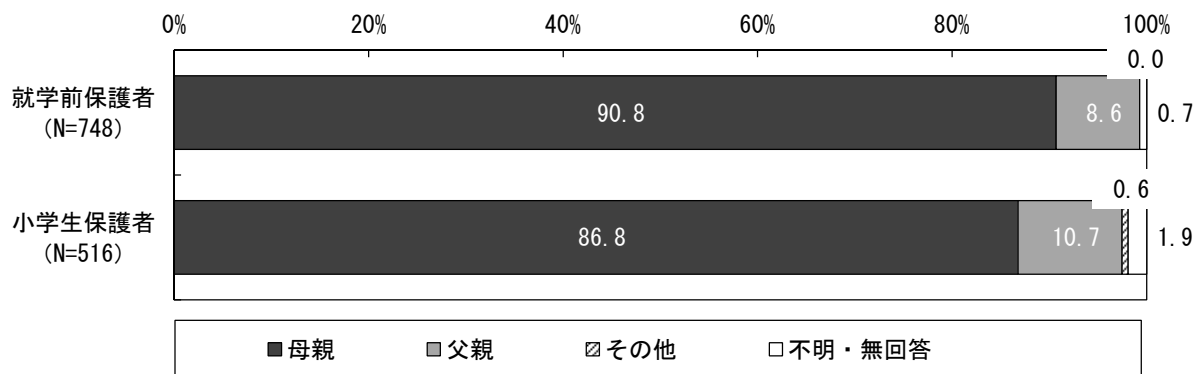


末子の年齢（小学生保護者調査では質問していません）



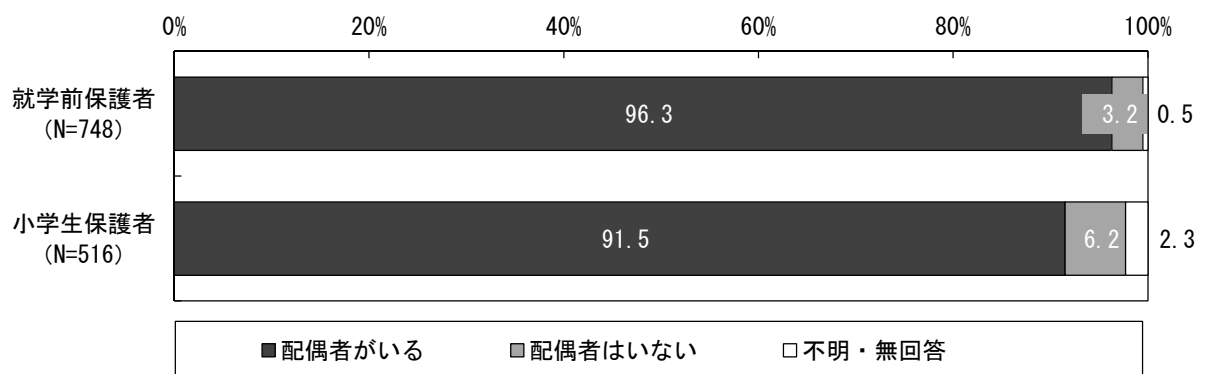
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

いずれの調査も「母親」が約9割となっています。



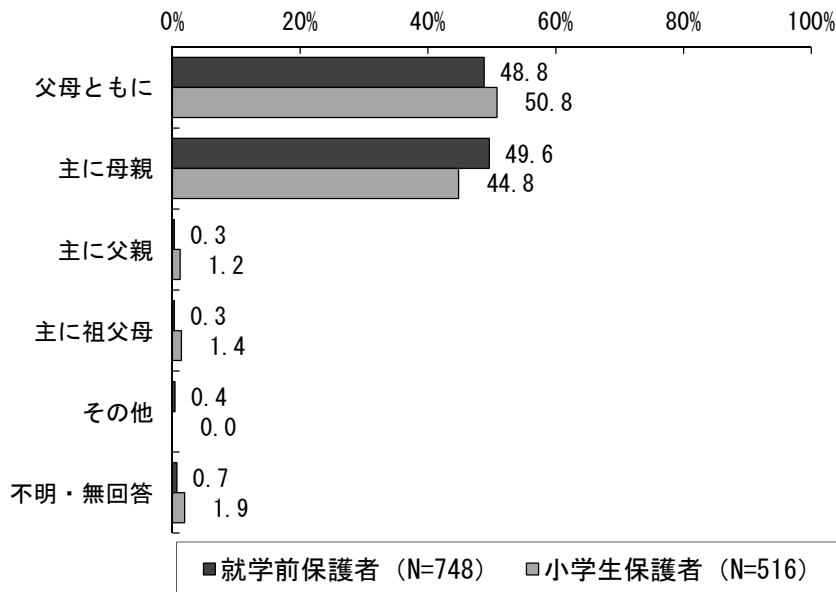
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

「配偶者はいない」は、就学前で3.2%、小学生で6.2%となっています。



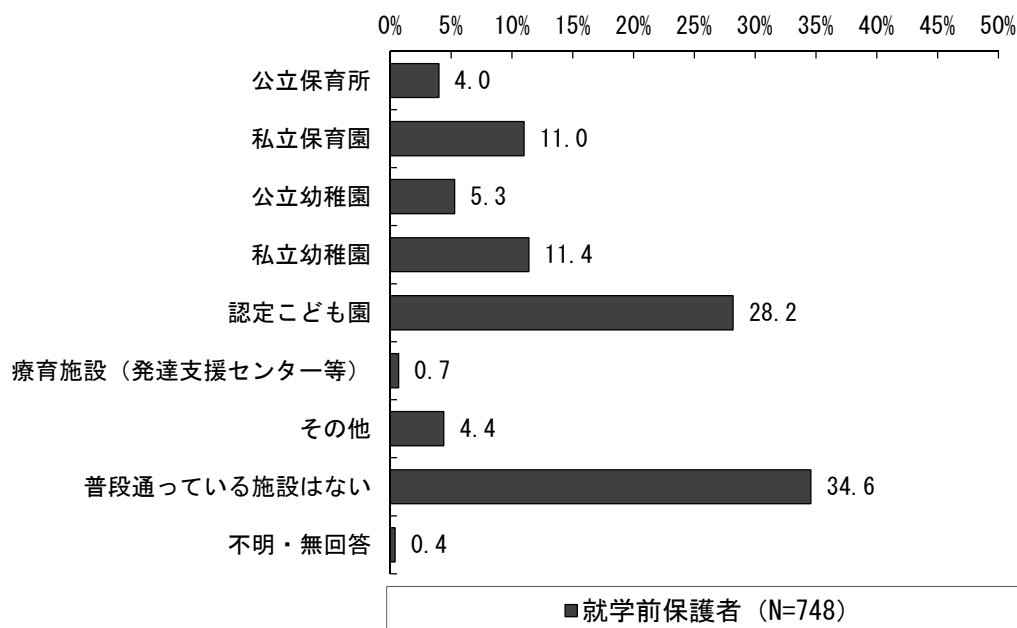
問6 家庭で宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

いずれの調査も、「父母ともに」と「主に母親」が約半数ずつとなっています。就学前の方が、「主に母親」がやや多くなっています。



問7 宛名のお子さんが普段通っている施設はどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。【就学前のみ】

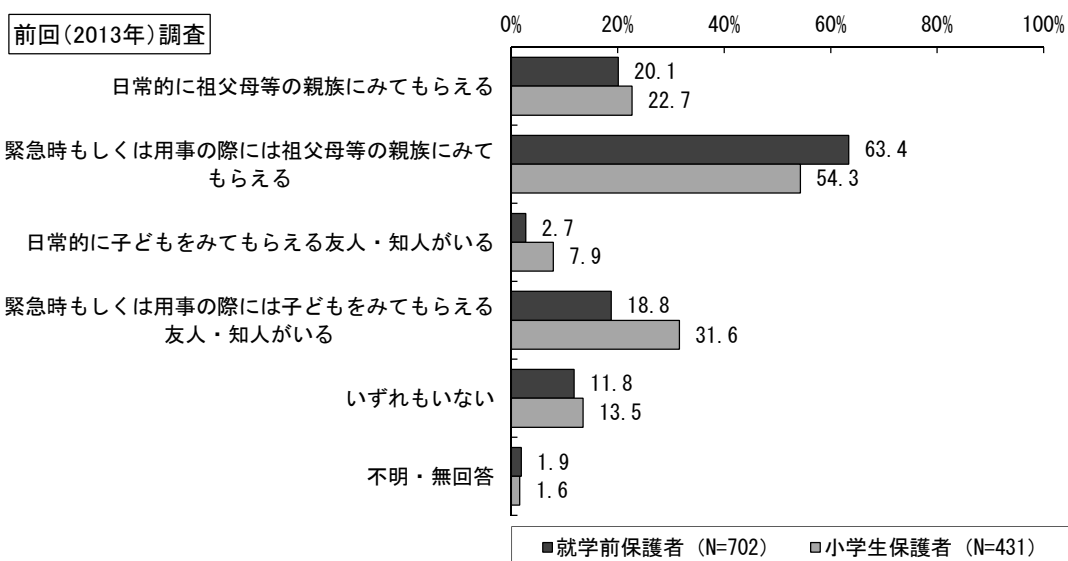
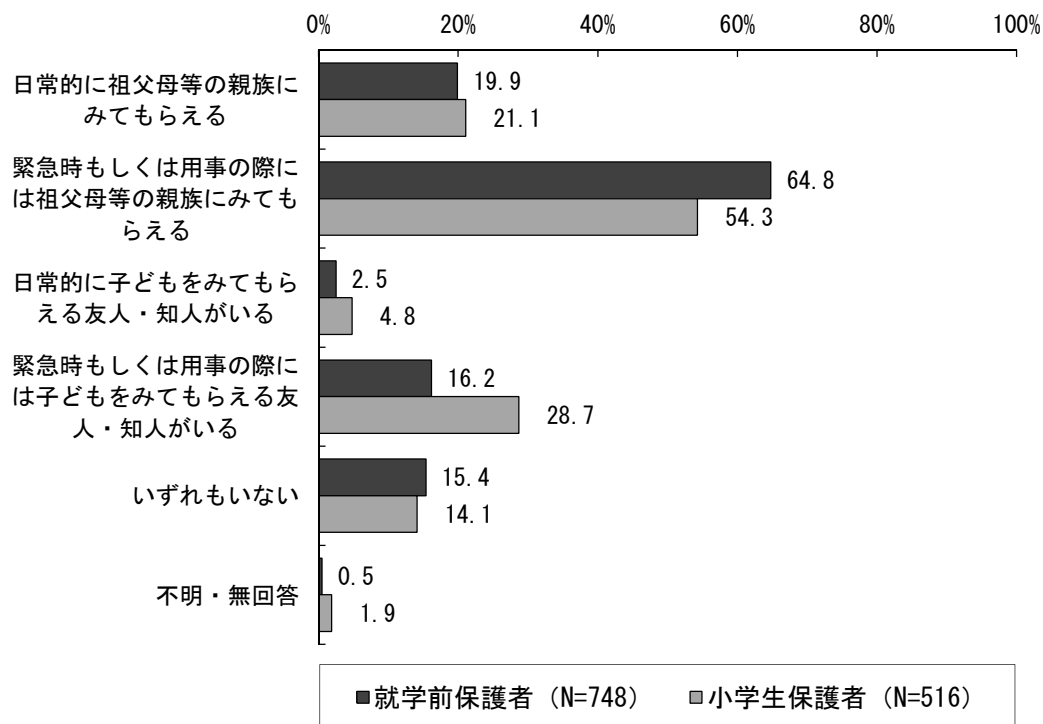
「普段通っている施設はない」が34.6%で最も多く、次いで「認定こども園」28.2%となっています。公立・私立を合計すると、保育所・保育園は14.0%、幼稚園は15.7%となります。



問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

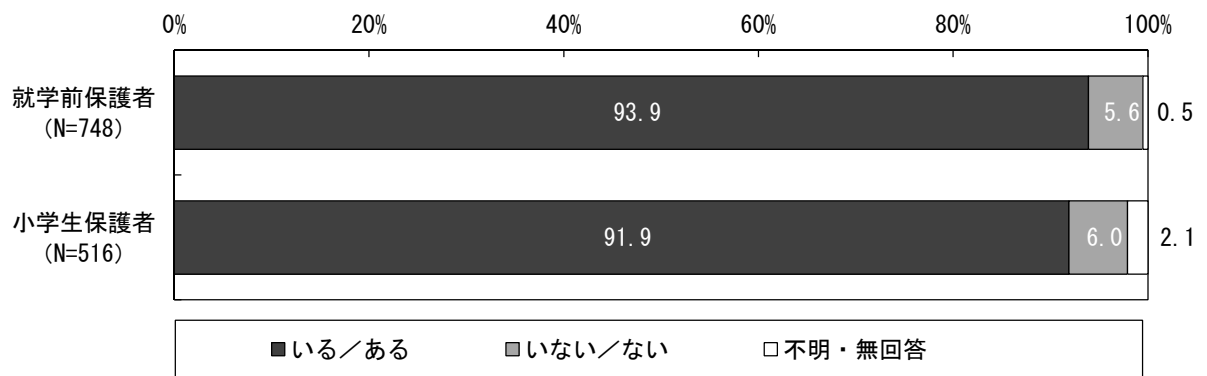
いずれの調査も「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も多くなっています。「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」は就学前16.2%、小学生28.7%と差があります。「いずれもない」は就学前15.4%、小学生14.1%となっています。

前回調査と比較すると、就学前で「いずれもない」がやや増加しています。



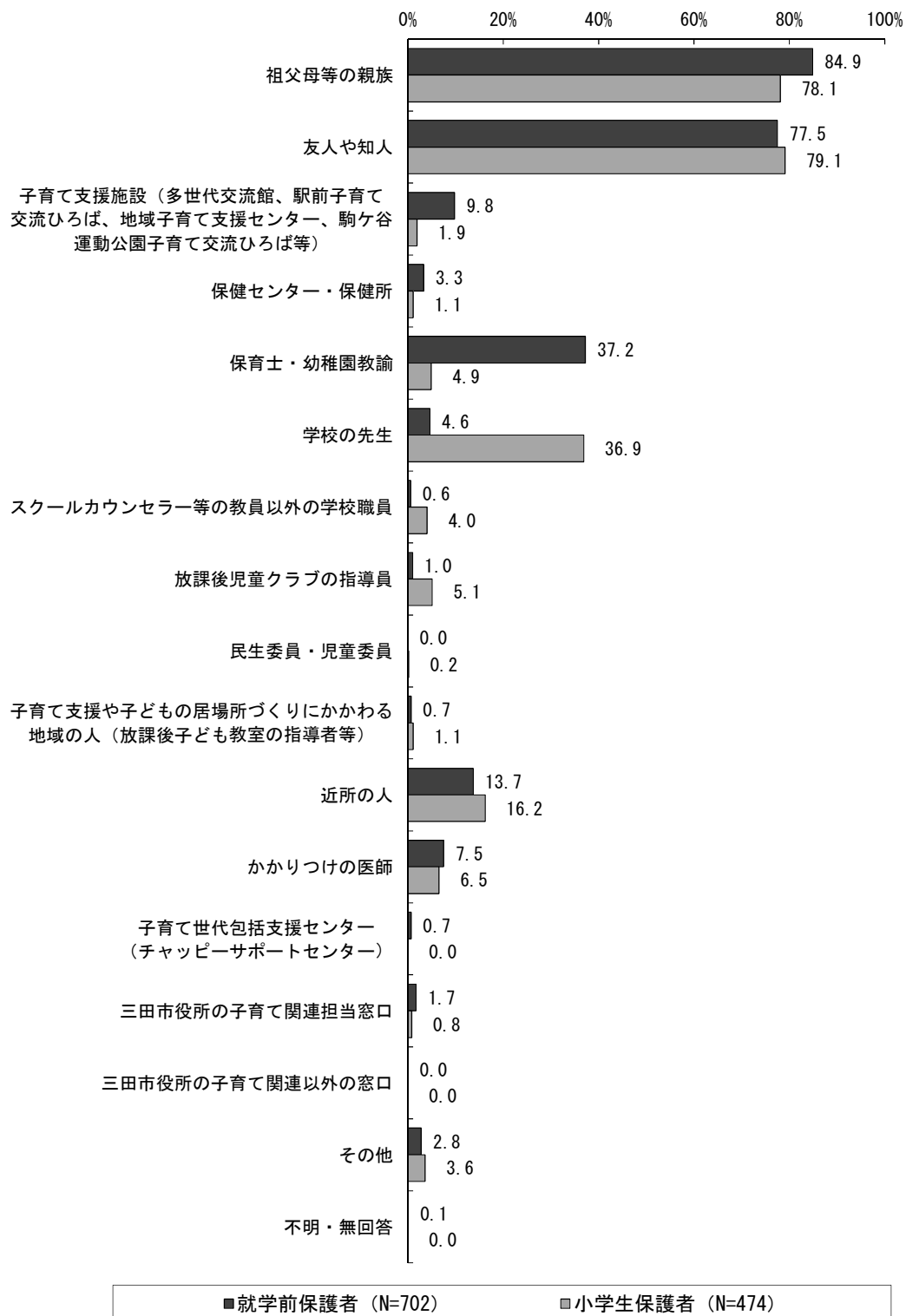
問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

いずれの調査も9割以上が「いる」と回答しています。「いない」は就学前5.6%、小学生6.0%となっています。



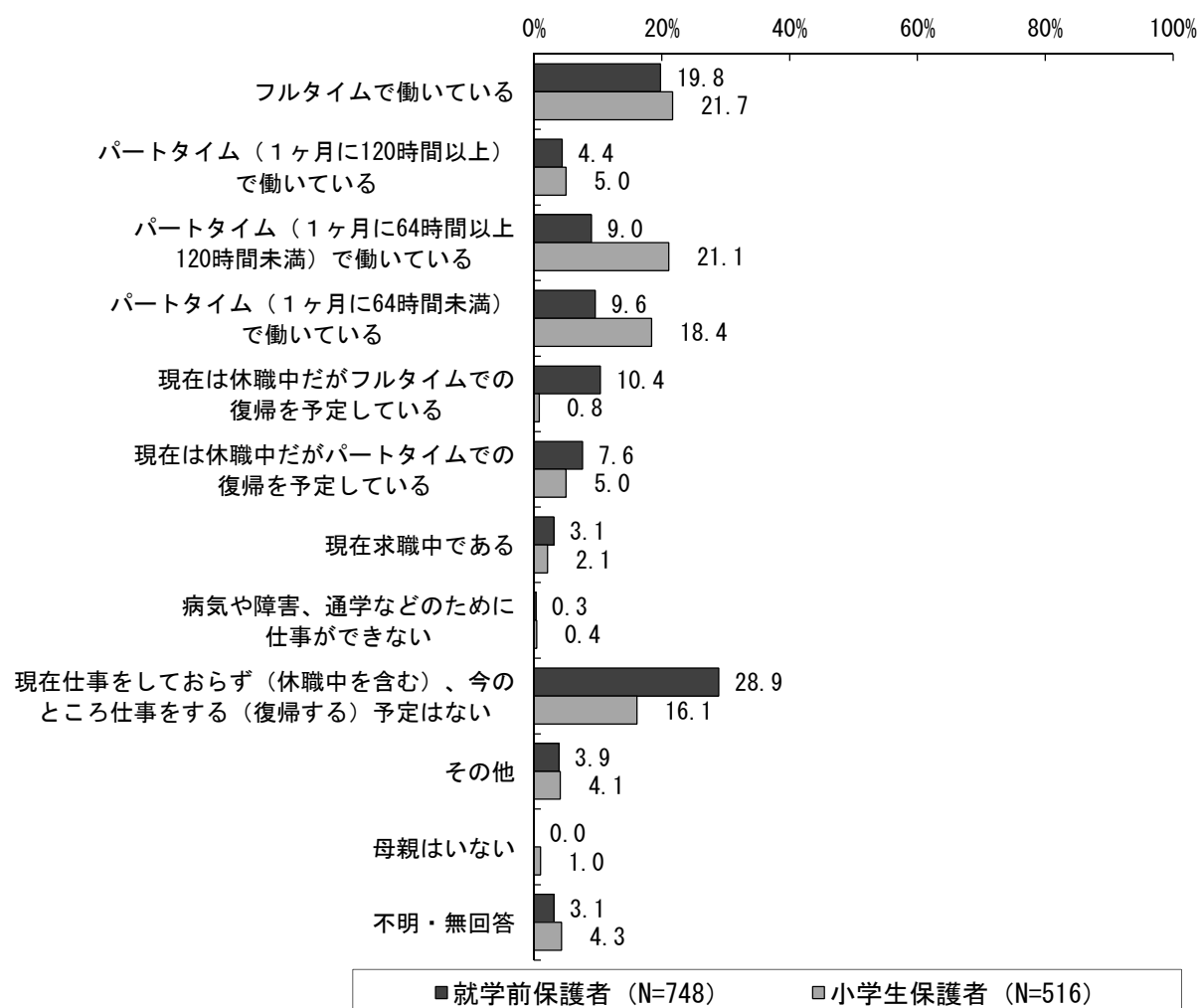
問9-1 問9で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

相談先としていずれの調査についても「祖父母等の親族」「友人や知人」が約8割と多くなっています。次いで、就学前では「保育士・幼稚園教諭」、小学生では「学校の先生」が多くなっています。



問 10 宛名のお子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者としての就労を含む）について、当てはまる番号1つに○をつけてください。2カ所以上で就労されている場合は、合計の時間数でお答えください。

就学前は「現在仕事をしておらず、今のところ仕事をする予定はない」が 28.9%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が 19.8%となっています。小学生では「フルタイムで働いている」が 21.7%で最も多く、次いで「パートタイム（1ヶ月に64時間以上120時間未満）で働いている」が 21.1%となっています。就学前と比べて小学生の方が就労している母親が多くなっています。前回調査とは、質問の形式が異なっていますが、仕事をしていない人の割合が減少し、休業中の人割合が増加しています。



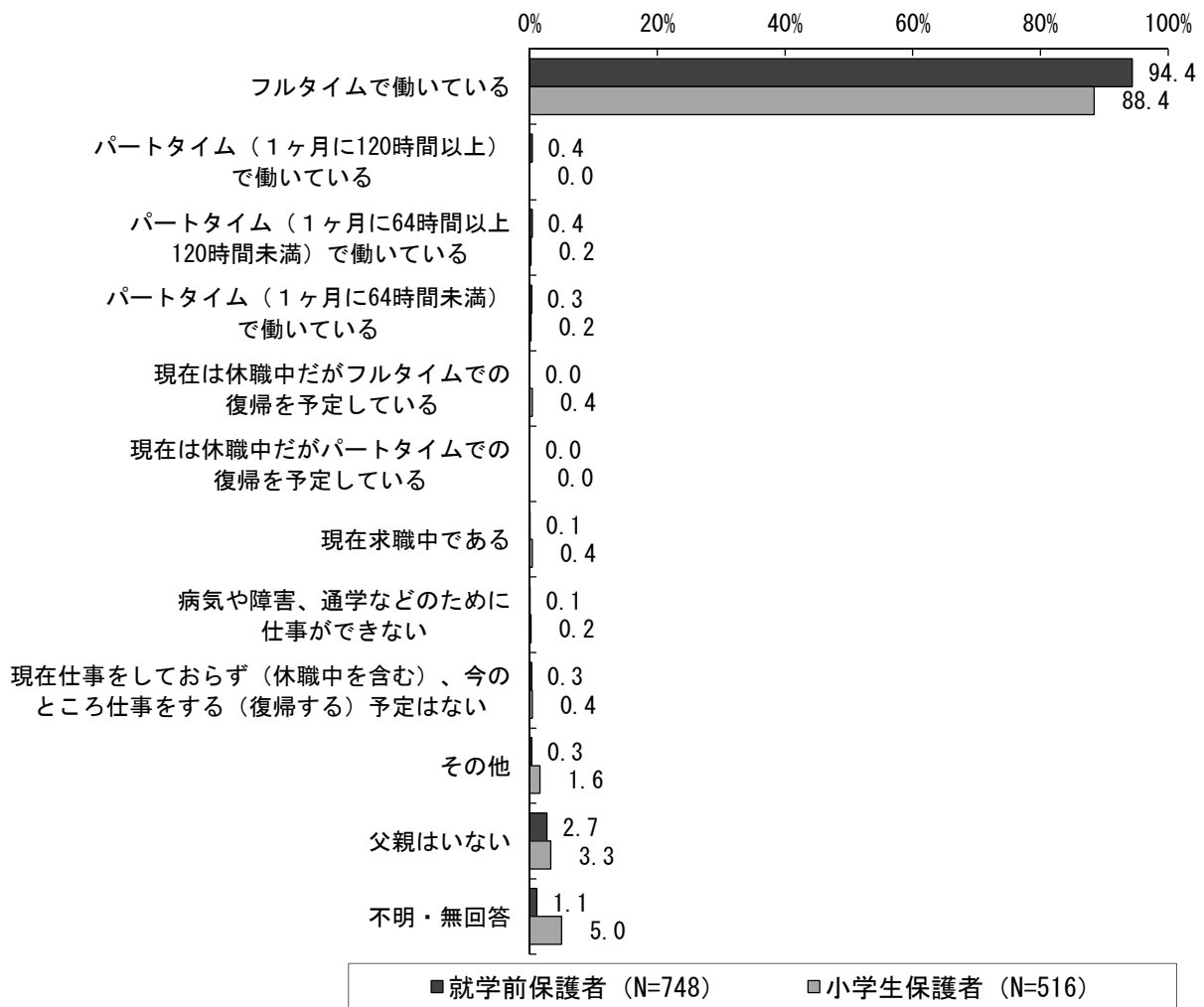
前回(2013年)調査

	就学前保護者 (N=702)	小学生保護者 (N=431)
フルタイム	16.7	18.6
フルタイム【産休・育休・介護休業中である】	4.3	0.2
パート・アルバイト等	17.8	44.5
パート・アルバイト等【産休・育休・介護休業中である】	0.6	0.7
以前はフルタイム又はパート・アルバイト等で就労していた	43.6	19.3
これまで就労したことがない	14.0	13.9
不明・無回答	3.1	2.8



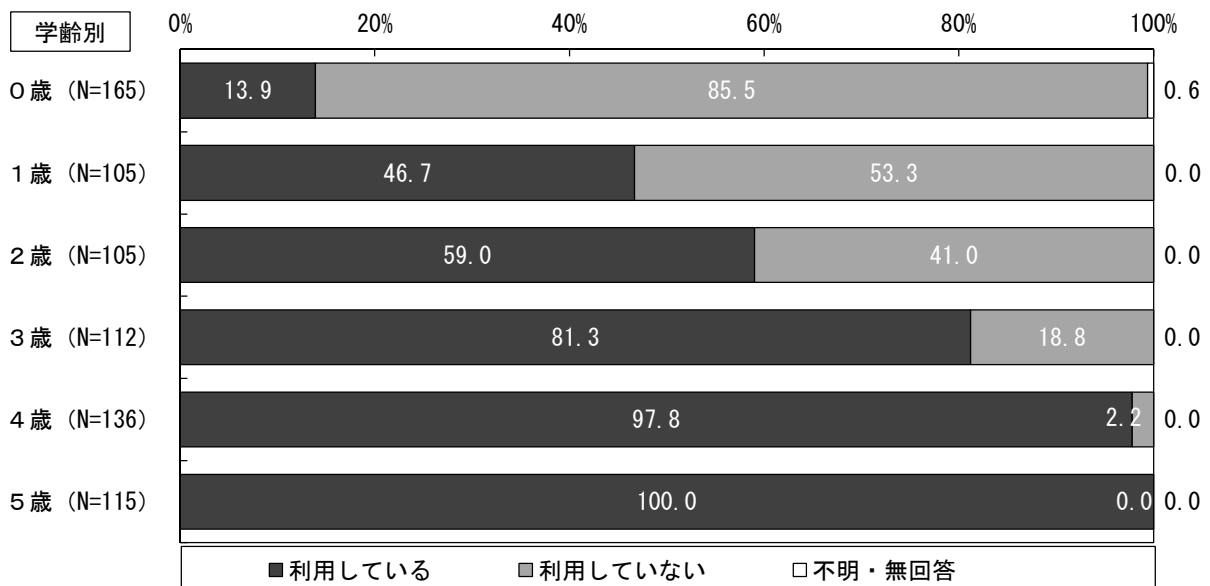
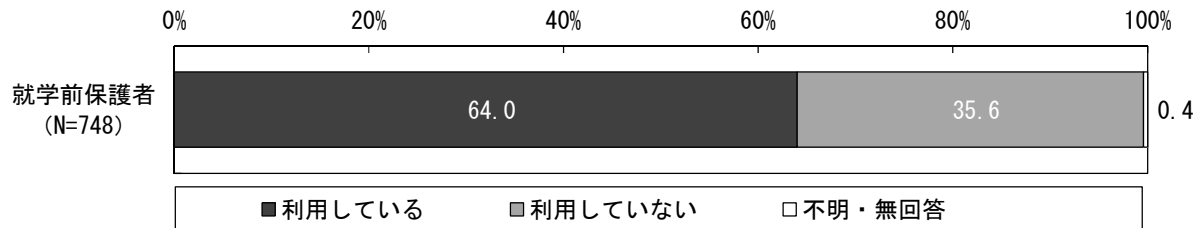
問 11 宛名のお子さんの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者としての就労を含む）について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。2カ所以上で就労されている場合は、合計の時間数でお答えください。

父親については、いずれの調査も回答のほとんどが「フルタイムで働いている」と回答しており、フルタイム以外の就労はわずかとなっています。



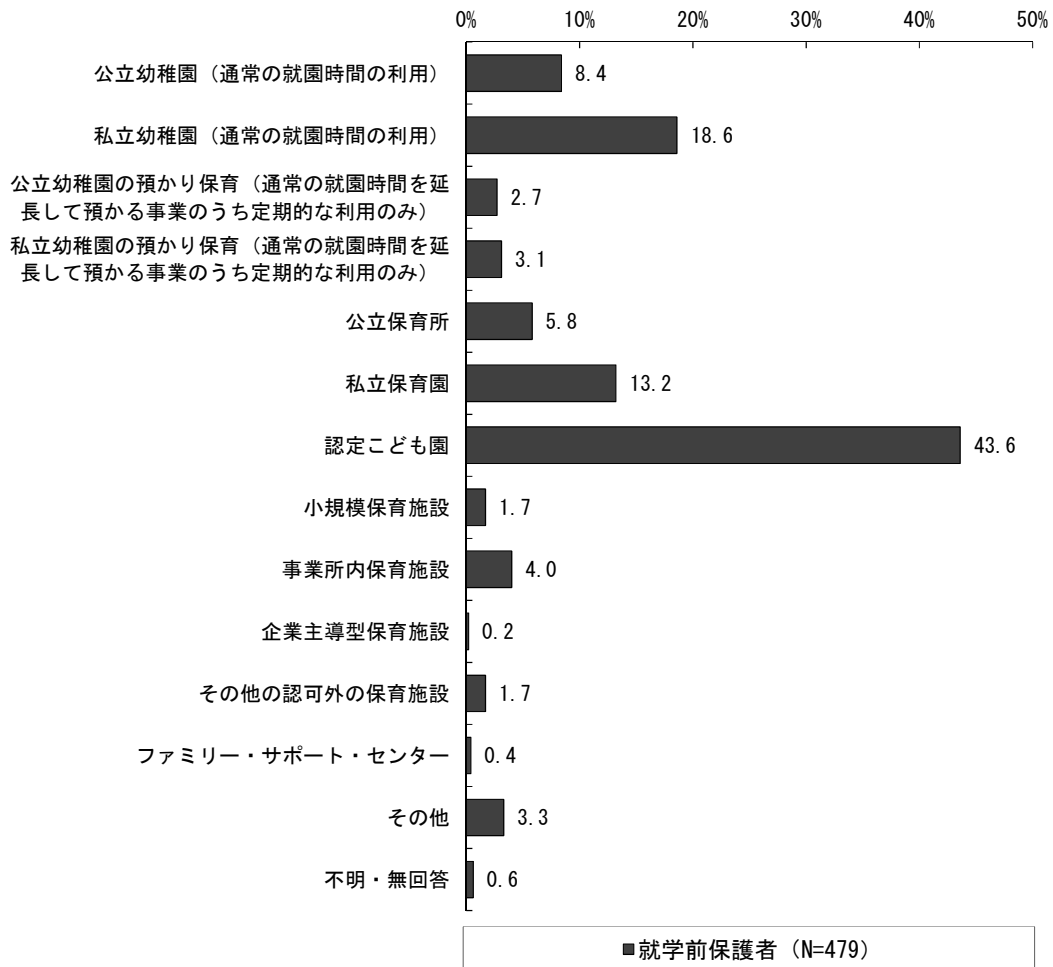
問 12 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所（園）などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。【就学前のみ】

64.0%が「定期的な教育・保育事業」を利用していると回答しています。子どもの年齢（学齢）別にみると、0歳での利用は13.9%で、年齢が上がるほど「利用している」が多くなっています。



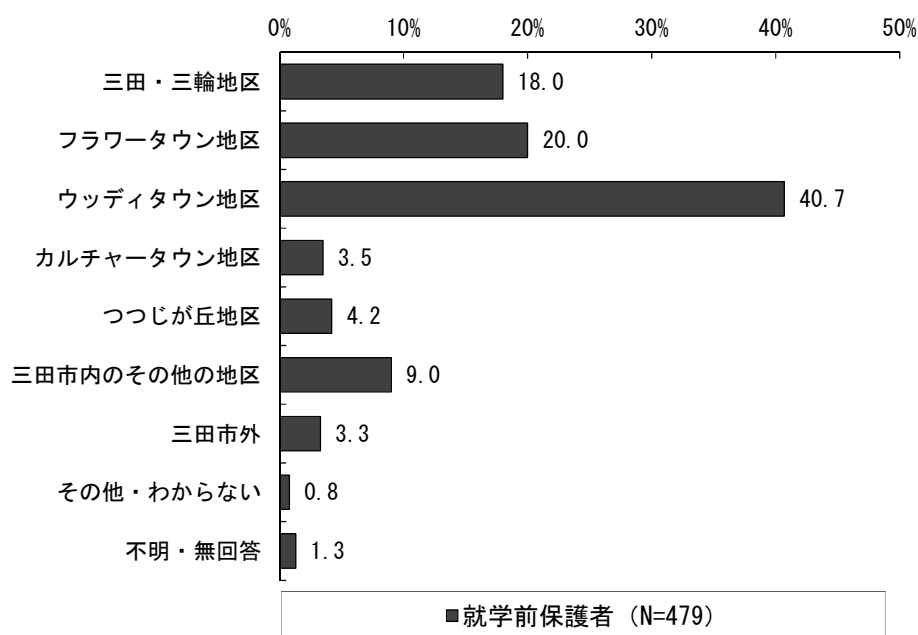
問 12-1 問 12 で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答・就学前のみ】

「定期的な教育・保育事業」を利用している就学前児童については、「認定こども園」が 43.6% で最も多くなっています。幼稚園の預かり保育については、公立幼稚園利用者の 32.5%、私立幼稚園利用者の 16.9% が利用しています。



問 12-2 問 12 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答・就学前のみ】

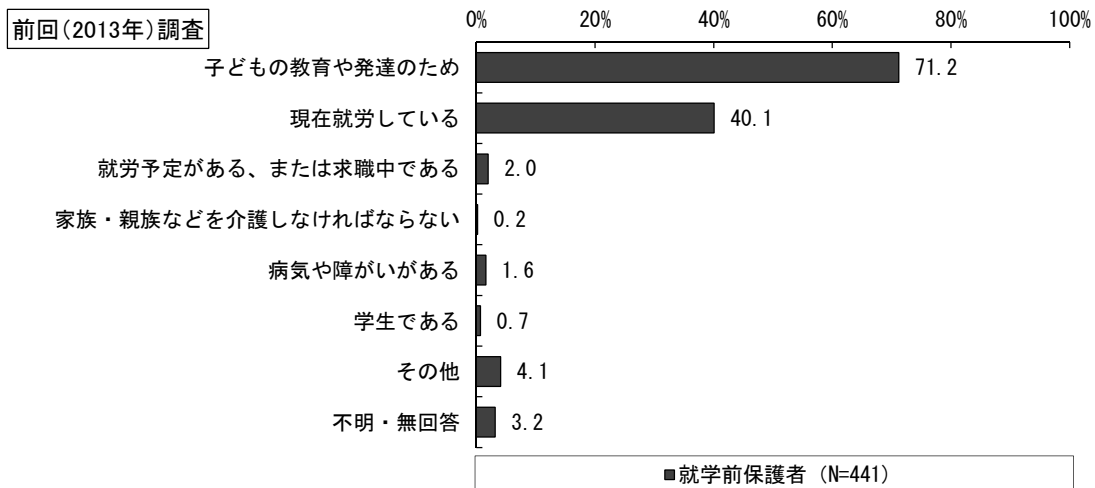
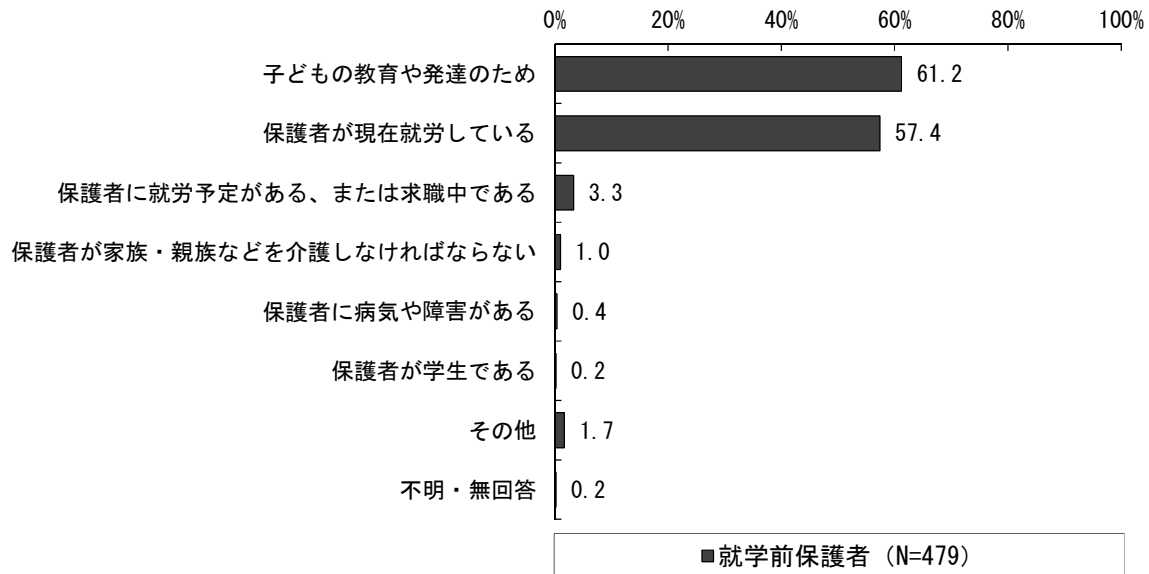
現在利用している「定期的な教育・保育事業」の実施場所については、「ウッディタウン地区」が 40.7%で最も多く、次いで「フラワータウン地区」20.0%、「三田・三輪地区」18.0%となっています。



問 12-3 問 12 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答・就学前のみ】

「定期的な教育・保育事業」を利用している理由については、「子どもの教育や発達のため」が61.2%で最も多く、次いで「保護者が現在就労している」が57.4%となっています。

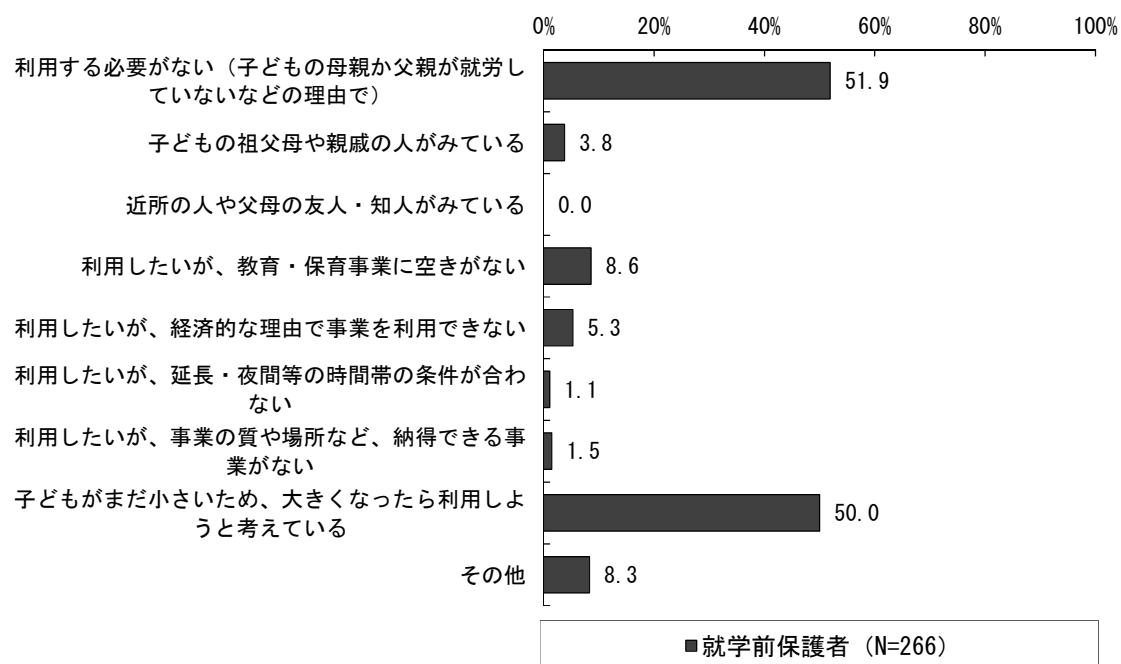
前回調査と比較すると、「子どもの教育や発達のため」が減少し、「現在就労している」が増加しています。



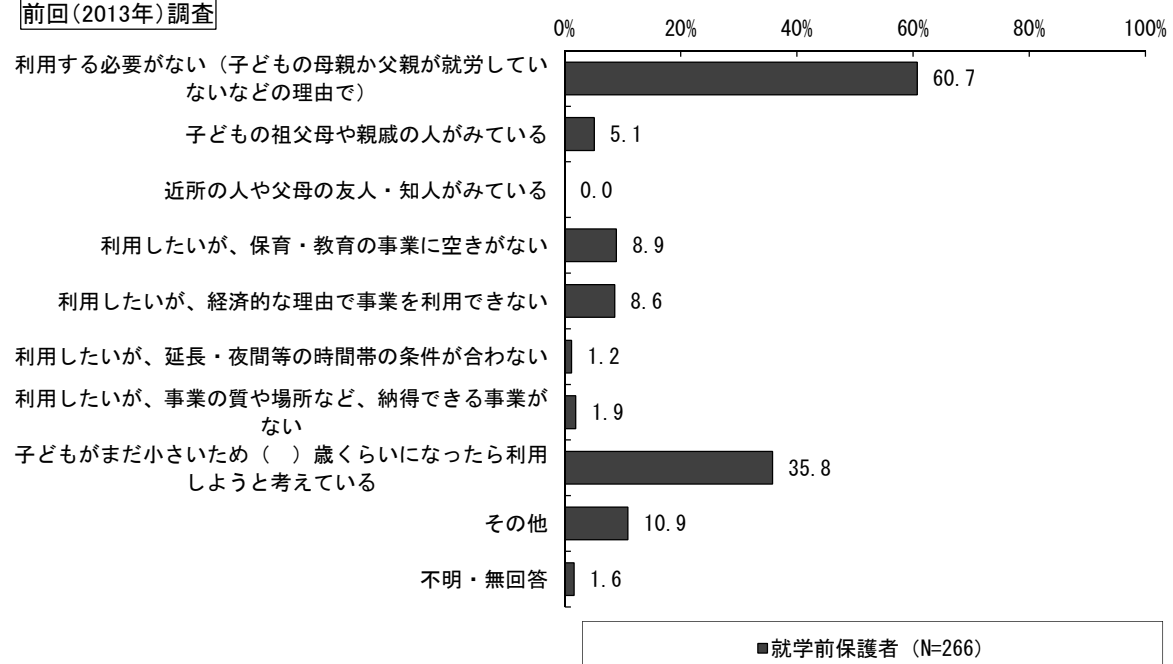
問 12-4 問 12 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答・就学前のみ】

「定期的な教育・保育事業」を利用していない理由については、「利用する必要がない」が 51.9% で最も多くなっています。一方で、「利用したいが、教育・保育事業に空きがない」が 8.6%、「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」が 5.3%あります。

前回調査と比較すると、「利用する必要がない」が減少し、「子どもがまだ小さいため大きくなったら利用しようと考えている」が増加しています。

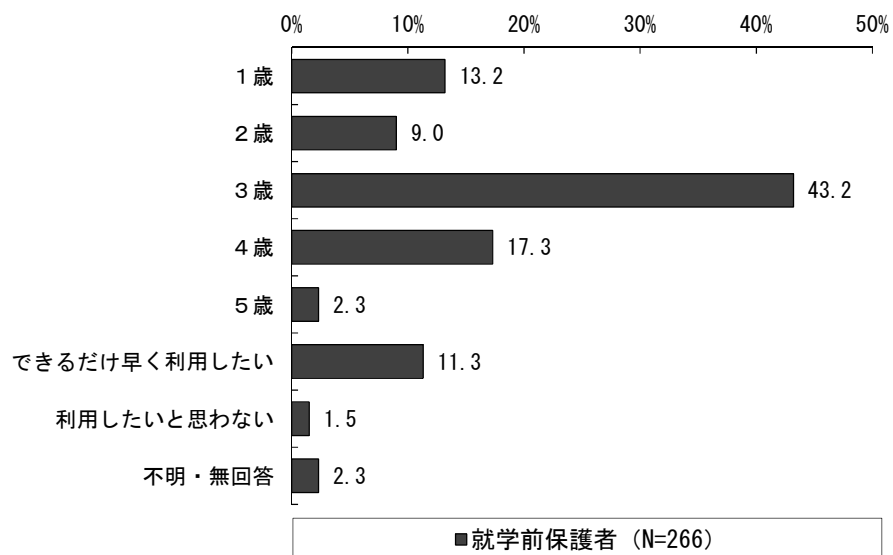


前回(2013年)調査



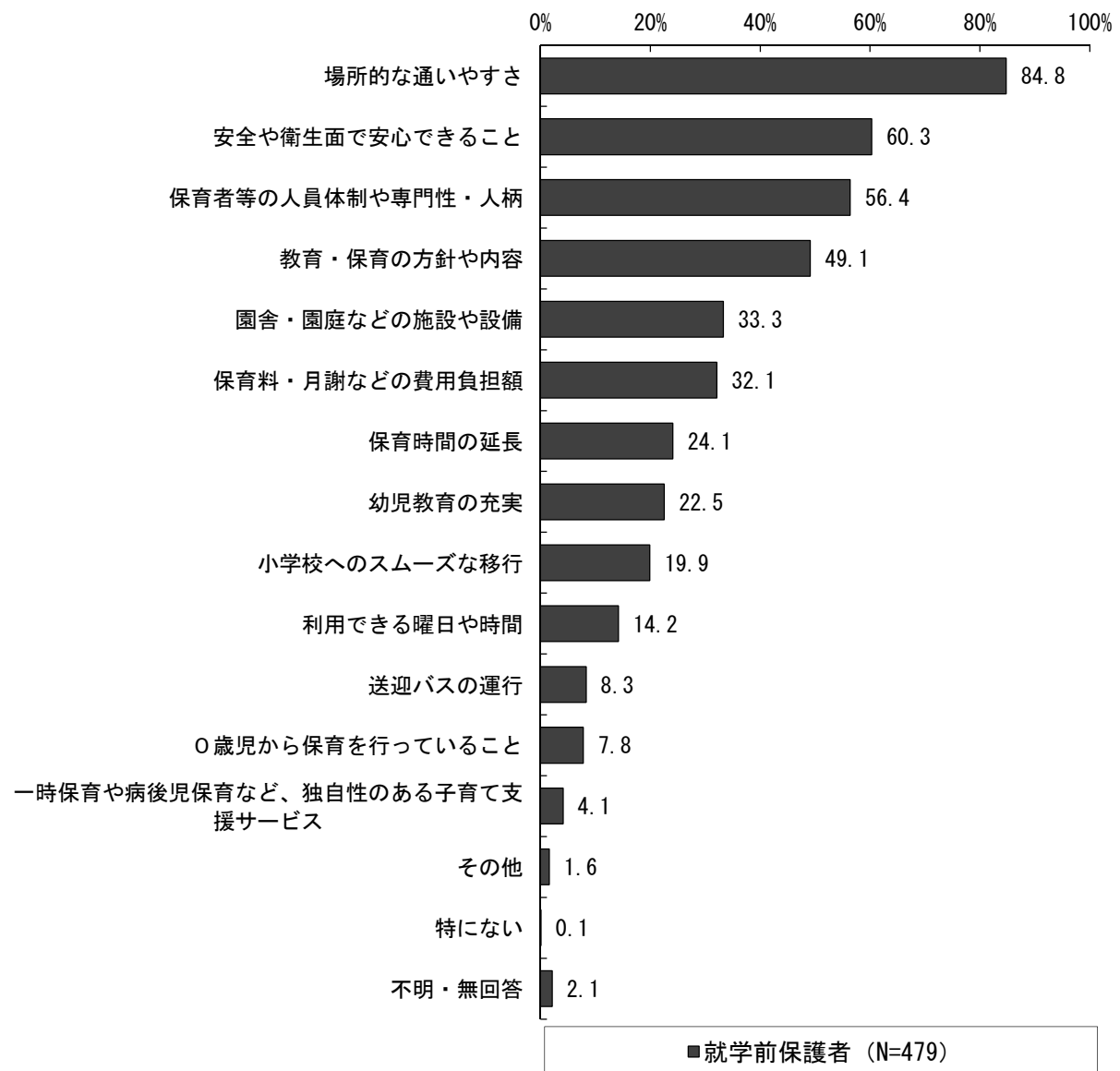
問 12-5 問 12 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。お子さんが何歳になったら、定期的な教育・保育事業を利用したいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。【就学前のみ】

「定期的な教育・保育事業」の利用を始めたい子どもの年齢については、「3歳」が43.2%で最も多くなっています。



問 13 宛名のお子さんの平日の教育・保育事業を選ぶ際に、重視することについてうかがいます。当てはまる番号5つまで○をつけてください。【複数回答】

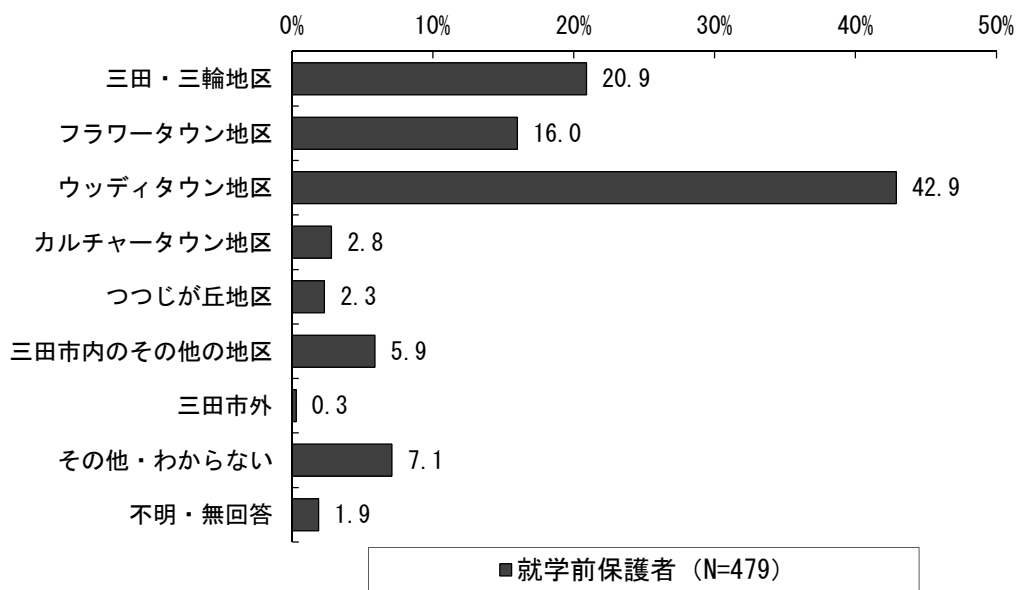
平日の教育・保育事業を選ぶ際に重視することについては、「場所的な通いやすさ」が84.8%で最も多く、次いで「安全や衛生面で安心できること」60.3%、「保育者等の人員体制や専門性・人柄」56.4%となっています。





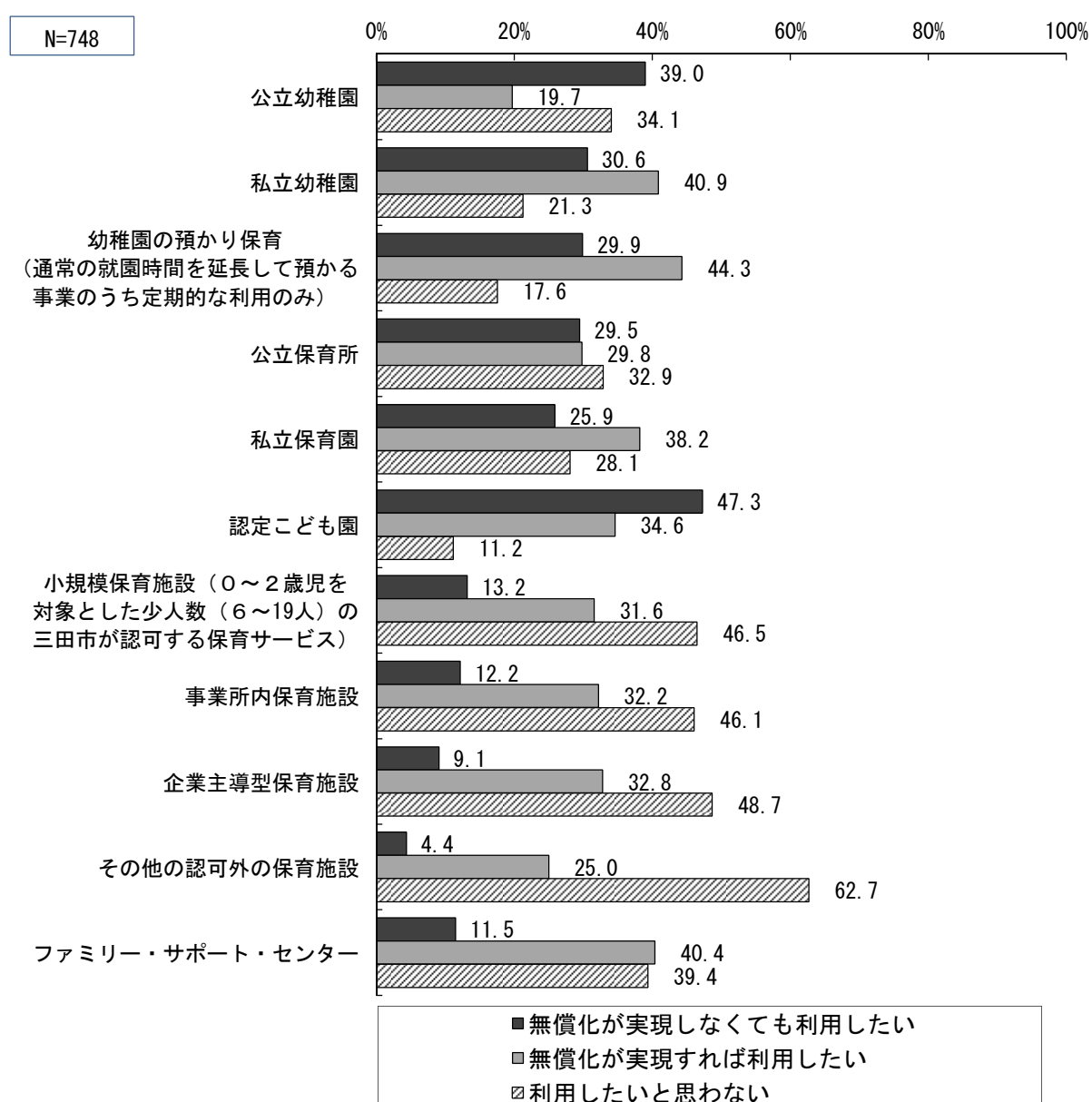
問 14 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

利用したい場所についても、「ウッディタウン地区」が最も多くなっています。問 12-2 と比較すると、「フラワータウン地区」「三田市内のその他の地区」「三田市外」は現在利用している場所より利用したい場所の回答が少なくなっており、「三田・三輪地区」、「ウッディタウン地区」は利用したいという回答の方が多くなっています。これらの地域では利用の希望と実態のミスマッチが起こっている可能性があります。



問 15 現在国において、以下のような幼児教育無償化（すべての3～5歳および市民税非課税世帯の0～2歳児に係る、幼稚園保育料・保育所保育料等が対象）が計画されています。幼児教育の無償化が実現した場合と、実現しなかった場合で、平日の定期的な教育・保育事業として、宛名のお子さんにどのような教育・保育事業を利用させたいと思いますか。現在利用しているかどうかにかかわらず、以下の①～⑪についてそれぞれお答えください。

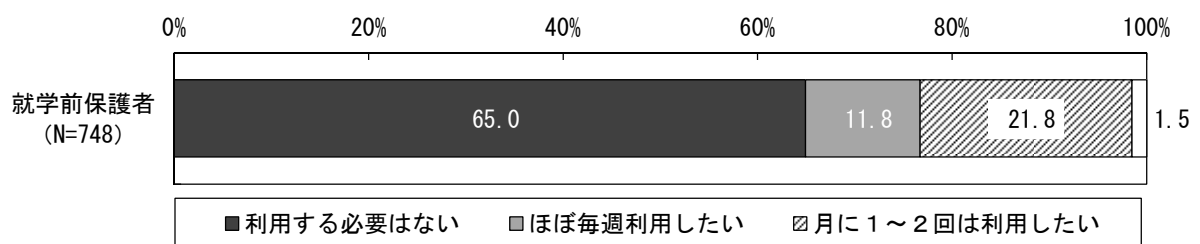
無償化が実現すれば利用したいという回答は、「幼稚園の預かり保育」「私立幼稚園」「ファミリー・サポート・センター」で4割を超えており、無償化によってニーズが新たに喚起されることが考えられます。無償化によるニーズの変化には慎重な検討が求められます。



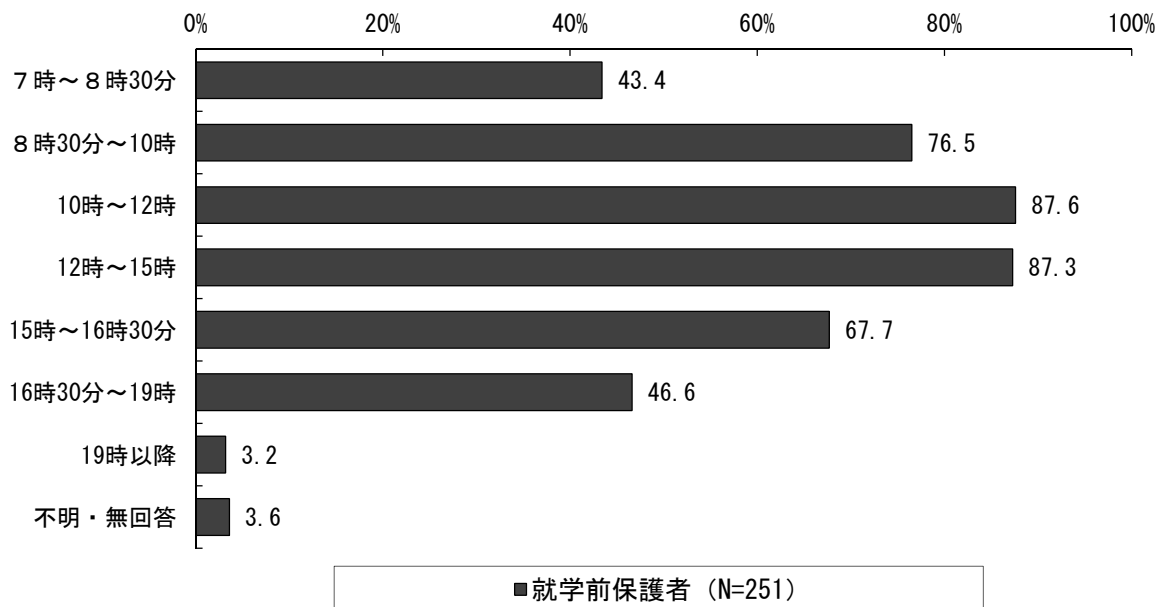
問 16 宛名のお子さんについて、仕事や通学、家族の介護等の理由で、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけてください。また希望がある場合は、利用したい時間帯について、当てはまる時間帯すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

土曜日については33.6%、日曜日については17.1%が、月に1～2回以上利用したいと回答しています。利用したい時間帯については、いずれの曜日も8時30分から16時30分の間の利用希望が半数を超えています。

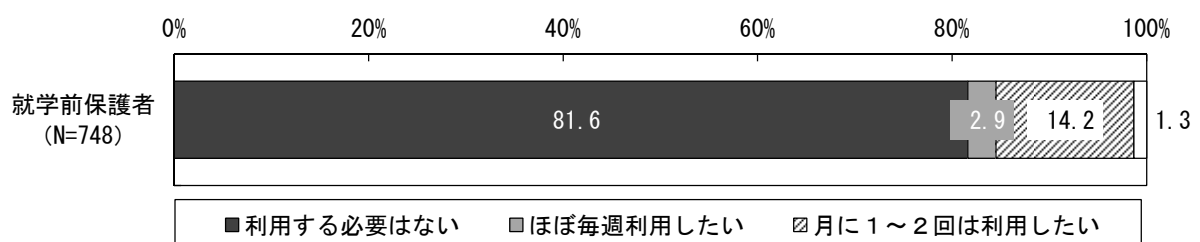
### 土曜日



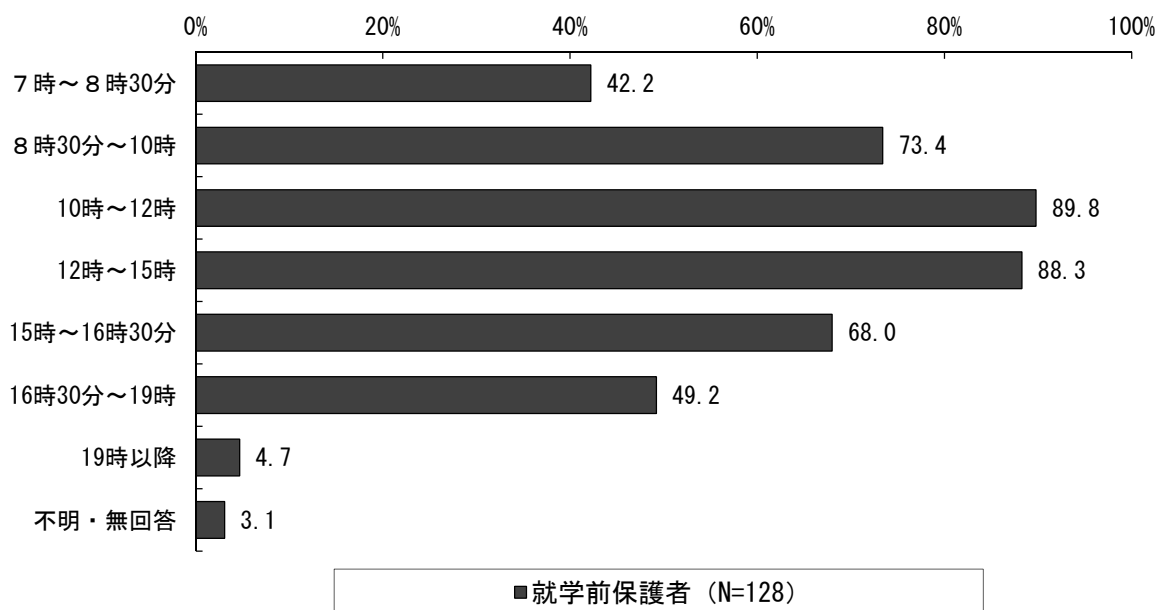
### 土曜日に利用したい時間帯



### 日曜日

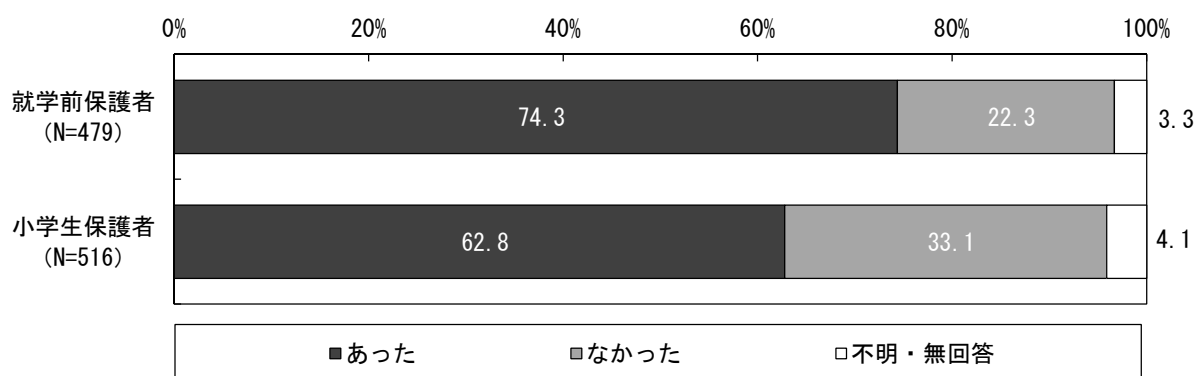


日曜日に利用したい時間帯



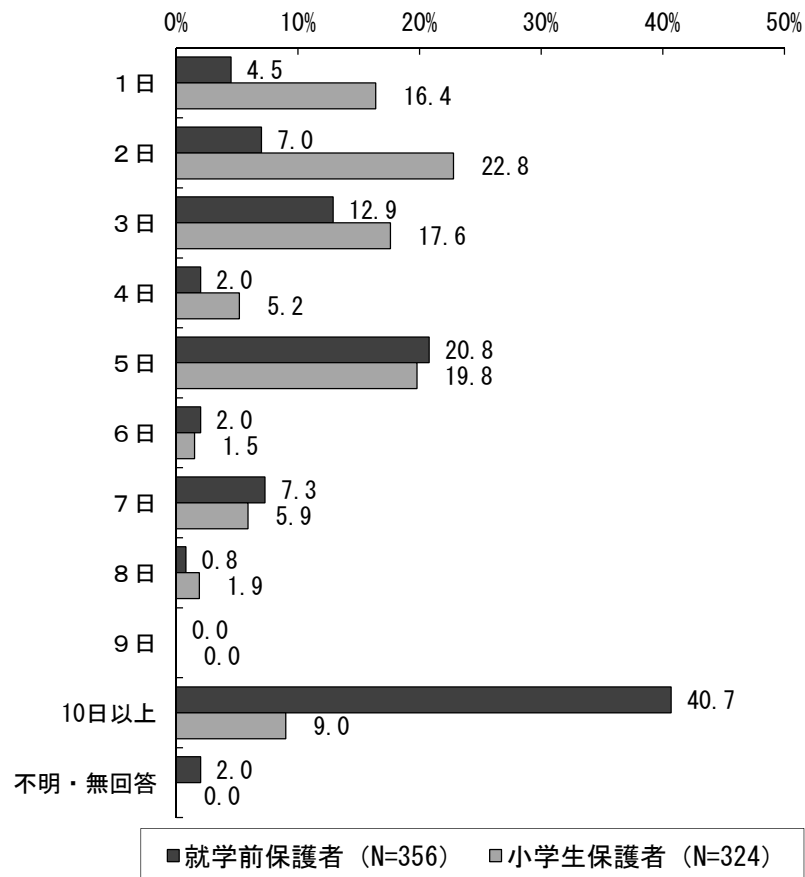
問 17 問 12で「1. 利用している」に○をつけた方（「定期的な教育・保育事業」を利用している方）にうかがいます。利用していないと答えた方は、問 19 にお進みください。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の利用ができなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。（小学生保護者調査では「この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで小学校を休まなければいけなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。」

子どもの病気やケガで定期的な教育・保育事業を利用できなかったり学校を休まなければならなかったことは、就学前で74.3%、小学生で62.8%が「あった」と回答しています。



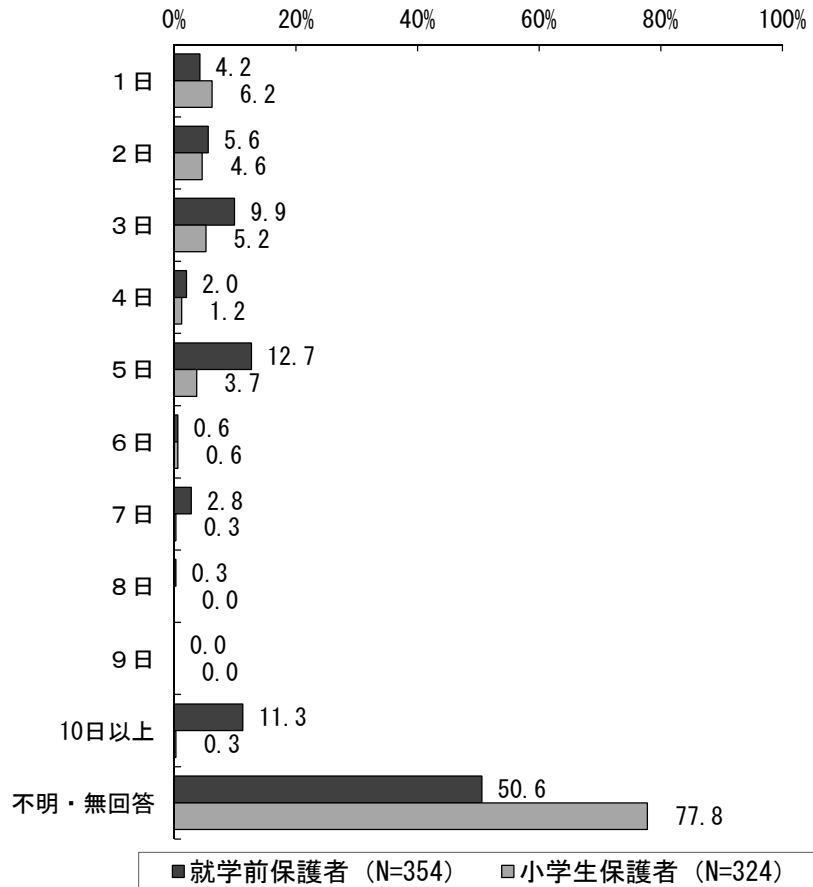
問 17-1 問 17 で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。通常の利用ができなかった（登校できなかった）日数は、1年間にだいたい何日くらいありましたか。（ ）内に数字でご記入ください。

就学前は10日以上、小学生は1～5日の回答が多くなっています。



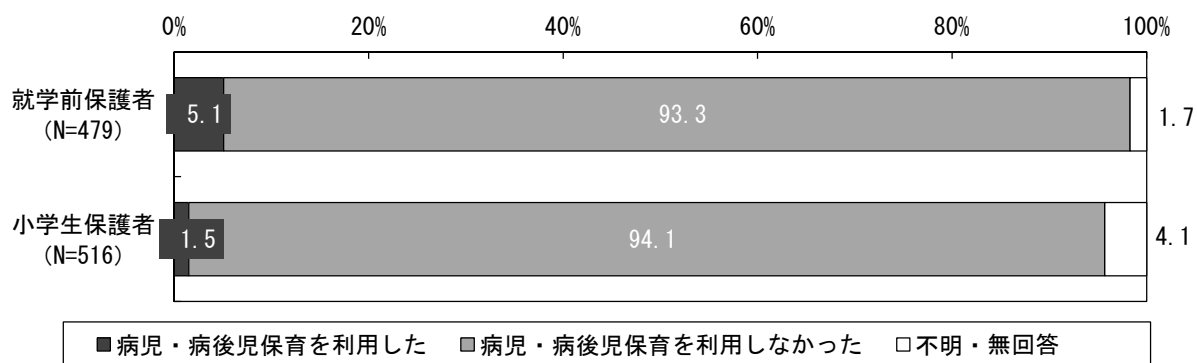
問 17-2 問 17 で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。通常の利用ができなかった（登校できなかった）日数のうち、病児・病後児保育を利用したいと思った日数はだいたい何日くらいありましたか。（ ）内に数字でご記入ください。

病児・病後児保育を利用したいと思った日数については、就学前は1～5日と10日以上、小学生は1～5日が多くなっています。

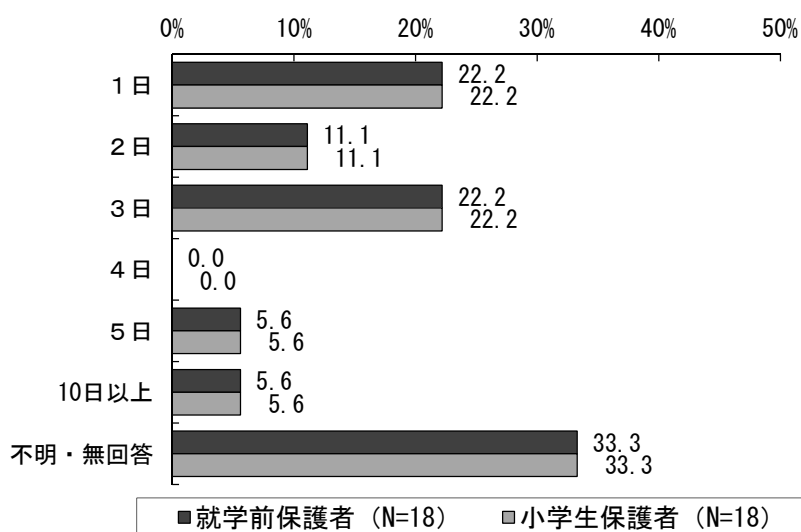


問 17-3 問 17 で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。その際、三田市の病児・病後児保育（さんだ「ワラビーズ」）を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、利用した日数についても（ ）内に数字でご記入ください。

子どもの病気やケガで保育・教育事業を利用できなかったり登校できなかった経験のある保護者のうち、実際に三田市の病児・病後児保育を利用した経験があるのは、就学前 5.1%、小学生 1.5%となっています。

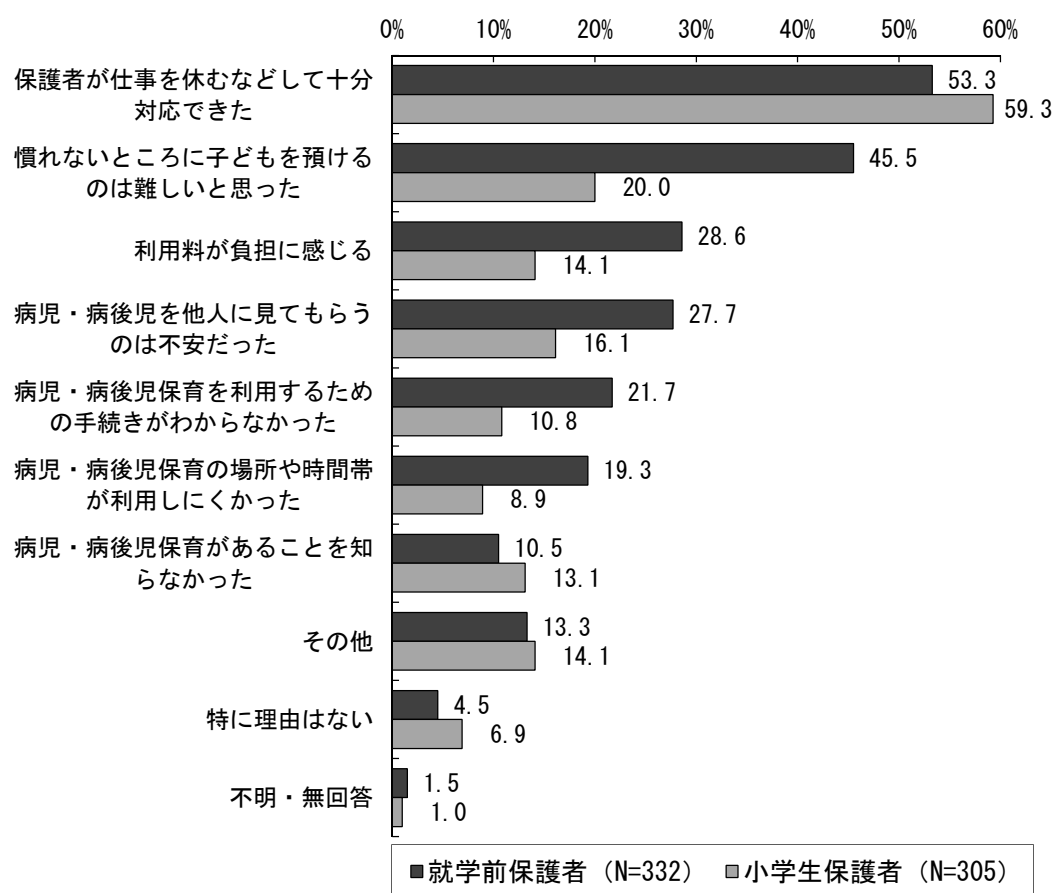


### 利用日数



問 17-4 問 17-3 で「2. 病児・病後児保育を利用しなかった」に○をつけた方にうかがいます。利用しなかった理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

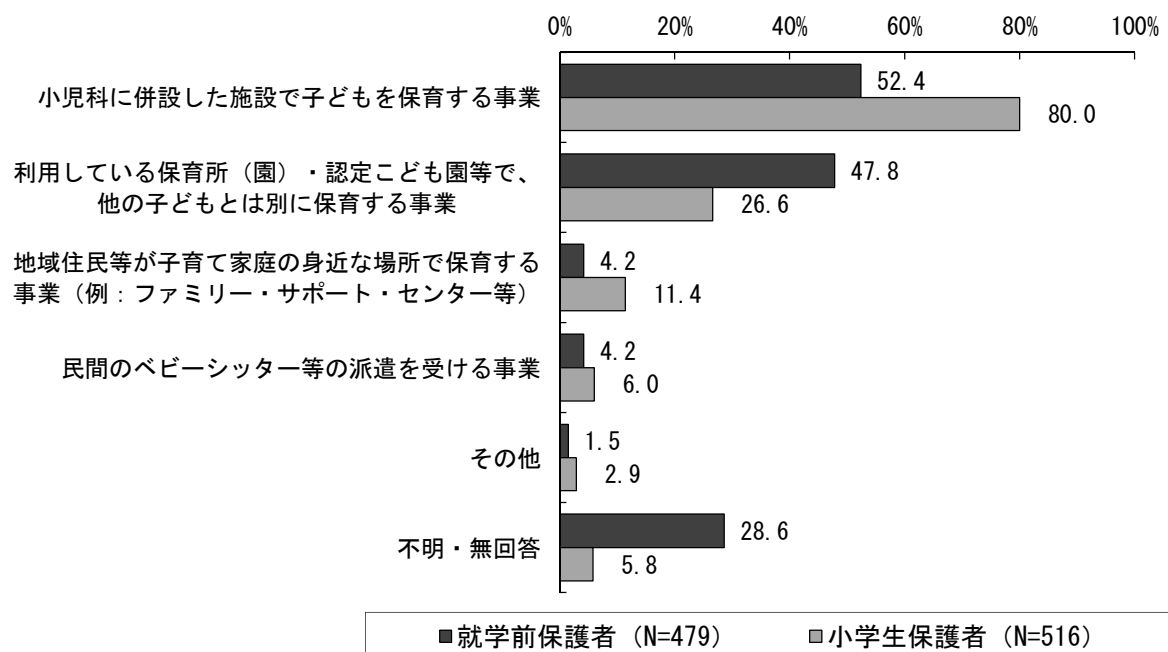
病児・病後児保育を利用しなかった理由については、いずれの調査も「保護者が仕事を休むなどして十分対応できた」が最も多くなっています。就学前については、「慣れないところに子どもを預けるのは難しいと思った」も4割を超えて多くなっています。「利用料が負担に感じる」「病児・病後児を他人に見てもらうのは不安だった」「病児・病後児保育を利用するための手続きがわからなかった」「病児・病後児保育の場所や時間帯が利用しにくかった」についても、就学前では2割前後以上の回答があります。





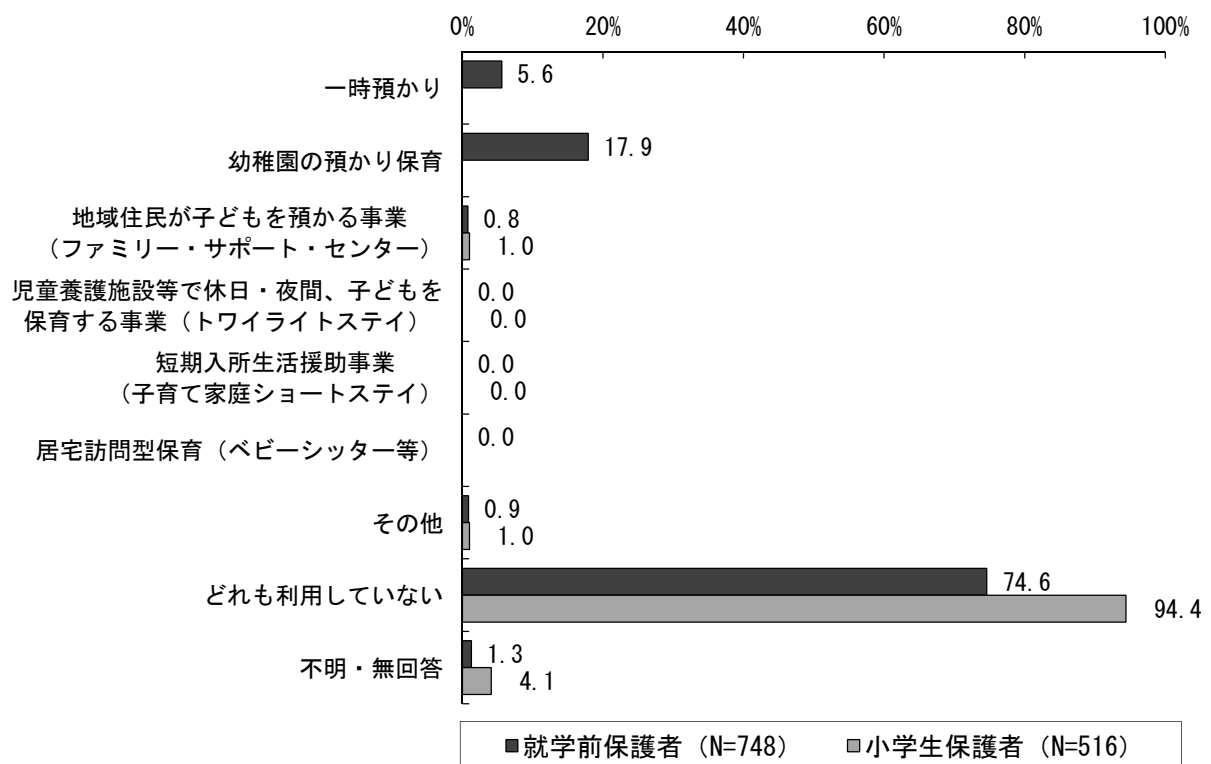
問 18 問 12で「1. 利用している」に○をつけた方（「定期的な教育・保育事業」を利用している方）にうかがいます。病児・病後児保育を利用するとしたら、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

病児・病後児保育に希望する事業形態としては、いずれの調査も「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が最も多く、次いで「利用している保育所（園）・認定こども園等で、他の子どもとは別に保育する事業」が多くなっています。就学前は保育所等で、小学生は小児科でという回答が、比較的多くなっています。



問 19 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数も( )内に数字でご記入ください。【複数回答】

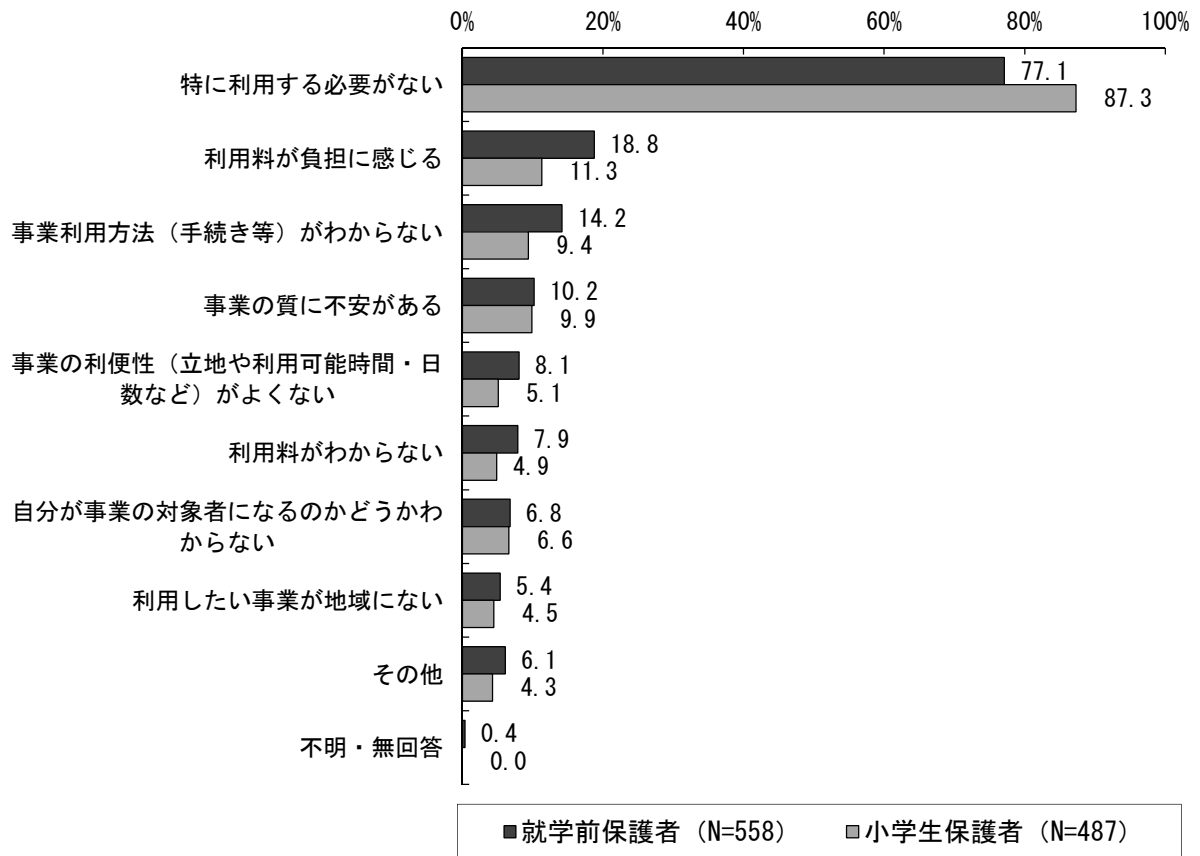
使用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業については、就学前では「幼稚園の預かり保育」17.9%、「一時預かり」5.6%の回答がありました。「どれも利用していない」は就学前74.6%、小学生94.4%となっており、特に小学生については、ほとんど利用がありません。



※小学生保護者調査では「一時預かり」「幼稚園の預かり保育」「居宅訪問型保育」は選択肢に含まれていません。

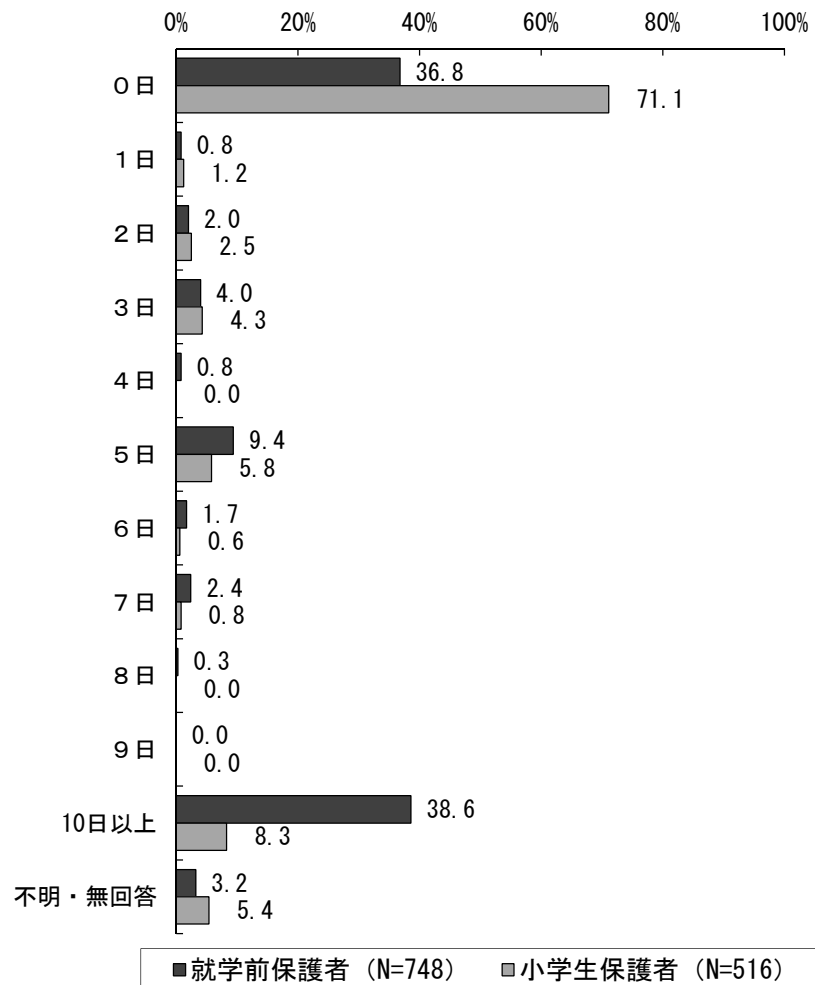
問 19-1 問 19 で「8. どれも利用していない」に○をつけた方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

不定期に利用していない理由として、「特に利用する必要がない」がいずれの学年も最も多く、次いで「利用量が負担に感じる」「事業利用方法がわからない」が多くなっています。



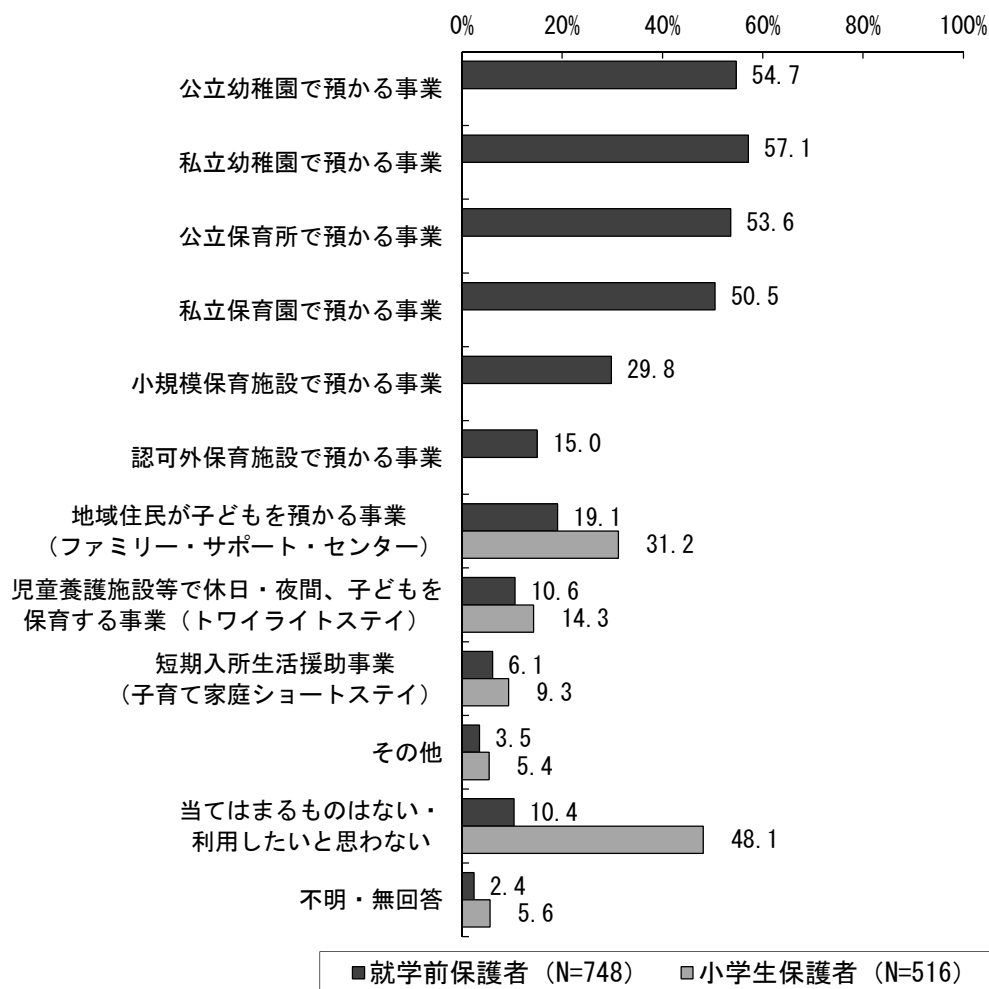
問 20 すべての方にうかがいます。宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり等の事業を利用する必要があると思いますか。( ) 内に数字でご記入ください。利用する必要がないと思う場合は、( ) 内に0 (ゼロ) をご記入ください。

一時預かり等の事業の利用希望については、就学前では約4割が10日以上の利用を希望しています。小学生については71.1%が「0日」と回答しており、全体的に利用希望は少なくなっています。



問 21 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、お子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

一時預かり等の事業について、希望する事業形態は、就学までは幼稚園・保育所等の施設での預かりを希望する回答が多くなっています。小学生では、「当てはまるものはない・利用したいと思わない」が48.1%と最も多く、次いで「地域住民が子どもを預かる事業」が31.2%となっています。



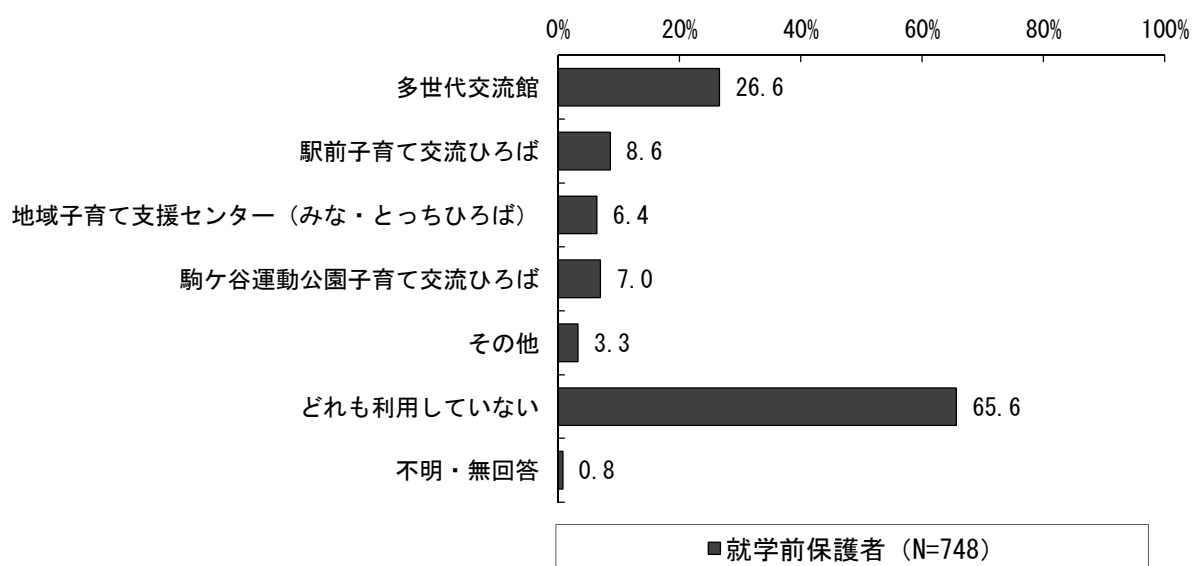
※小学生保護者調査では、「公立幼稚園で預かる事業」から「認可外保育施設で預かる事業」までの6つについては、選択肢に含まれていません。

問 22 宛名のお子さんは現在、親子が集まって過ごしたり、相談をする場として実施されている、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、1ヶ月当たりのおおよその利用回数を（ ）内に数字でご記入ください。【複数回答・就学前のみ】

支援拠点の中では、「多世代交流館」が最も多く利用されており、利用の頻度も比較的高い傾向です。「どれも利用していない」は65.6%となっています。

学齢別にみると、0～2歳では約半数がいずれかの地域子育て支援拠点事業利用しており、3歳以上では「どれも利用していない」が多くなっています。

前回調査と比較すると、やや地域子育て支援事業の利用率が上昇しています。



支援拠点名称	回答者数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回以上	不明・無回答
①多世代交流館	199	44.7	15.1	13.1	7.0	3.5	1.5	0.5	3.5	0.0	4.5	6.5
②駅前子育て交流ひろば	64	60.9	14.1	4.7	4.7	0.0	0.0	1.6	4.7	0.0	4.7	4.7
③地域子育て支援センター(みな・とっちひろば)	48	58.3	33.3	4.2	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
④駒ヶ谷運動公園子育て交流ひろば	52	57.7	17.3	5.8	9.6	1.9	3.8	0.0	0.0	0.0	1.9	1.9
⑤その他	25	36.0	12.0	20.0	12.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.0

■学齢別

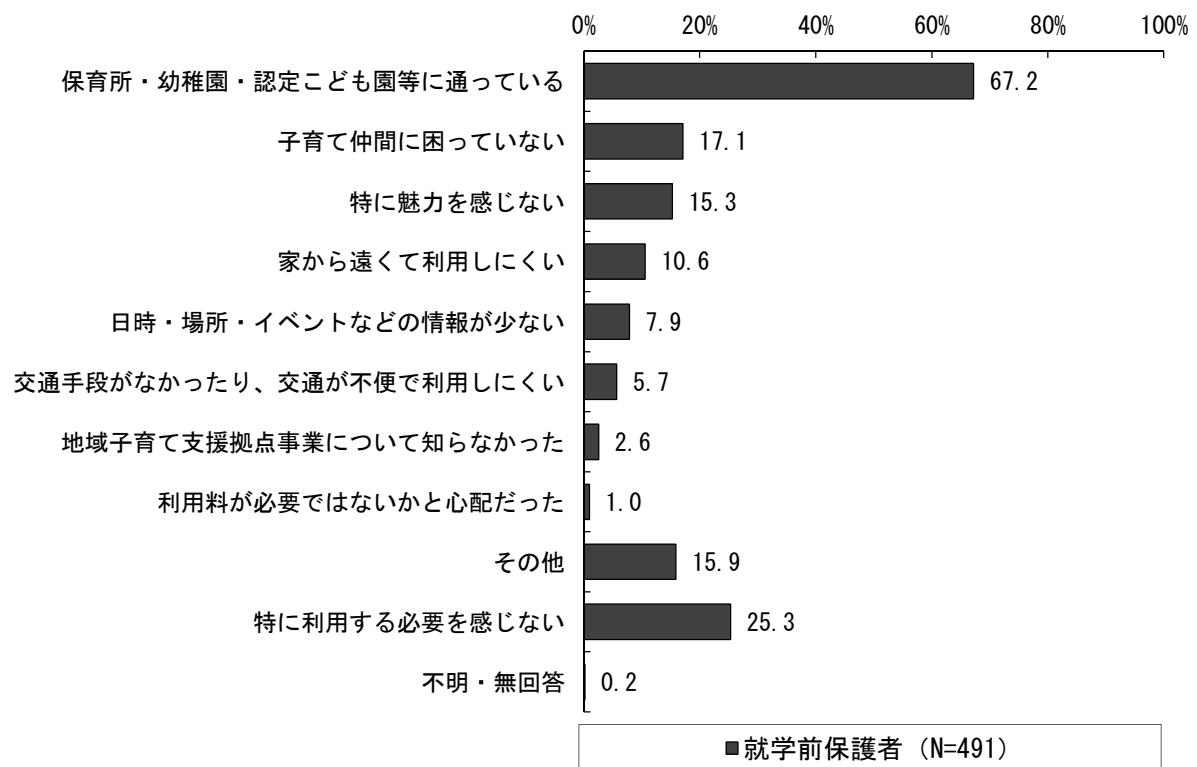
学齢	件数	多世代交流館	駅前子育て交流ひろば	地域子育て支援センター	駒ヶ谷運動公園子育て交流ひろば	その他	どれも利用していない	不明・無回答
0歳	165	36.4	15.8	6.7	10.3	4.2	55.2	0.0
1歳	105	36.2	15.2	10.5	15.2	6.7	52.4	0.0
2歳	105	41.0	12.4	12.4	12.4	3.8	46.7	0.0
3歳	112	21.4	4.5	6.3	2.7	1.8	73.2	1.8
4歳	136	13.2	2.2	2.2	0.0	0.7	83.1	1.5
5歳	115	13.9	0.9	1.7	1.7	3.5	81.7	0.0

前回(2013年)調査

	就学前保護者(N=702)
地域子育て支援拠点事業	22.5
その他三田市で実施している類似の事業	5.4
利用していない	66.7
不明・無回答	8.5

問 22-1 問 22 で「6. どれも利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。  
【複数回答・就学前のみ】

地域子育て支援拠点事業を利用していない理由として、最も多いのが「保育所・幼稚園・認定こども園等に通っている」となっています。次いで「子育て仲間に困っていない」が多くなっています。

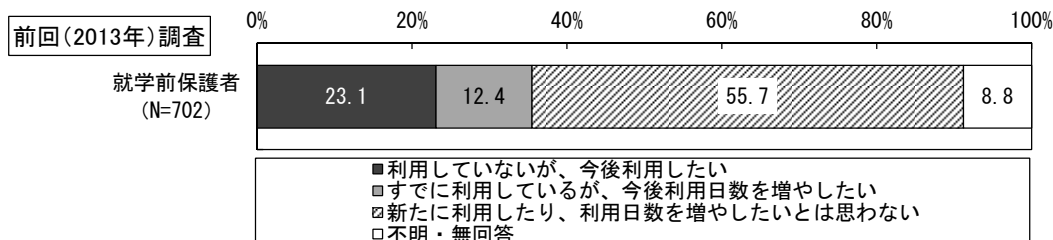
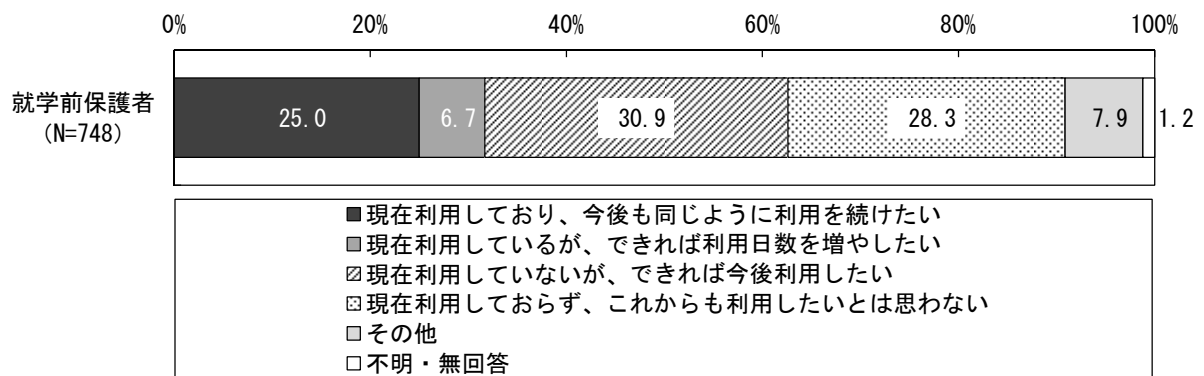


問 23 すべての方にうかがいます。問 22 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。次の中から、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

【就学前のみ】

「現在利用していないが、できれば今後利用したい」という回答が 30.9%で最も多く、潜在的な利用ニーズがあることがうかがえます。

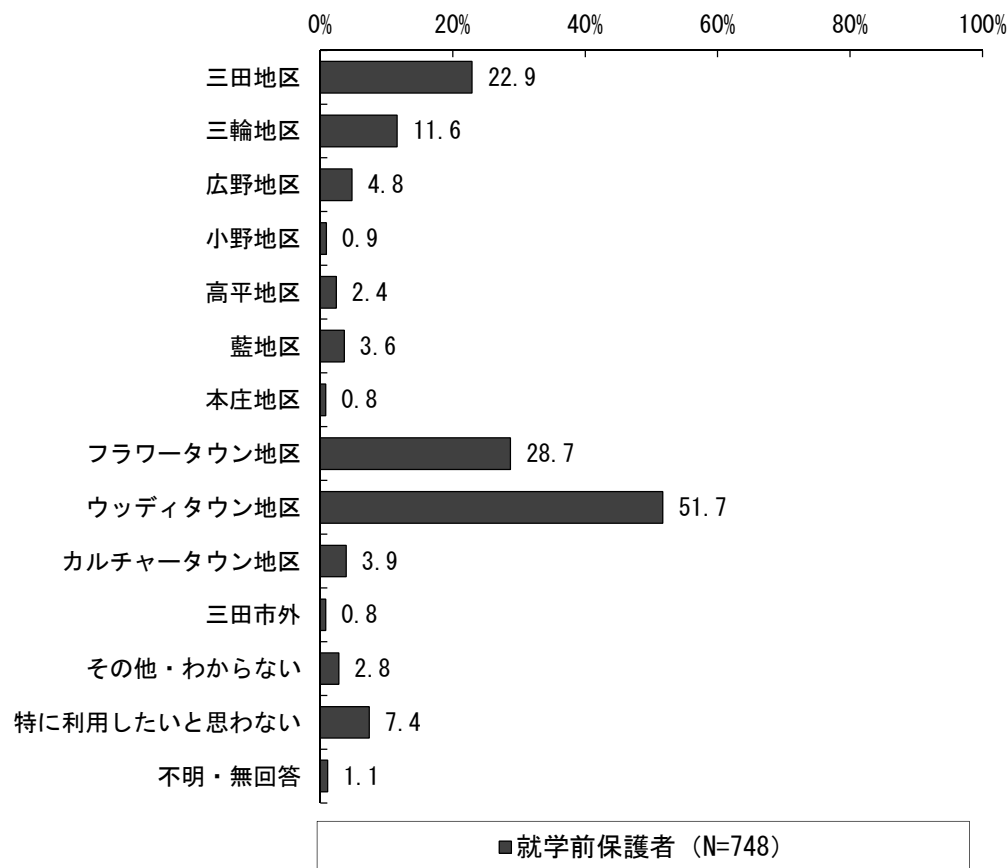
前回調査とは質問の形式が一部異なりますが、現在は利用していないが、今後利用したいという回答がやや増加しています。





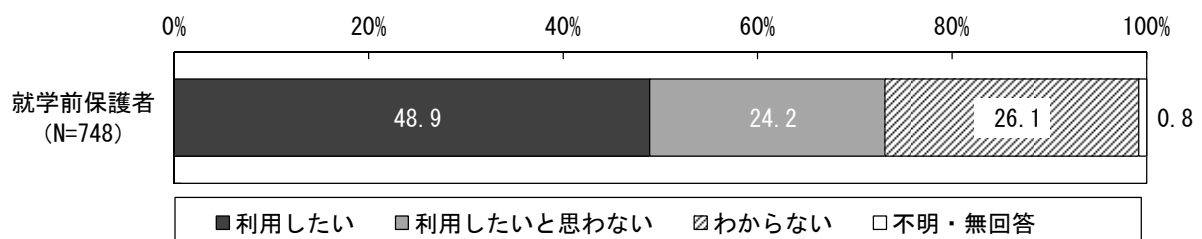
問 24 問 22 のような地域子育て支援拠点事業について、今後どの地域で利用したい  
 と思いますか。現在支援拠点が設置されているかどうかにかかわらず、利用し  
 たい地区の番号すべてに○をつけてください。【複数回答・就学前のみ】

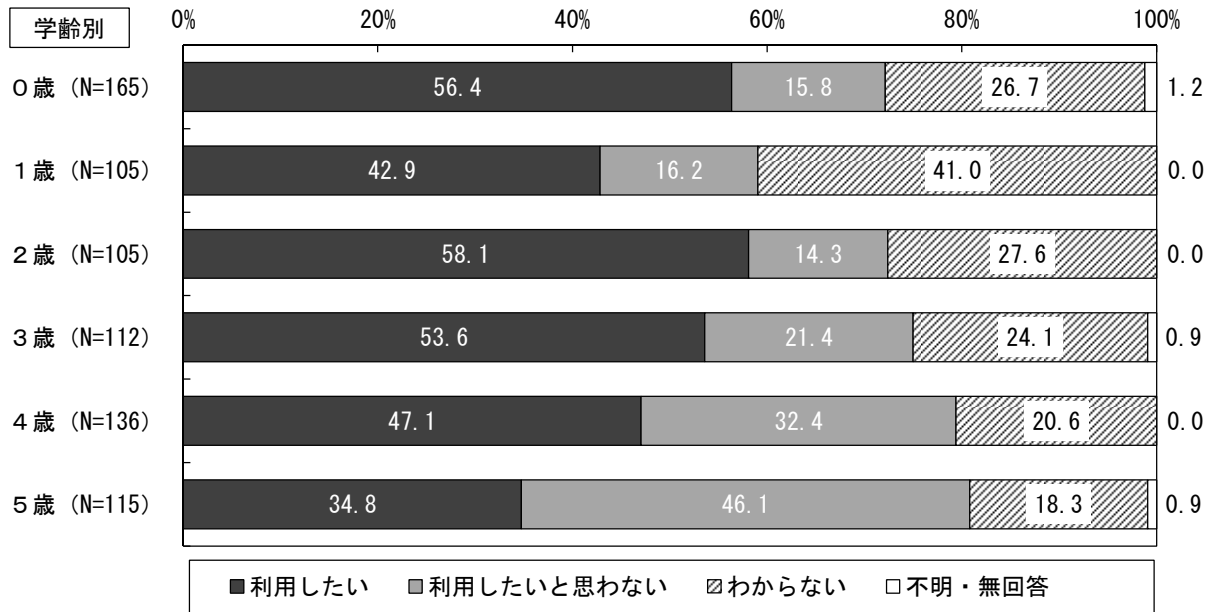
地域子育て支援拠点事業を利用したい場所については、「ウッディタウン地区」が最も多く、次  
 いで「フラワータウン地区」「三田地区」が多くなっています。



問 25 宛名のお子さんについて、小学校に入学したら、放課後児童クラブを利用した  
 いと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。【就学前のみ】

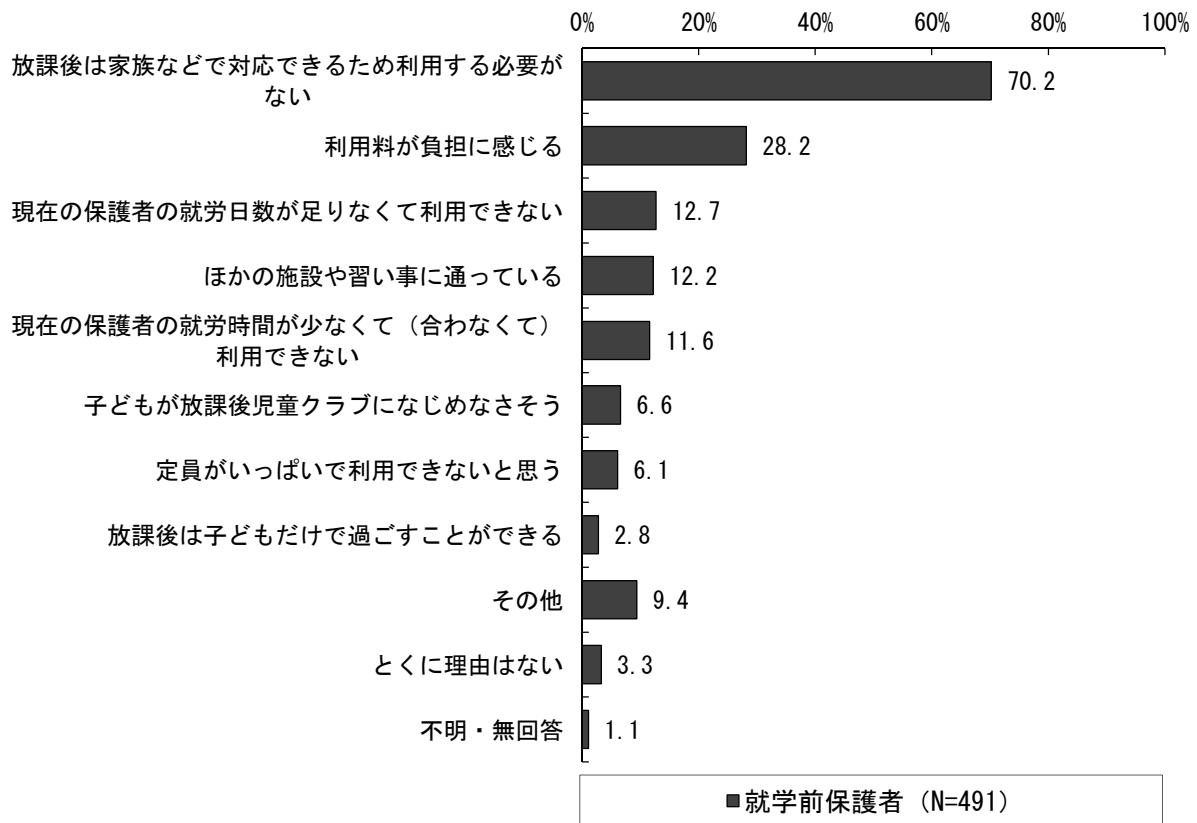
放課後児童クラブについては、就学前児童の保護者の約半数が「利用したい」と回答していま  
 す。学齢別にみると、2歳以上では年齢が上がるほど「利用したい」が少なく、5歳の「利用し  
 たい」は34.8%となっています。





問 25-1 問 25 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。放課後児童クラブを利用したいと思わない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答・就学前のみ】

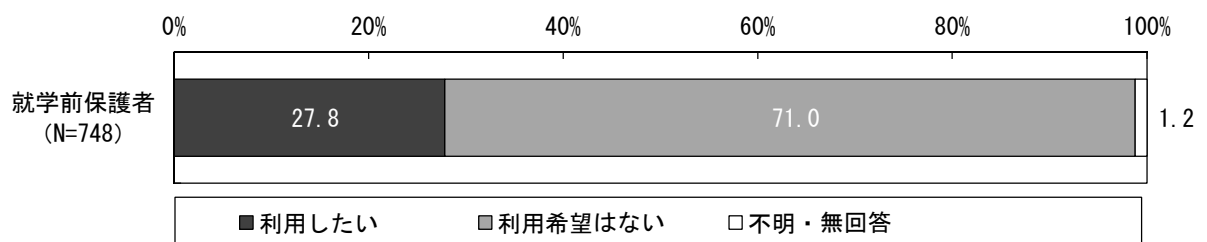
放課後児童クラブを利用したいと思わない理由については、「放課後は家族などで対応できるため利用する必要がない」が 70.2%で最も多くなっています。次いで、「利用量が負担に感じる」が 28.2%となっています。



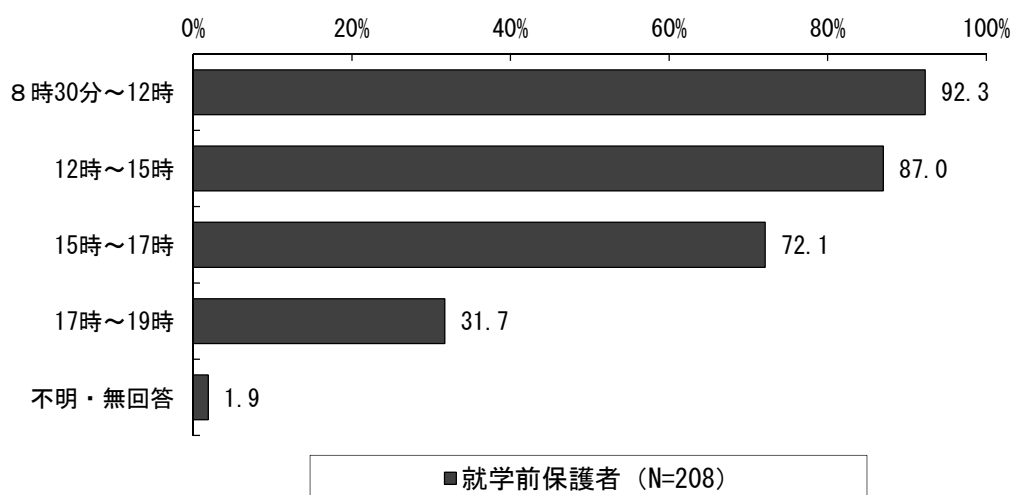
問 26 すべての方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日や日曜日・祝日の、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯について、当てはまる時間帯すべてに○をつけてください。【就学前のみ】

土曜日は27.8%、日曜日は12.8%の利用希望があります。利用したい時間帯については、8時30分から15時の間が約9割、15時～17時が約7割と多くなっています。

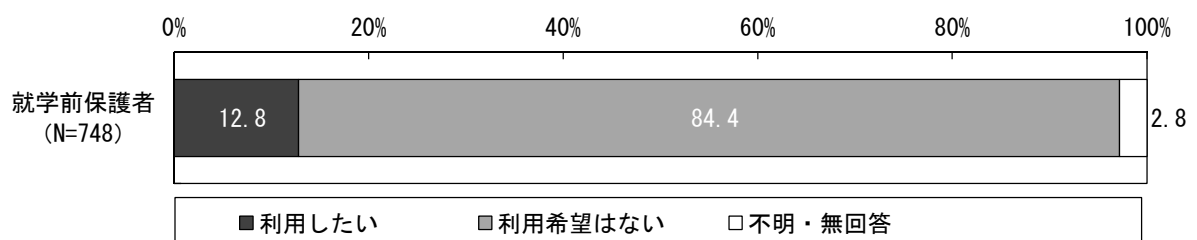
(1) 土曜日



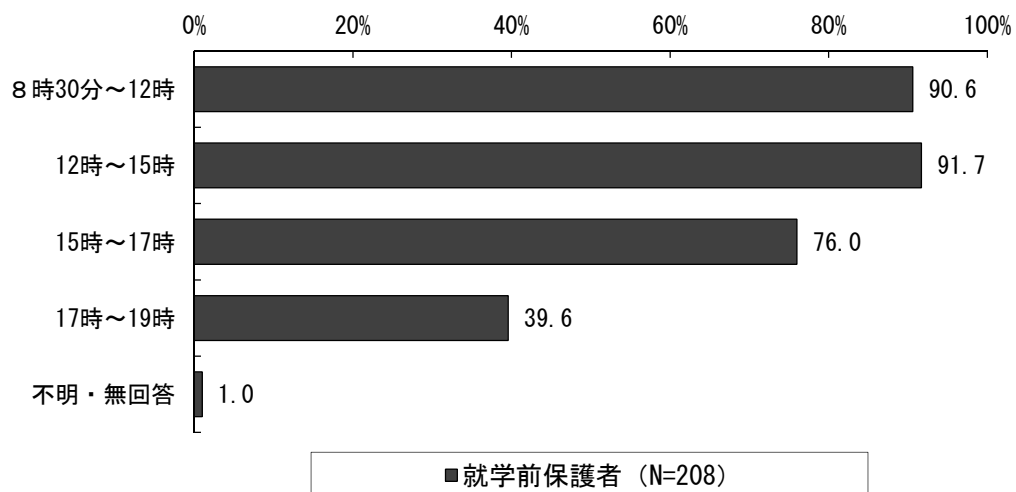
利用したい時間帯



(2) 日曜日

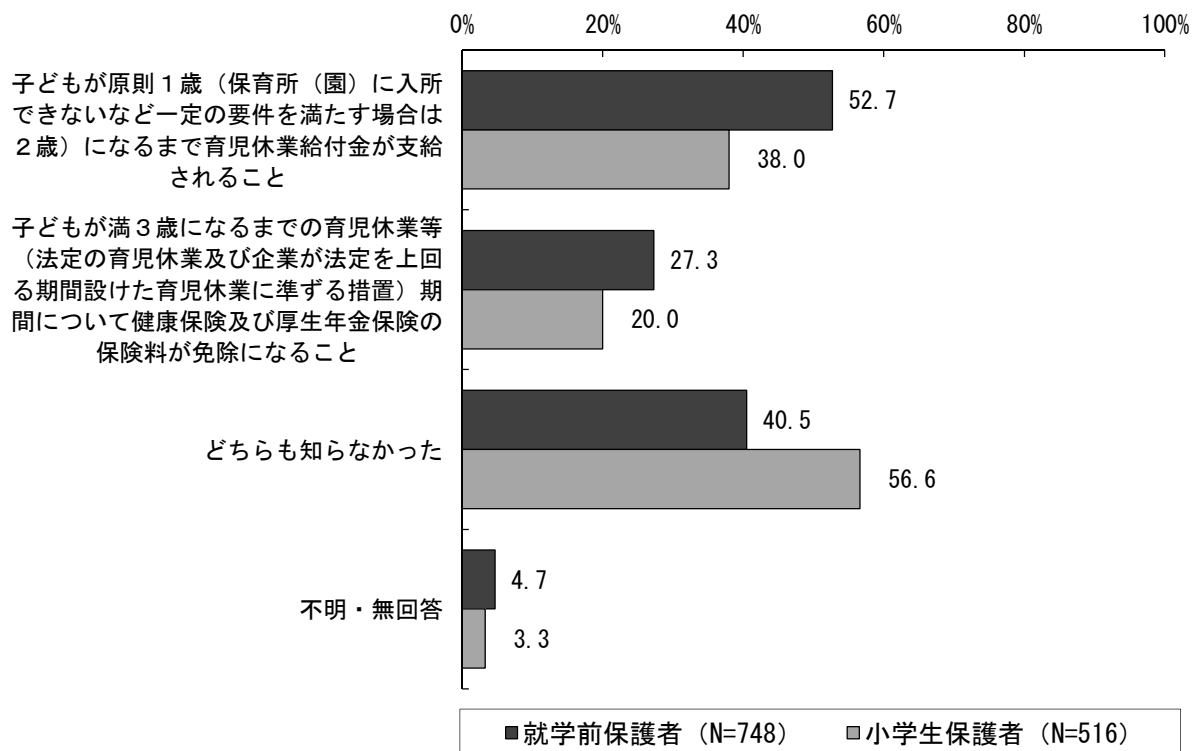


### 利用したい時間帯



### 問 27 育児休業制度について、次のことをご存知でしたか。知っている項目すべてに○をつけてください。

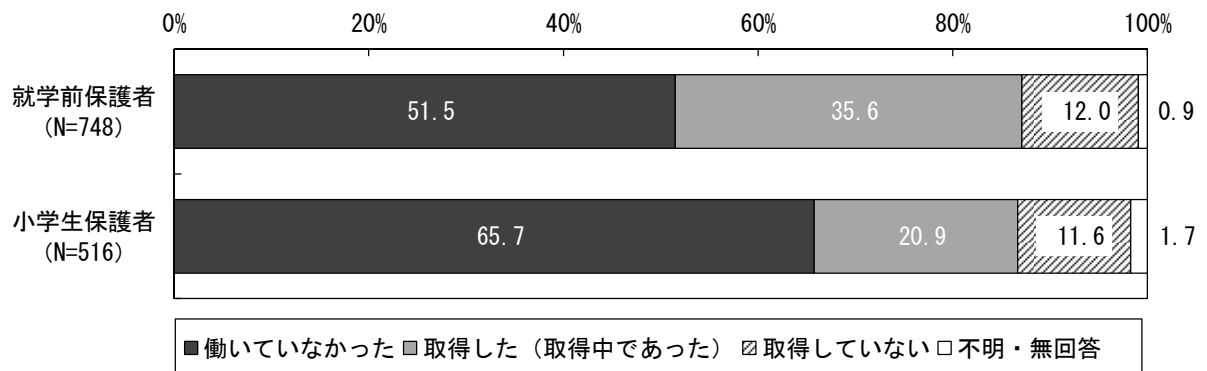
育児休業給付金については、就学前の5割以上が知っていると回答していますが、健康保険料及び厚生年金保険の保険料が免除になることについては、少なくなっています。「どちらも知らなかった」は就学前40.5%、小学生56.6%となっています。



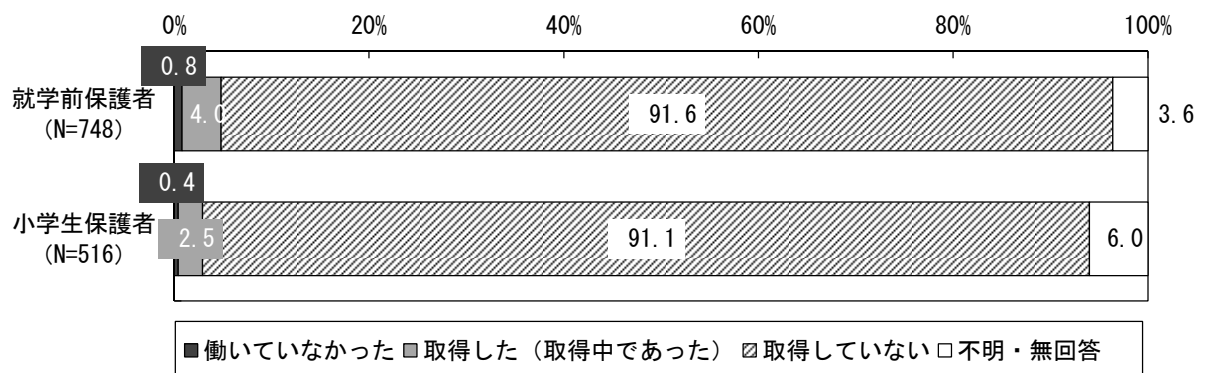
問 28 宛名のお子さんが生まれた時、母親・父親はそれぞれ育児休業を取得しましたか。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

育児休業の取得については、母親は就学前で35.6%、小学生で20.9%が取得しています（働いていた母親のみで集計すると就学前74.7%、小学生64.3%の取得率です）。父親については、就学前4.0%、小学生2.5%が「取得した」と回答しています。

### 母親



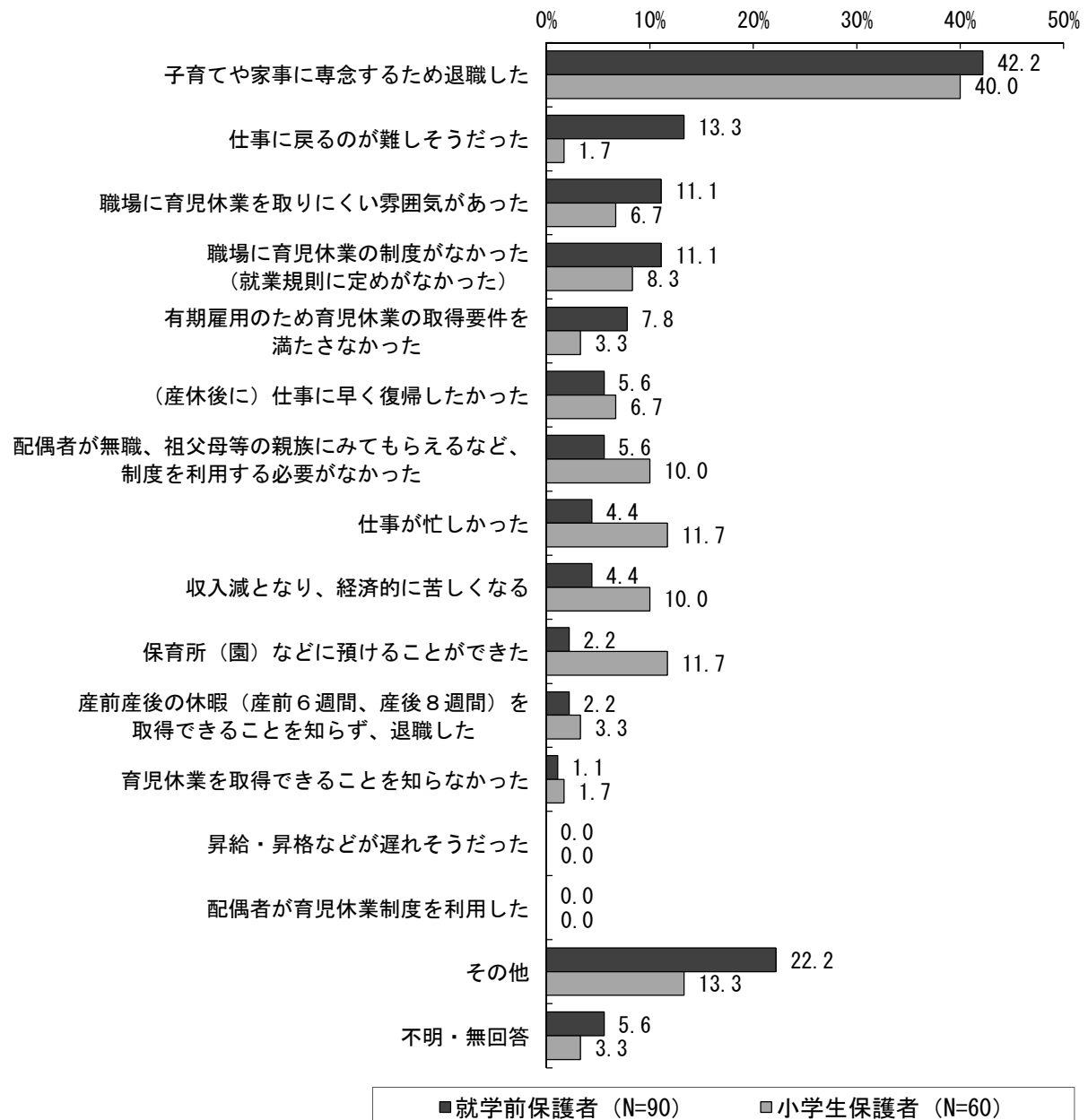
### 父親



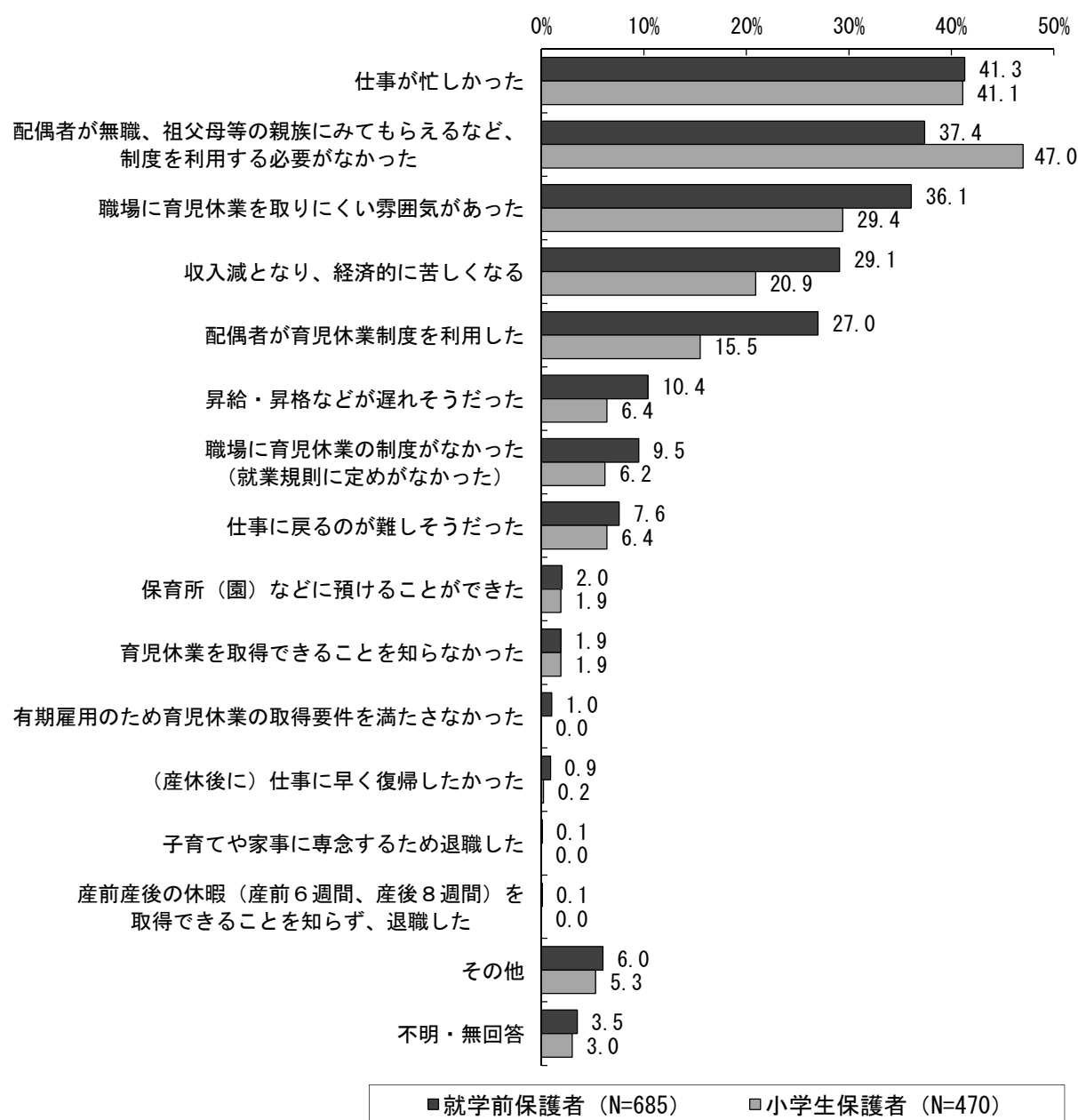
問 28-1 取得していない理由 当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

取得していない理由について、母親では「子育てや家事に専念するために退職した」が最も多くなっています。父親では、「仕事が忙しかった」「制度を利用する必要がなかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が多くなっています。

母親



## 父親

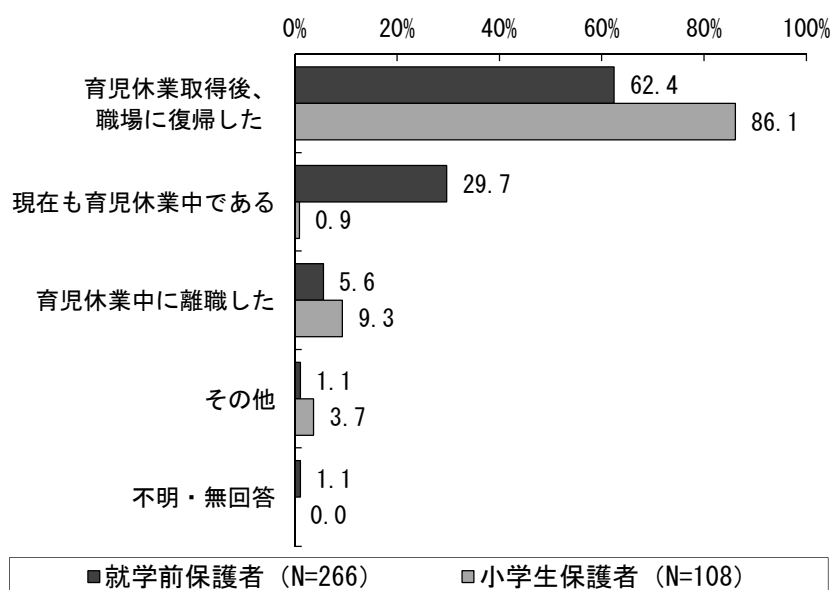




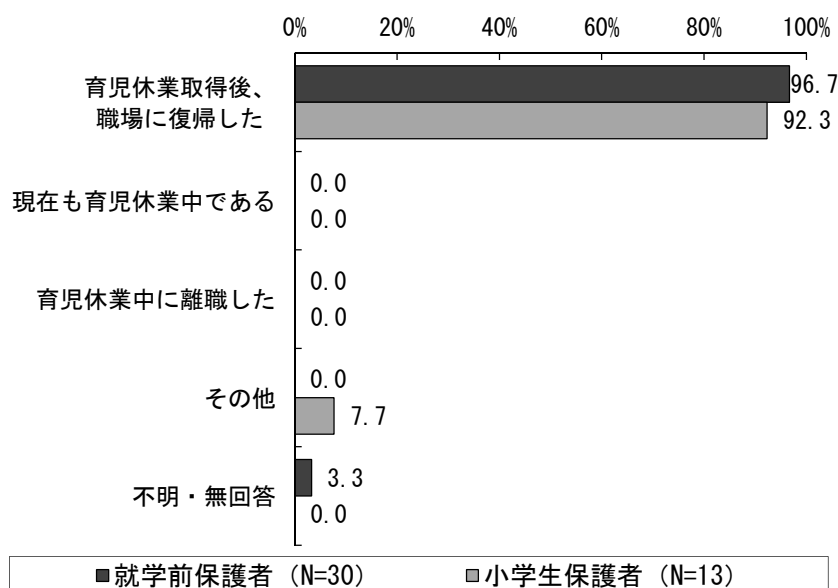
問 28-2 問 28 で「2. 取得した (取得中であった)」に○をつけた方にうかがいます。  
 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

育児休業取得後の職場復帰については、母親で「育児休業中に離職した」はいずれの調査も 1 割未満と少なく、「職場に復帰した」または、就学前については「現在も育児休業中である」が多くなっています。父親については、9 割以上が「職場に復帰した」と回答しています。

### 母親

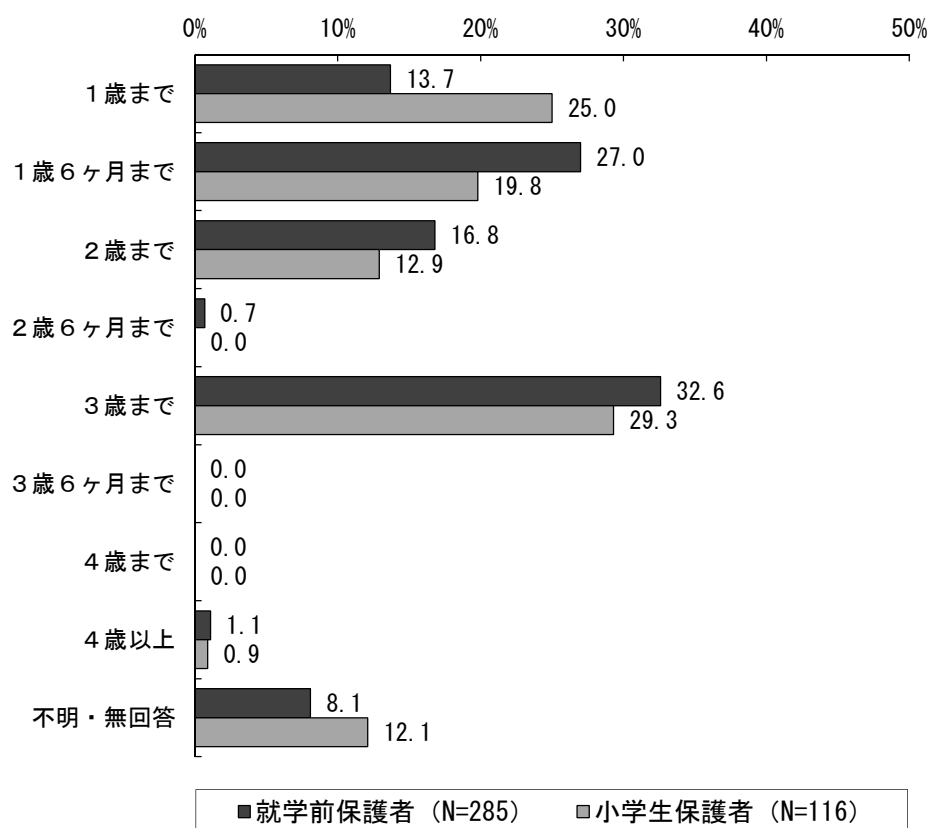


### 父親



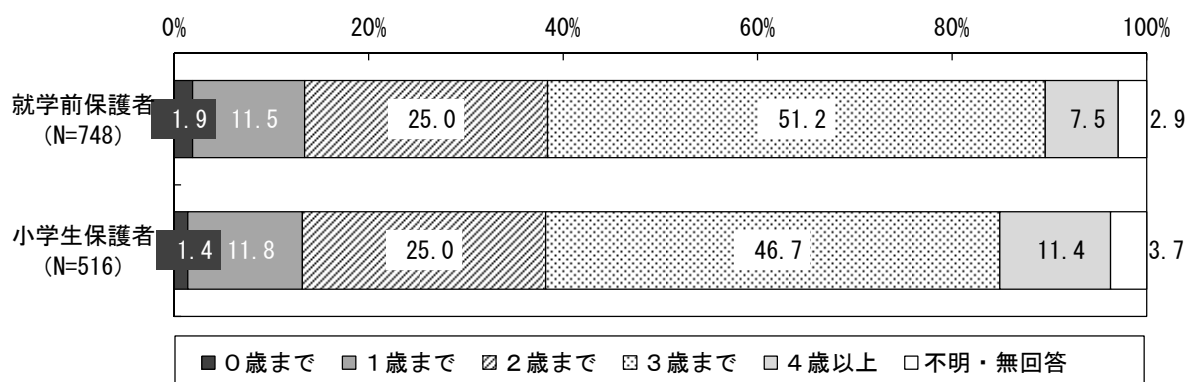
問 28-3 問 28 で「2. 取得した（取得中であった）」に○をつけた方にうかがいます。  
 仮に保育所等に入所できなかった場合、子どもが何歳になるまで育児休業を延長することができましたか（できますか）。保護者のうち、最も長期間育児休業の取得が可能な人で回答してください。

育児休業の延長については、「3歳まで」可能という回答がいずれの調査も最も多く、次いで就学前では「1歳6ヶ月まで」、小学生では「1歳まで」が多くなっています。



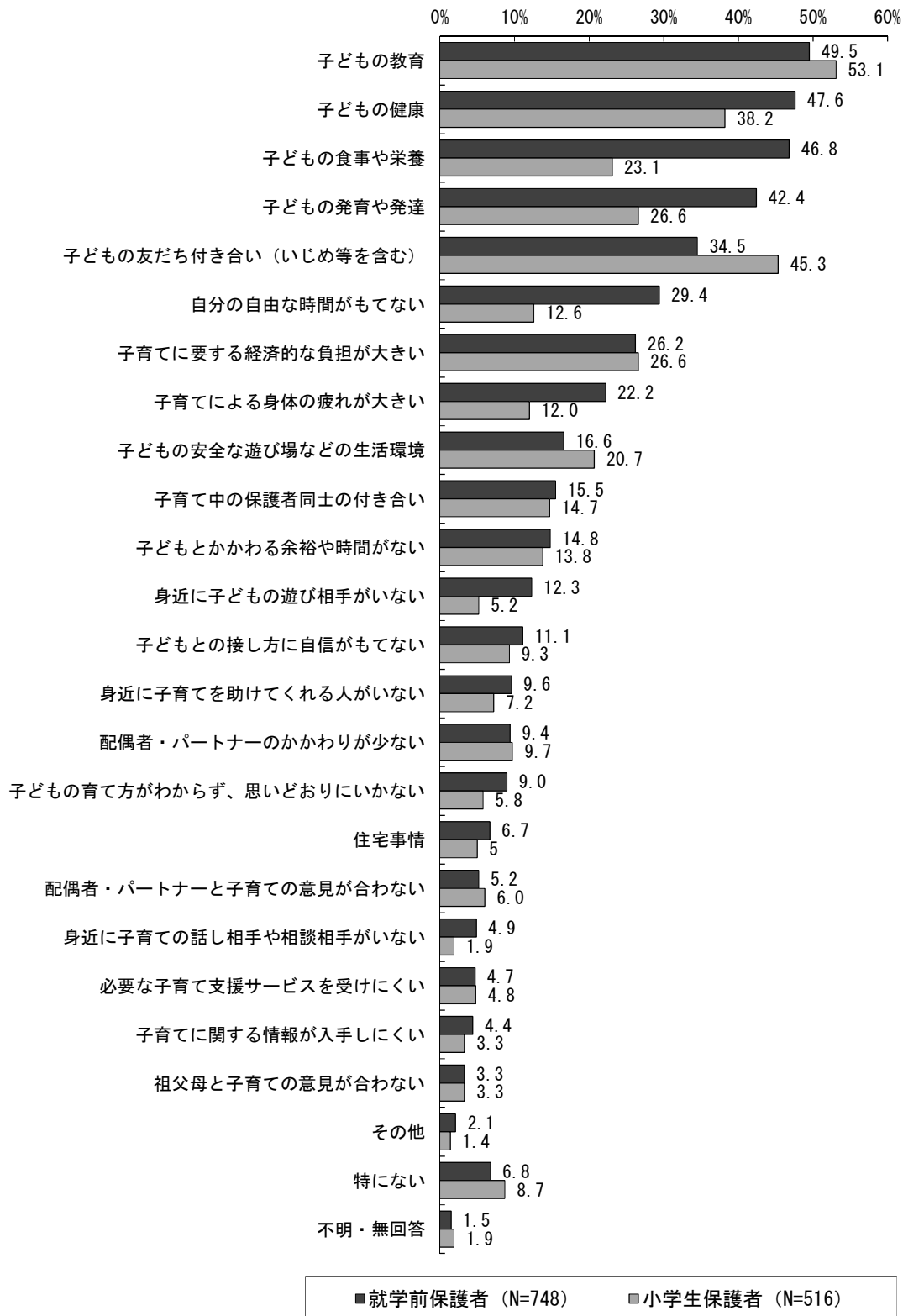
問 29 すべての方にうかがいます。職場や保育所利用などで問題がなければ、最大で子どもが何歳になるまで育児休業を利用したい（利用したかった）と思いますか。保護者のうち、最も長期間利用したいと思う人で回答してください。

「3歳まで」という回答がいずれの調査も5割前後で最も多くなっています。



問 30 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

いずれの調査も「子どもの教育」が最も多くなっています。ついで、就学前では「子どもの健康」「子どもの食事や栄養」が多く、小学生では「子どもの友だち付き合い」「子どもの健康」が多くなっています。

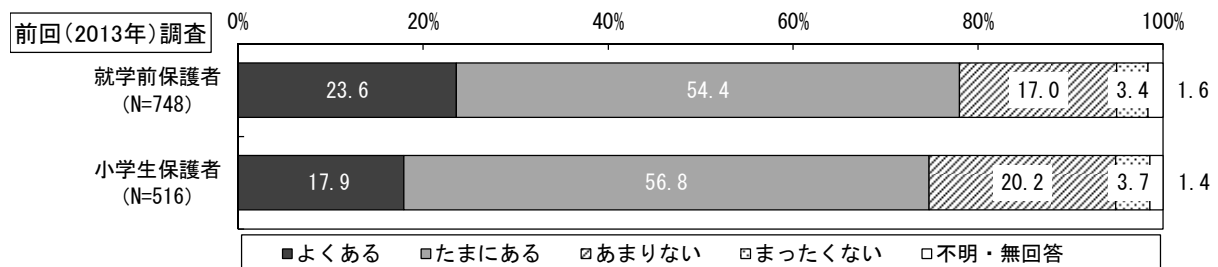
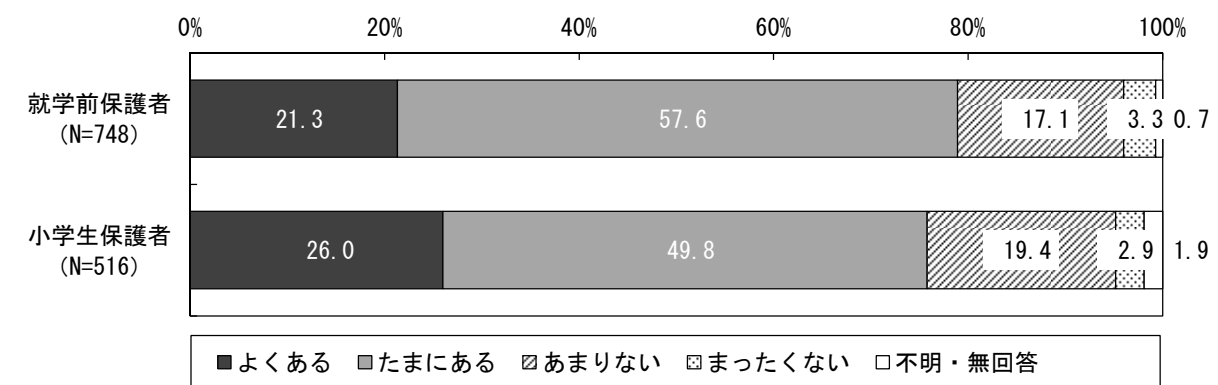


問 31 次にあげる①～④の項目について、子育てをする上で、あなたはどのように感じますか。①～④の項目ごとに当てはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

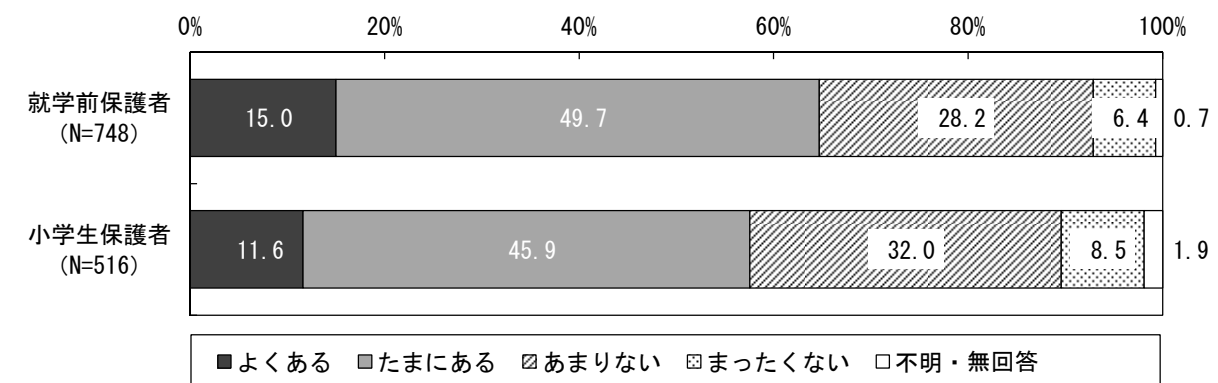
いずれの調査についても、「よくある」という回答が「自分の子育てがこれでよいのか不安になる」では2割台、「子育ては大変で、負担を感じる」では1割台の回答があります。「子育てを楽しめている」については、小学生で約2割が「あまりない」または「まったくない」と回答しています。

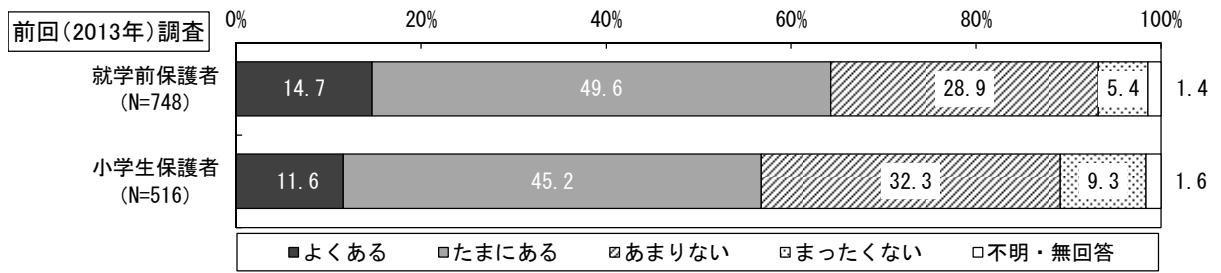
前回調査との比較では、「①自分の子育てがこれでよいのか不安になる」については、小学生で「よくある」が増加しており、「②子育ては大変で、負担を感じる」についてはほぼ前回同様の結果となっています（③④については前回設問なし）。

①自分の子育てがこれでよいのか不安になる

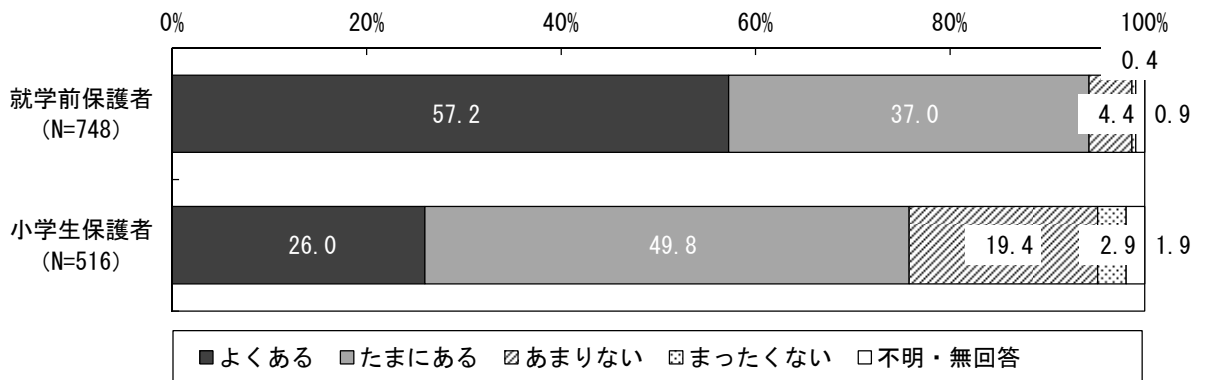


②子育ては大変で、負担を感じる

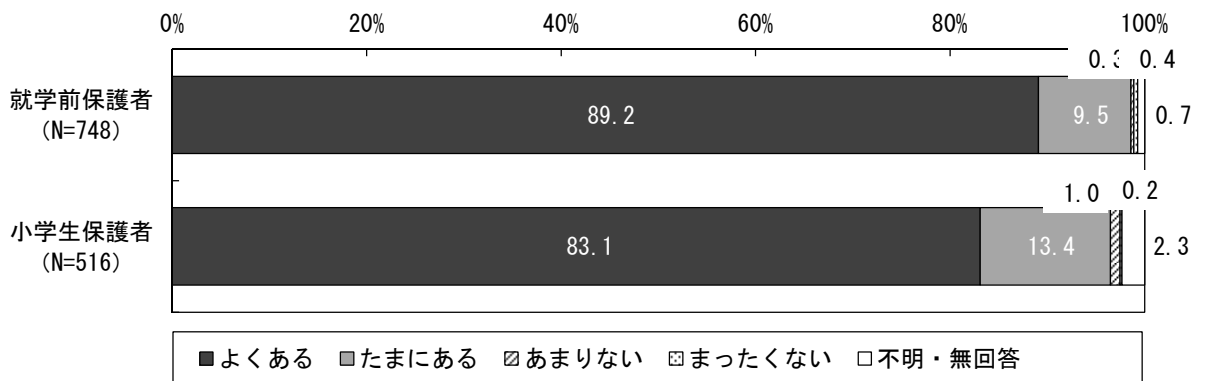




③子育てを楽しめている

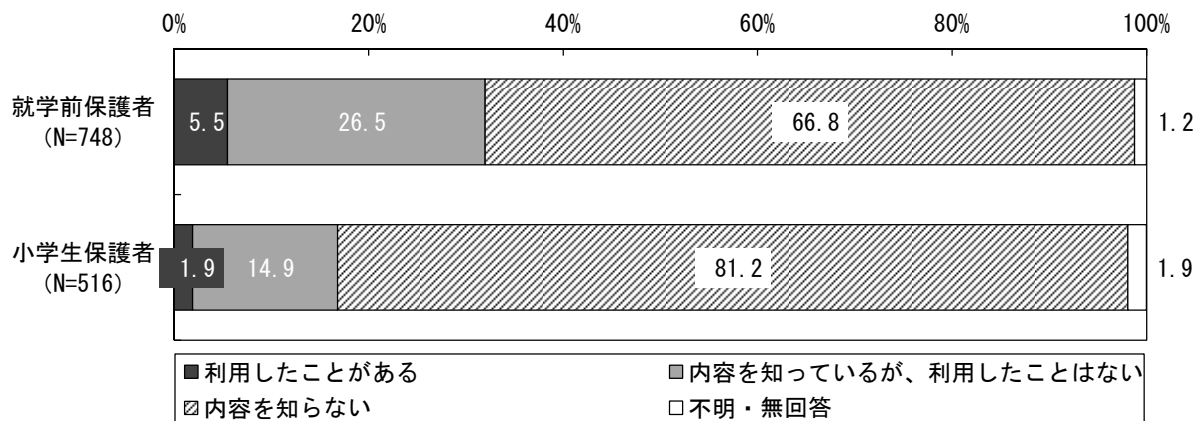


④子どもをもてたことに喜びを感じる



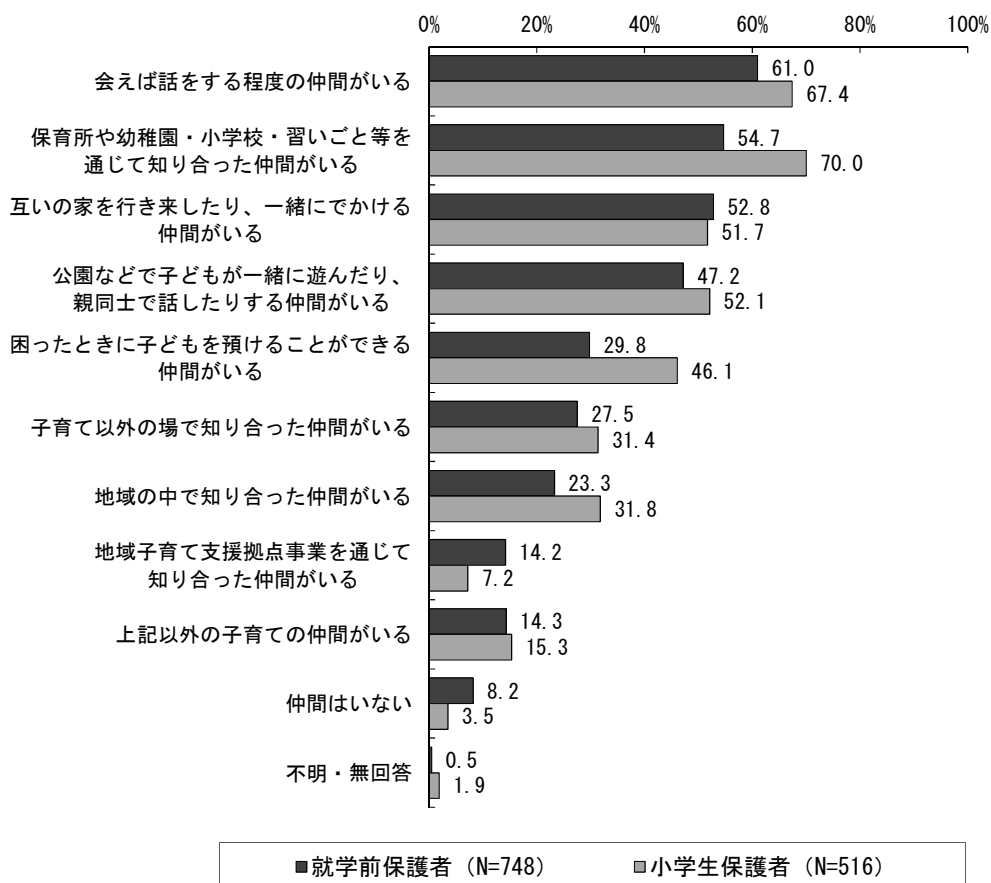
問 32 あなたは「子育て世代包括支援センター（チャッピーサポートセンター）」を利用したことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「子育て世代包括支援センター」については、「利用したことがある」は就学前5.5%、小学生1.9%となっており、「内容を知らない」が就学前66.8%、小学生81.2%と多くなっています。



問 33 あなたには、子育ての仲間がいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

子育ての仲間については、就学前では「会えば話をする程度の仲間がいる」、小学生では「保育所や幼稚園・小学校・習いごと等を通じて知り合った仲間がいる」が最も多くなっています。「仲間はいない」は就学前8.2%、小学生3.5%となっています。



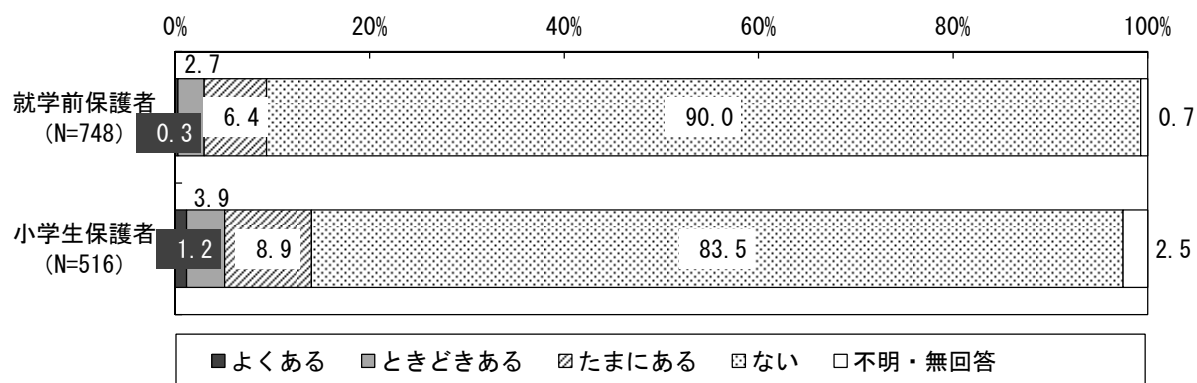
学齢別にみると、特に0歳児で、「困った時に子どもを預けることができる仲間がいる」が少なく、「仲間はいない」が多くなっています。

■学齢別

学齢	件数	困ったときに子どもを預けることができる仲間がいる	互いの家を行き来したり、一緒にでかける仲間がいる	公園などで子どもと一緒に遊んだり、親同士で話したりする仲間がいる	会えば話をする程度の仲間がいる	習いごと等を通して知り合った仲間がいる	保育所や幼稚園・小学校・習いごと等を通して知り合った仲間がいる	地域子育て支援拠点事業を通して知り合った仲間がいる	地域の中で知り合った仲間がいる	子育て以外の場で知り合った仲間がいる	上記以外の子育ての仲間がいる	仲間はいない	不明・無回答
0歳	165	18.2	44.2	27.3	47.9	26.1	17.0	18.8	31.5	15.2	15.8	0.0	
1歳	105	30.5	57.1	41.9	57.1	42.9	11.4	21.0	28.6	12.4	8.6	0.0	
2歳	105	23.8	60.0	51.4	63.8	53.3	19.0	20.0	19.0	13.3	3.8	1.0	
3歳	112	27.7	54.5	57.1	66.1	68.8	15.2	25.9	26.8	15.2	6.3	0.0	
4歳	136	41.9	55.9	55.1	72.8	71.3	11.8	29.4	30.9	16.2	6.6	0.0	
5歳	115	38.3	49.6	58.3	63.5	75.7	10.4	27.0	27.0	12.2	4.3	0.0	

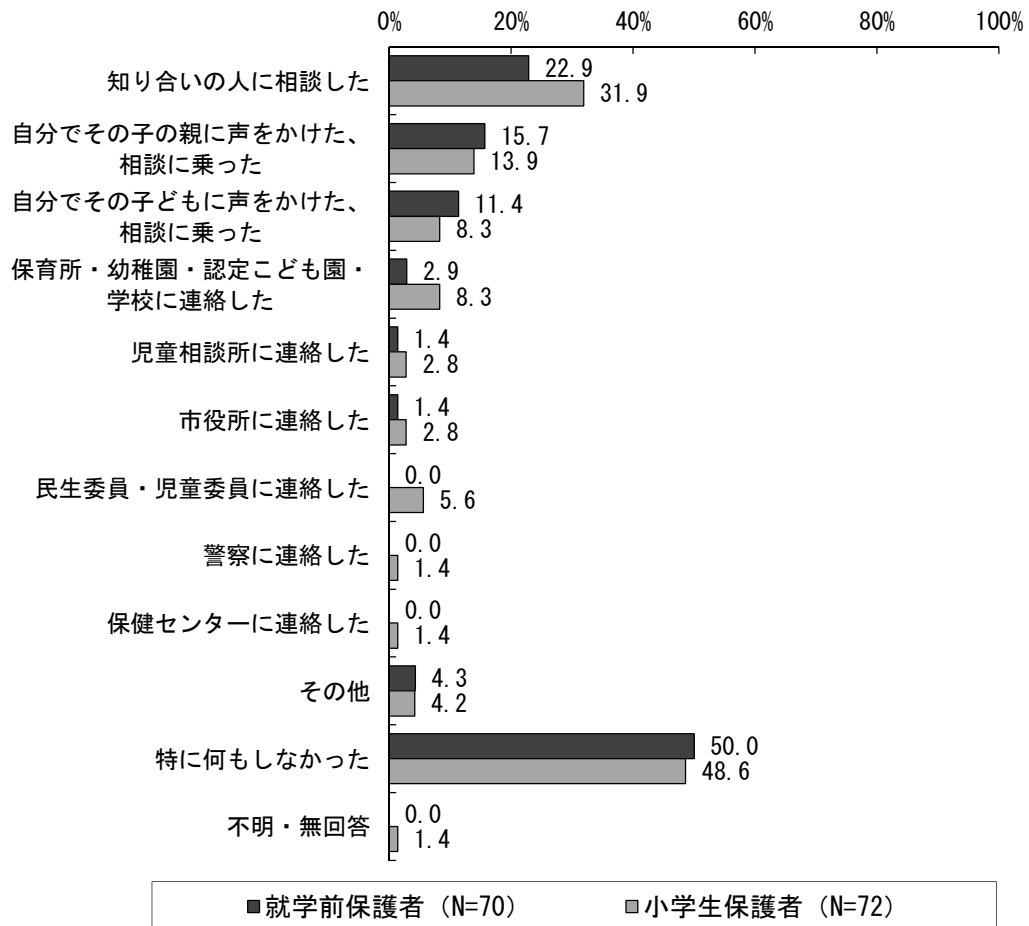
問 34 あなたが子育てをする中で、周囲で児童虐待だと思われる行為を見聞きすることがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

周囲で児童虐待だと思われる行為を見聞きしたことについては、就学前で 9.4%、小学生で 14.0%が「ある」と回答しています。



問 34-1 問 34 で「1」～「3」に○をした方におうかがいします。周囲で児童虐待  
 だと思われる行為を見聞きしたとき、あなたはどのような行動をとりましたか。  
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

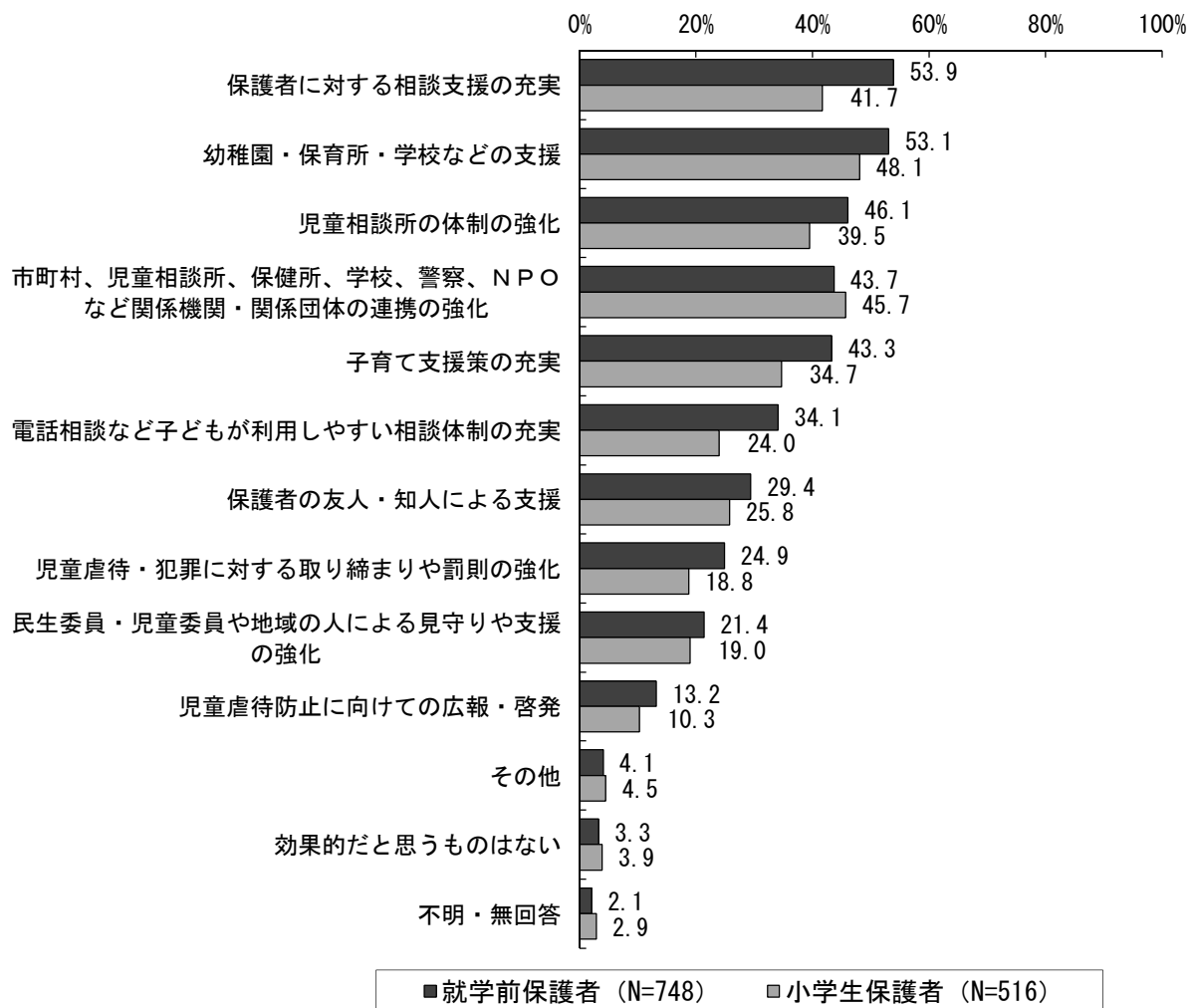
いずれの調査も「特に何もしなかった」が約半数で最も多くなっています。





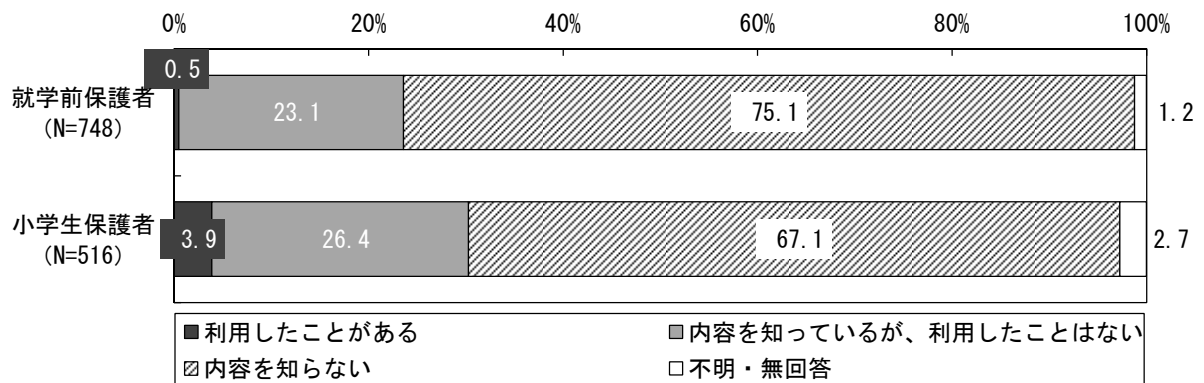
問 35 児童虐待を防止、早期改善していくためには、どのような方策が効果的だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

児童虐待の防止・早期改善のための方策については、「保護者に対する相談支援の充実」「幼稚園・保育所・学校などの支援」「児童相談所の体制の強化」「関係機関・関係団体の連携の強化」「子育て支援策の充実」が多く回答されています。



問 36 あなたは「家庭児童相談室」を利用したことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

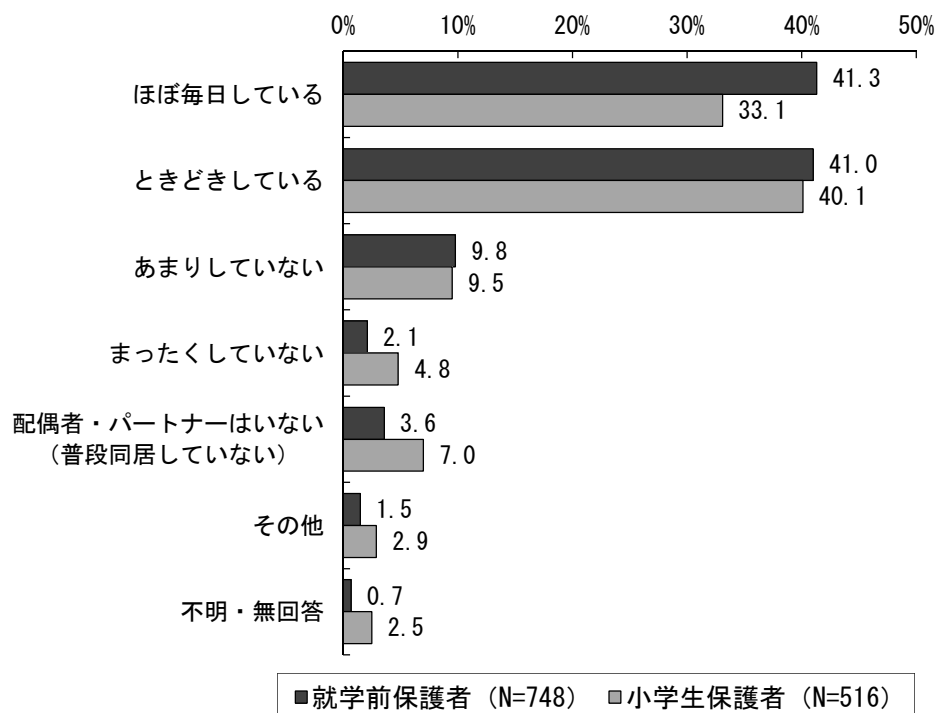
「利用したことがある」は就学前 0.5%、小学生 3.9%となっています。「内容を知らない」が就学前 75.1%、小学生 67.1%と多くなっています。

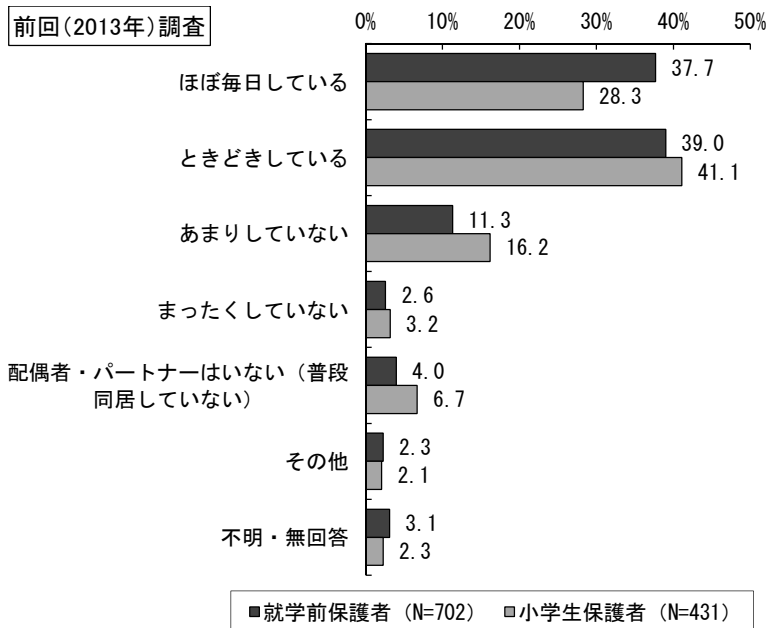


問 37 あなたの配偶者・パートナーは家事や育児をどの程度していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

就学前では「ほぼ毎日している」と「ときどきしている」がいずれも約4割となっています。小学生では、「ほぼ毎日している」がやや少なくなっています。

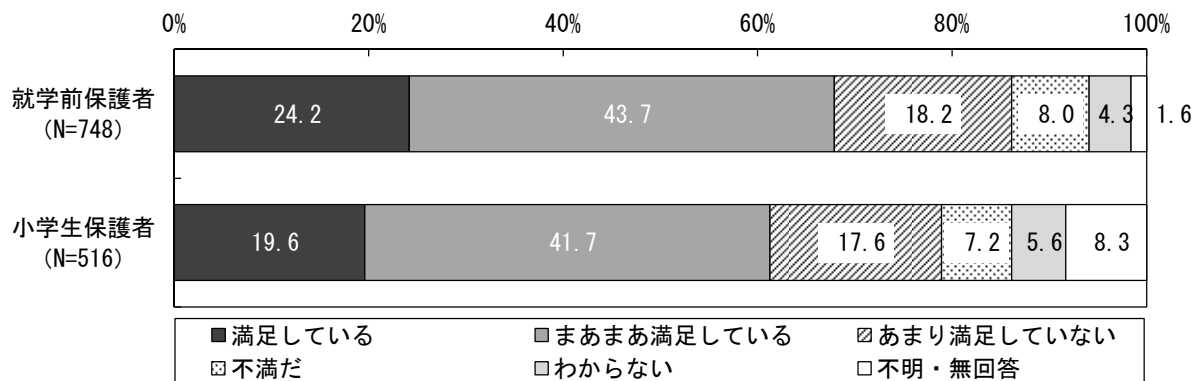
前回調査と比較すると、「ほぼ毎日している」がやや増加し、「あまりしていない」がやや減少しています。





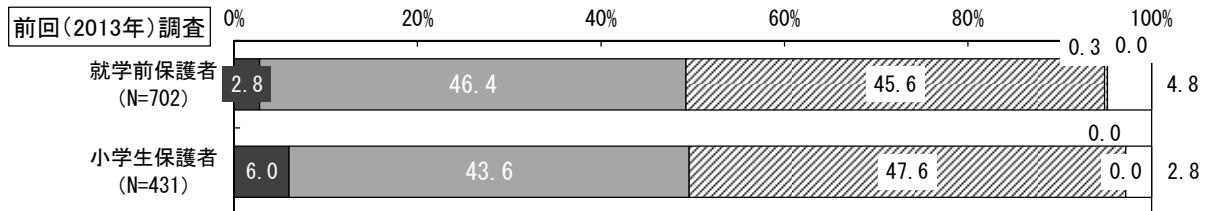
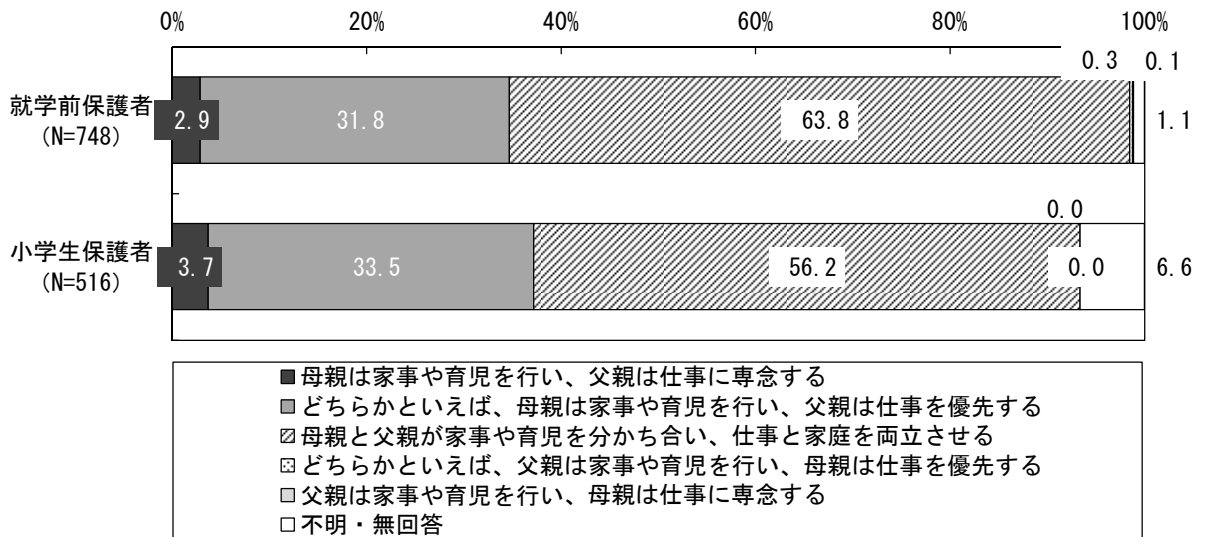
問 38 配偶者・パートナーとの家事や育児の分担に満足していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

就学前では67.9%、小学生では61.3%が「満足している」または「まあまあ満足している」と回答しています。一方、就学前の26.2%、小学生の24.8%が「あまり満足していない」または「不満だ」と回答しています。



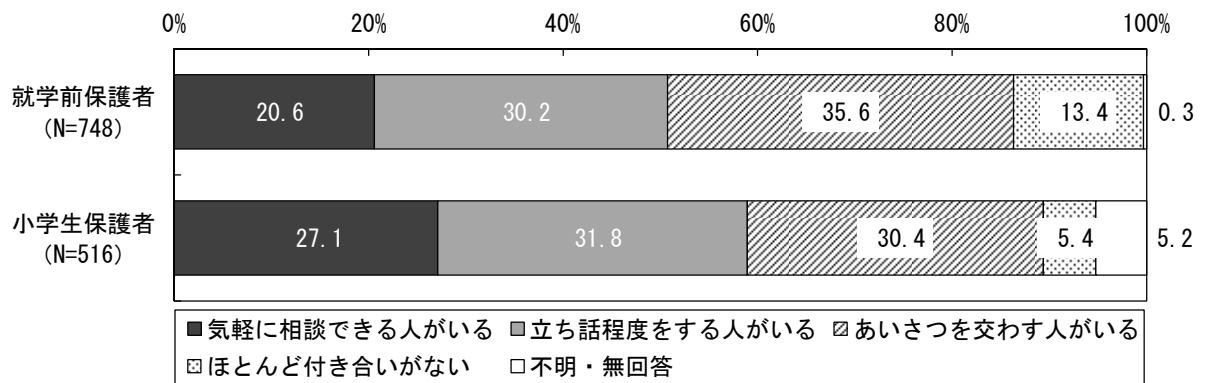
問 39 家事や育児に対して母親と父親はどのようにかかわるのが望ましいと思いますか。あなたのお考えに近いものをお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親は家事・育児、父親は仕事という性別役割分担を肯定する意見は、就学前34.7%、小学生37.2%となっています。前回調査と比較すると、「母親と父親が家事や育児を分かち合い、仕事と家庭を両立させる」が、特に就学前で大きく増加しています。



問 40 家の近所の人とどの程度のお付き合いをしていますか。当てはまる番号 1 つに ○をつけてください。

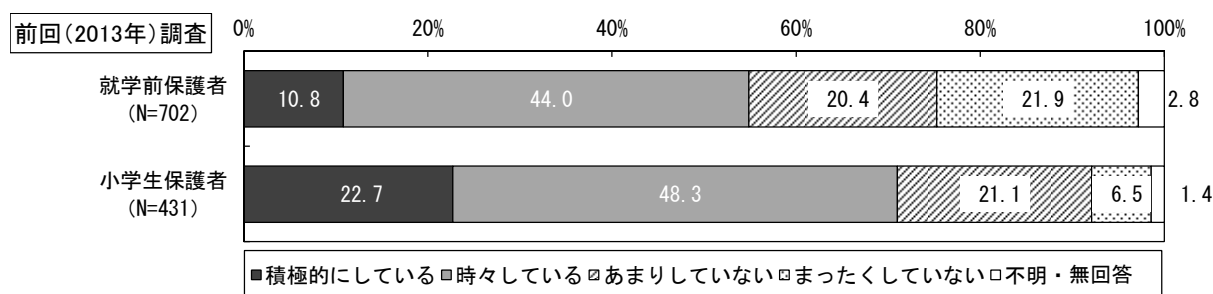
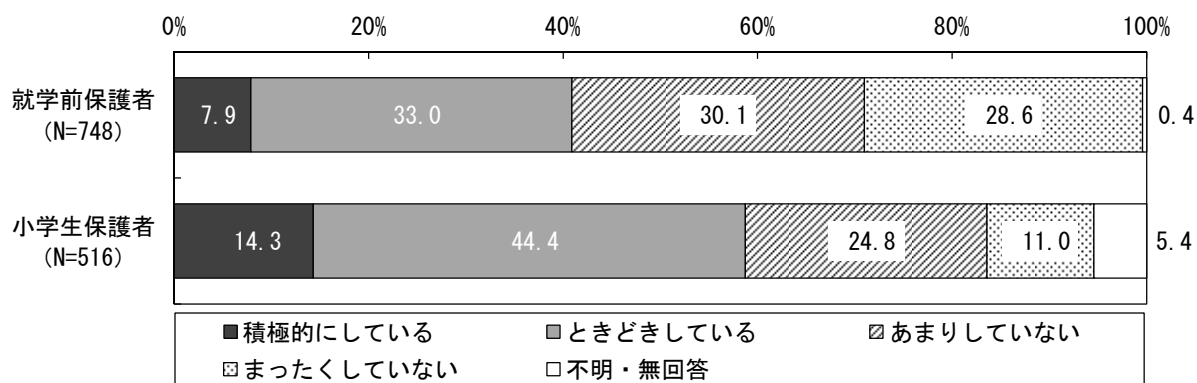
全体的に、小学生の方が就学前より近所の人との付き合いのある人が多くなっています。「ほとんど付き合いがない」は就学前 13.4%、小学生 5.4%となっています。



問 41 地域の子どもたちとの交流や活動に参加していますか。当てはまる番号 1 つに ○をつけてください。

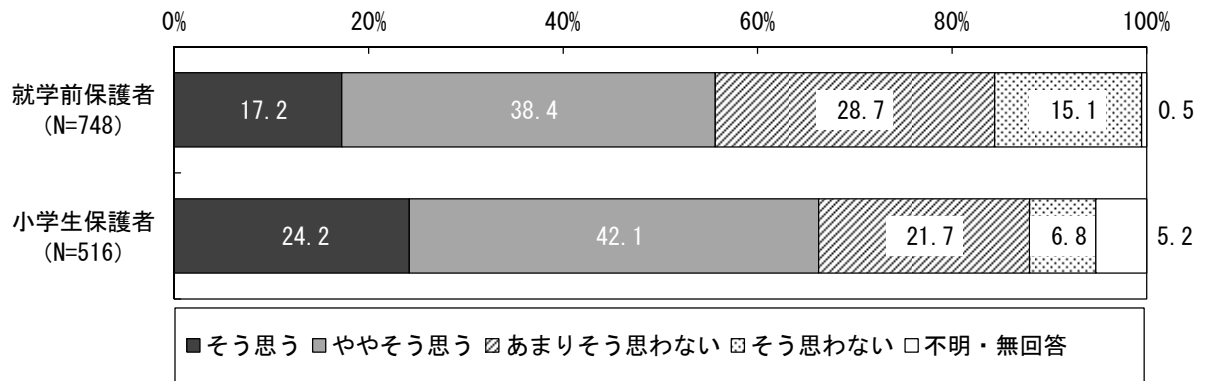
全体的に、小学生の方が就学前より地域の子どもたちとの交流や活動に参加している人が多くなっています。「まったくしていない」は就学前 28.6%、小学生 11.0%となっています。

また、前回調査と比較すると、特に就学前で参加している人が減少しています。



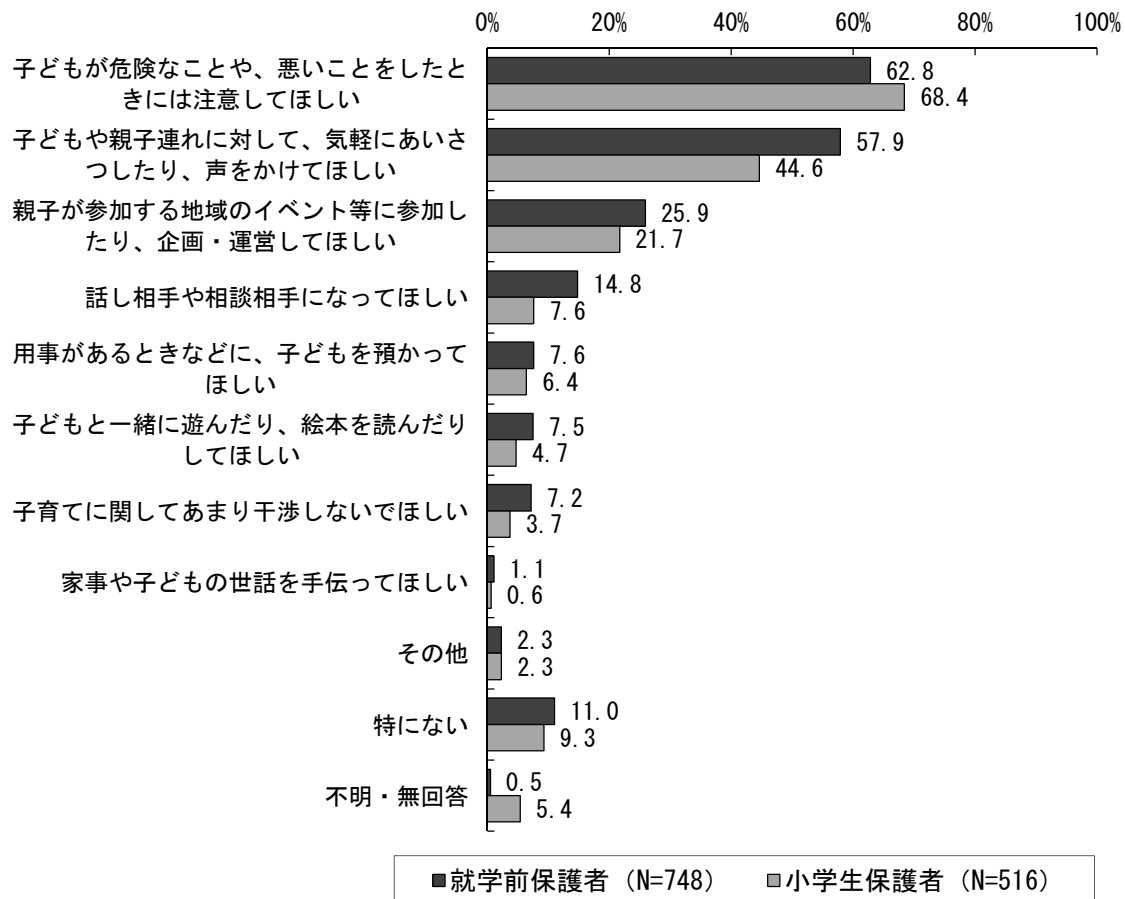
問 42 子育てをしていて、地域とのつながりができたと思うことがありましたか。当  
てはまる番号1つに○をつけてください。

地域とのつながりについては、全体的に就学前より小学生の方ができたと思う回答が多くなっ  
ています。



問 43 子育てに関して、地域の人にどのようなことを望みますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。【複数回答】

いずれの調査も、「子どもが危険なことや、悪いことをしたときには注意してほしい」が最も多く、次いで「子どもや親子連れに対して、気軽にあいさつしたり、声をかけてほしい」が多くなっています。

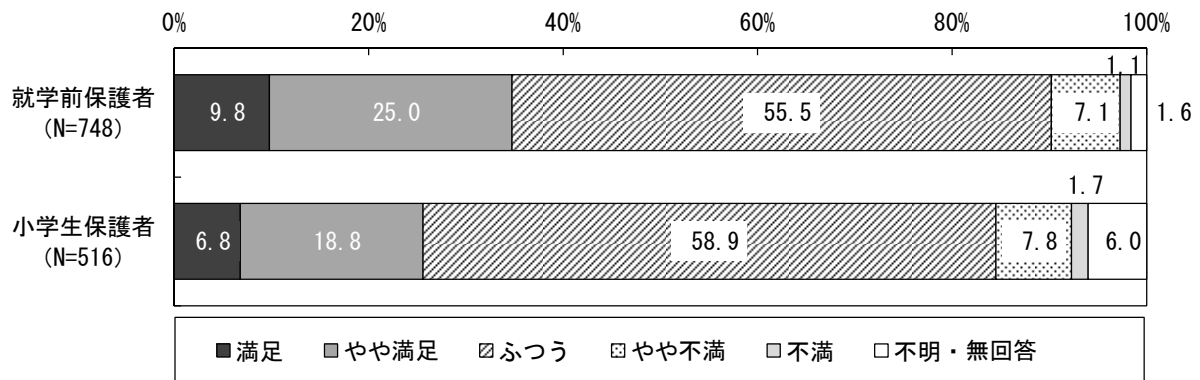




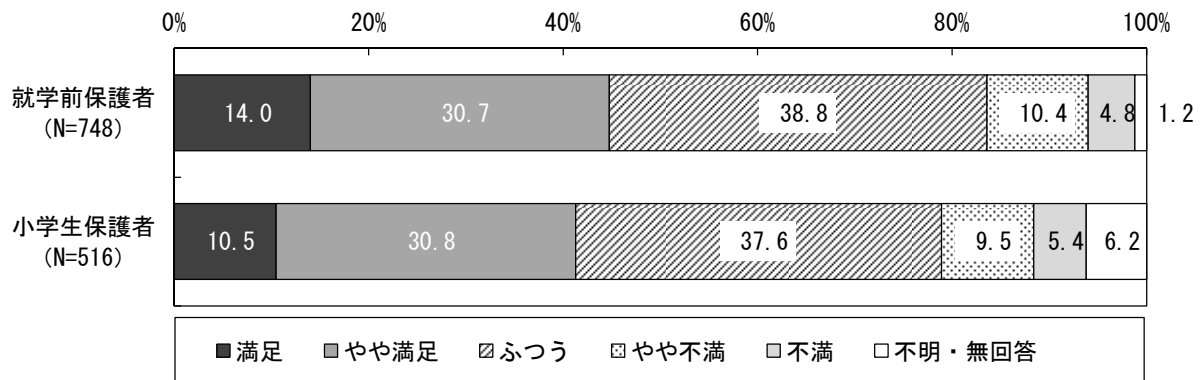
問 44 次にあげる①～⑰の項目について、三田市において子育てをする上で、あなたは満足していますか。①～⑰の項目ごとに当てはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

肯定的な評価（「満足」または「やや満足」）が多い項目として、「自然」や「生活環境」「交通や買い物などの利便性」などがあります。一方、否定的な評価（「不満」または「やや不満」）が多い項目として、「各種医療制度」や「就労支援」「子どもの遊び場の整備」などがあります。

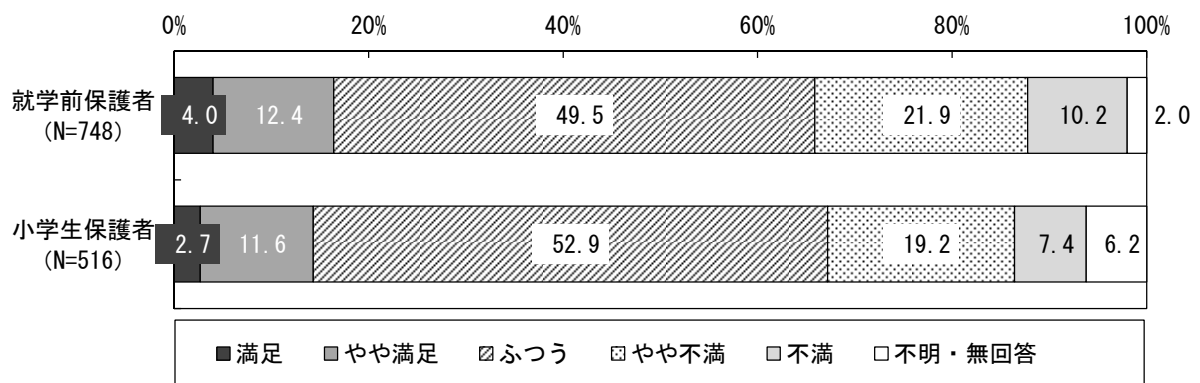
①子育てに関する情報提供や相談体制



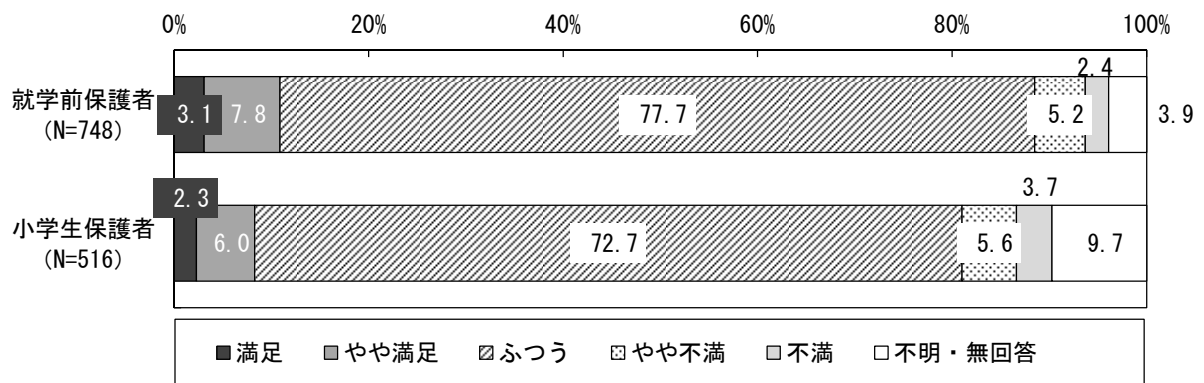
②子育て・子育てにやさしい居住・生活環境



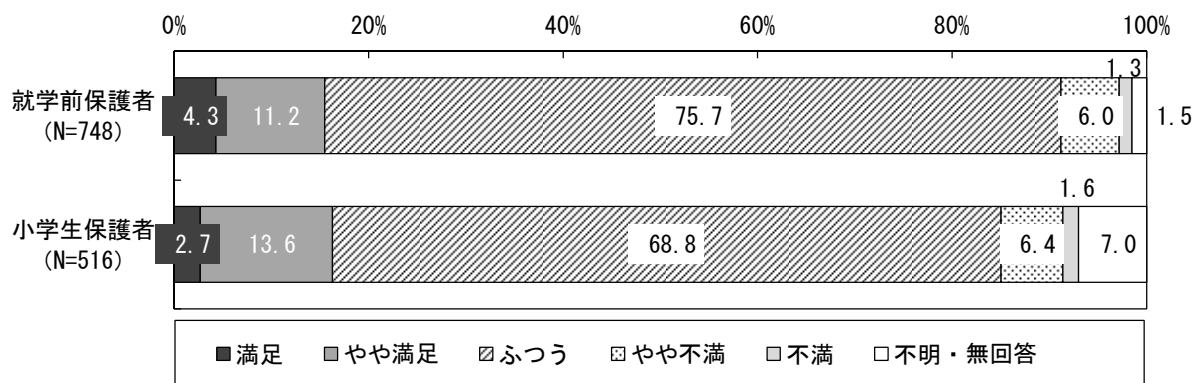
③仕事と子育てが両立しやすい環境



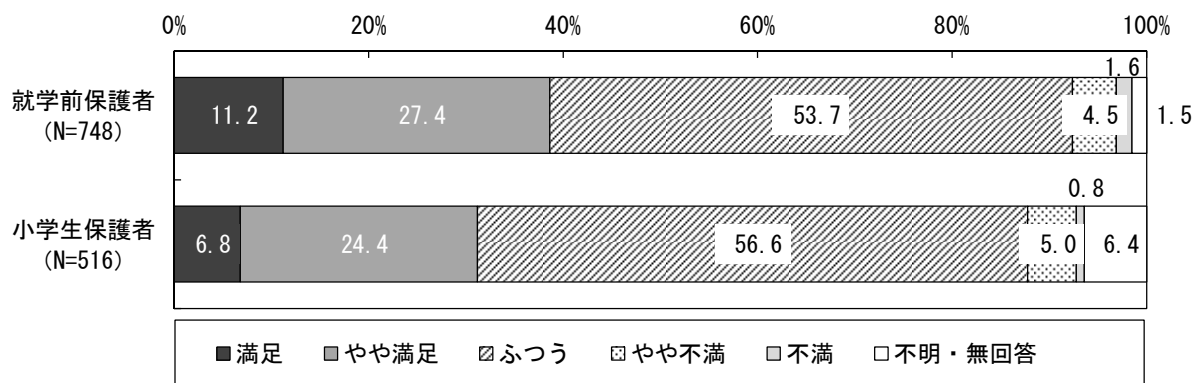
④ひとり親家庭などさまざまな状況にある家庭への支援



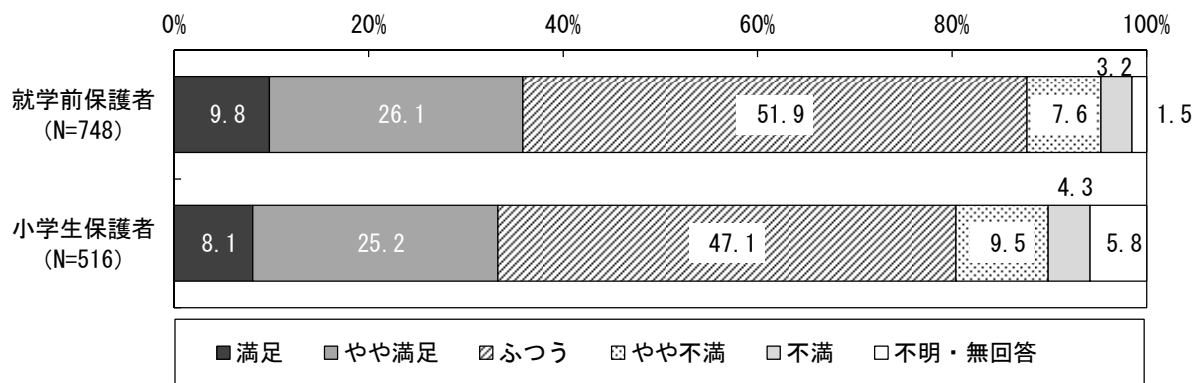
⑤家庭や地域に対する子育て意識の啓発・醸成



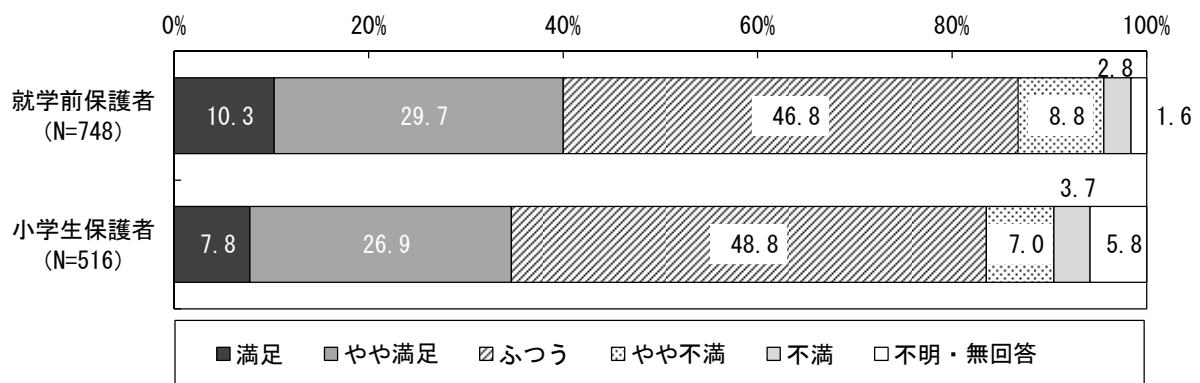
⑥多世代交流など地域と親子の交流機会



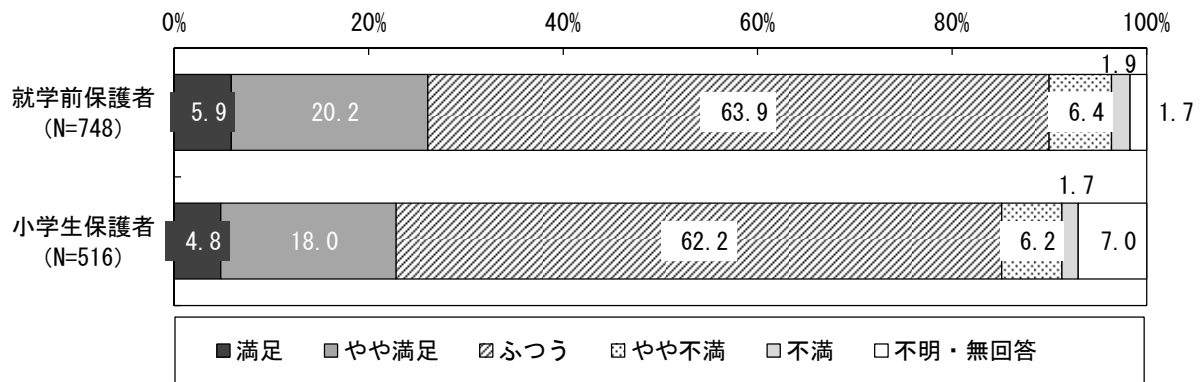
⑦就学前教育・保育、学校教育の質



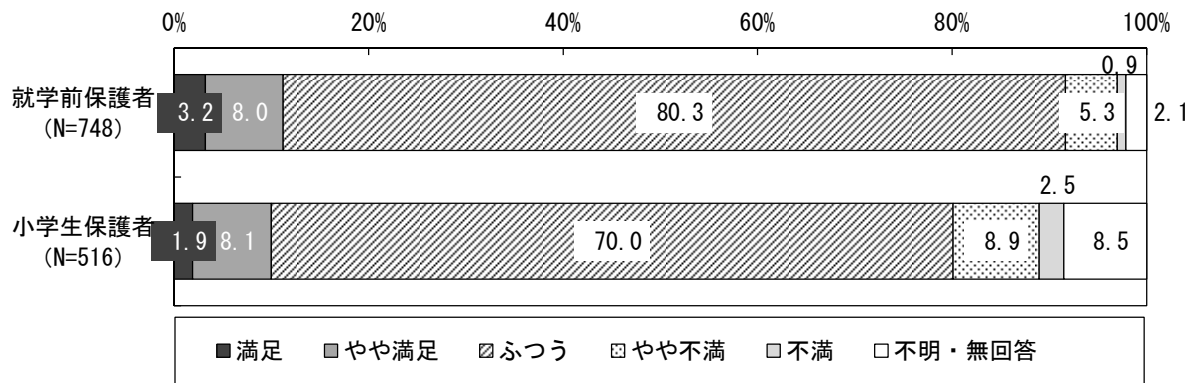
⑧子どもの遊びや体験活動の機会や場



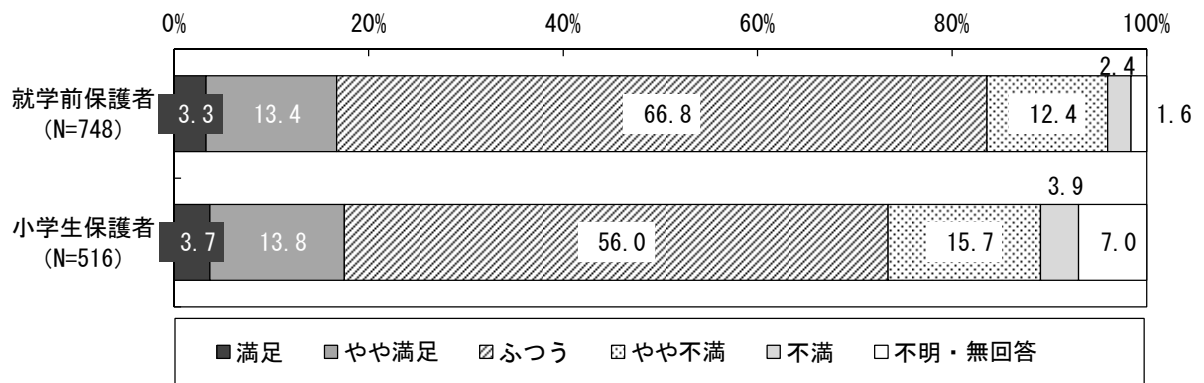
⑨乳幼児期までの親と子の心と身体の健康づくり支援



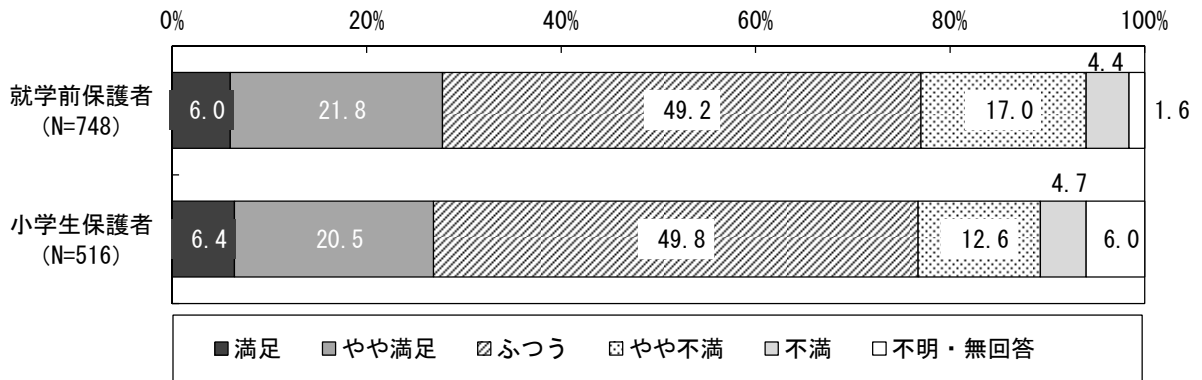
⑩青少年の心と身体の健康づくり支援



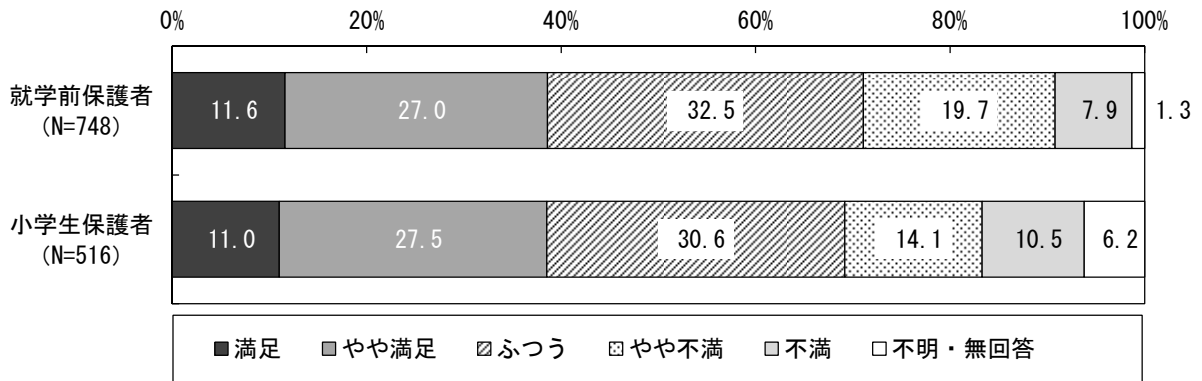
⑪子どもを犯罪から守る体制づくり、防犯対策



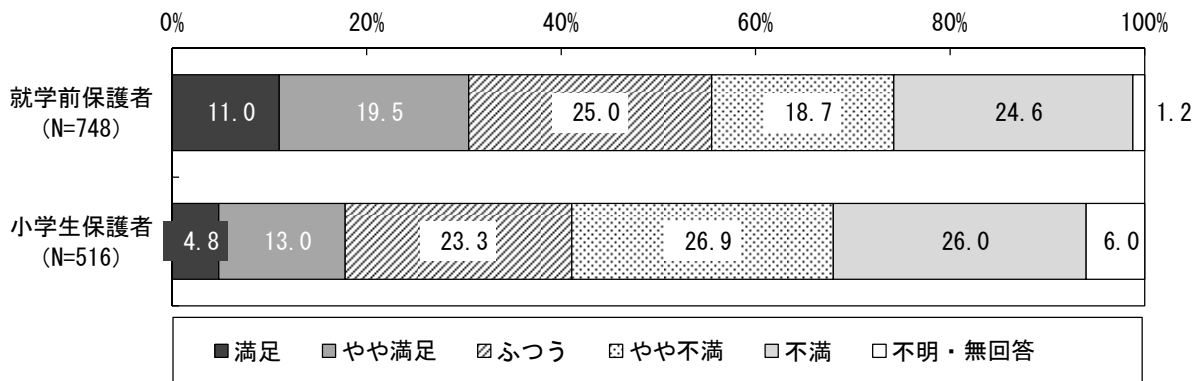
⑫建物や歩道のバリアフリーなど、子連れでの移動への配慮



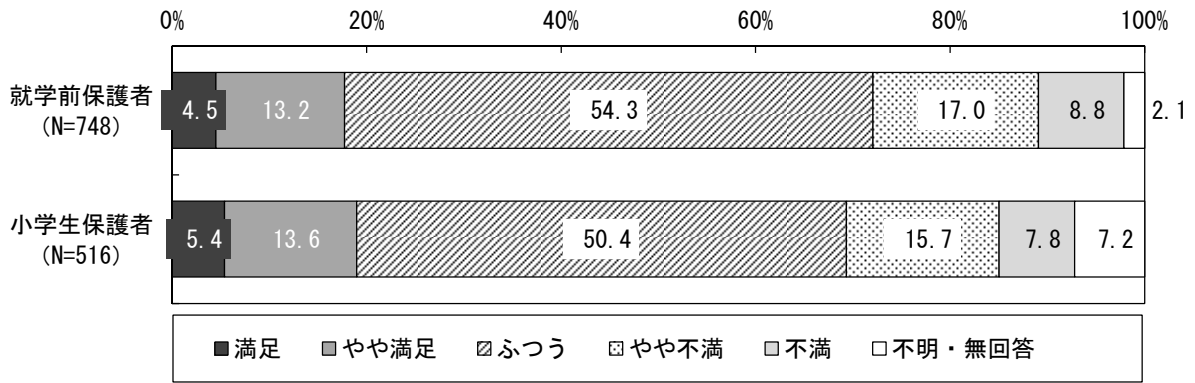
⑬公園や子どもの遊び場の整備



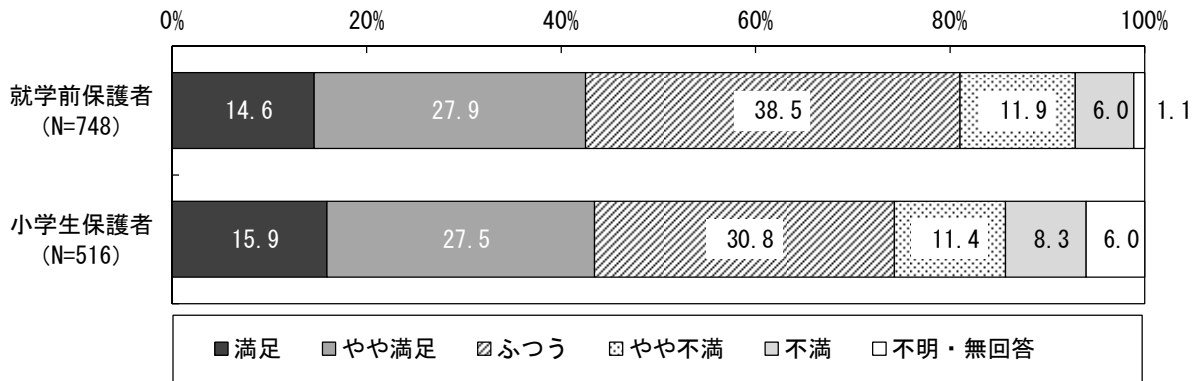
⑭医療費助成などの子育て支援の制度



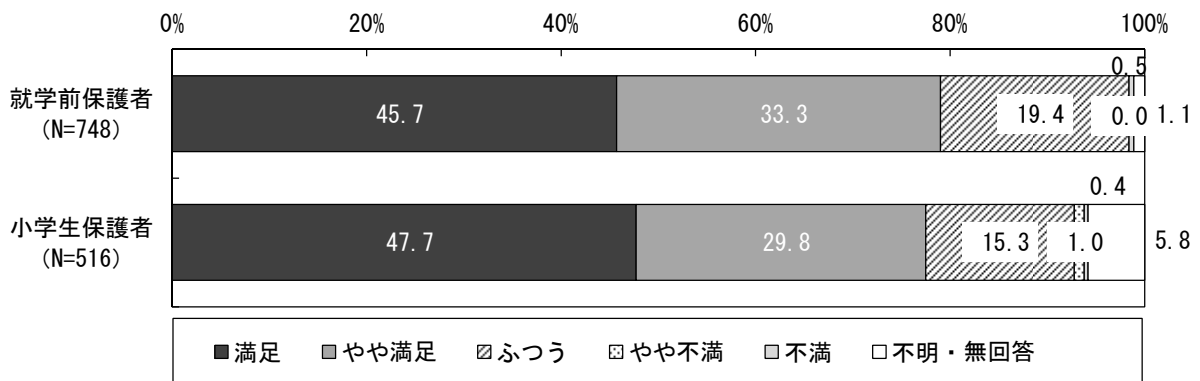
⑮保育所・放課後児童クラブなどの保育サービス



⑯交通や買い物などの生活する上での利便性



⑰自然の豊かさ



#### ◆前回調査との比較

問 44 の①～⑫は、前回調査（2013）年と同じ質問となっています。そこで、本調査（2018 年）の結果と比較を行いました。「満足」を 4 点、「やや満足」を 3 点、「ふつう」を 2 点、「やや不満」を 1 点、「不満」を 0 点とし、就学前、小学生別に平均得点を比較しています。

ほとんどの項目で、前回とほぼ同様の結果となっていますが、「②子育て・子育てにやさしい居住・生活環境」では、やや本調査の方が評価が低くなっています。

#### ■前回調査との満足度得点の比較

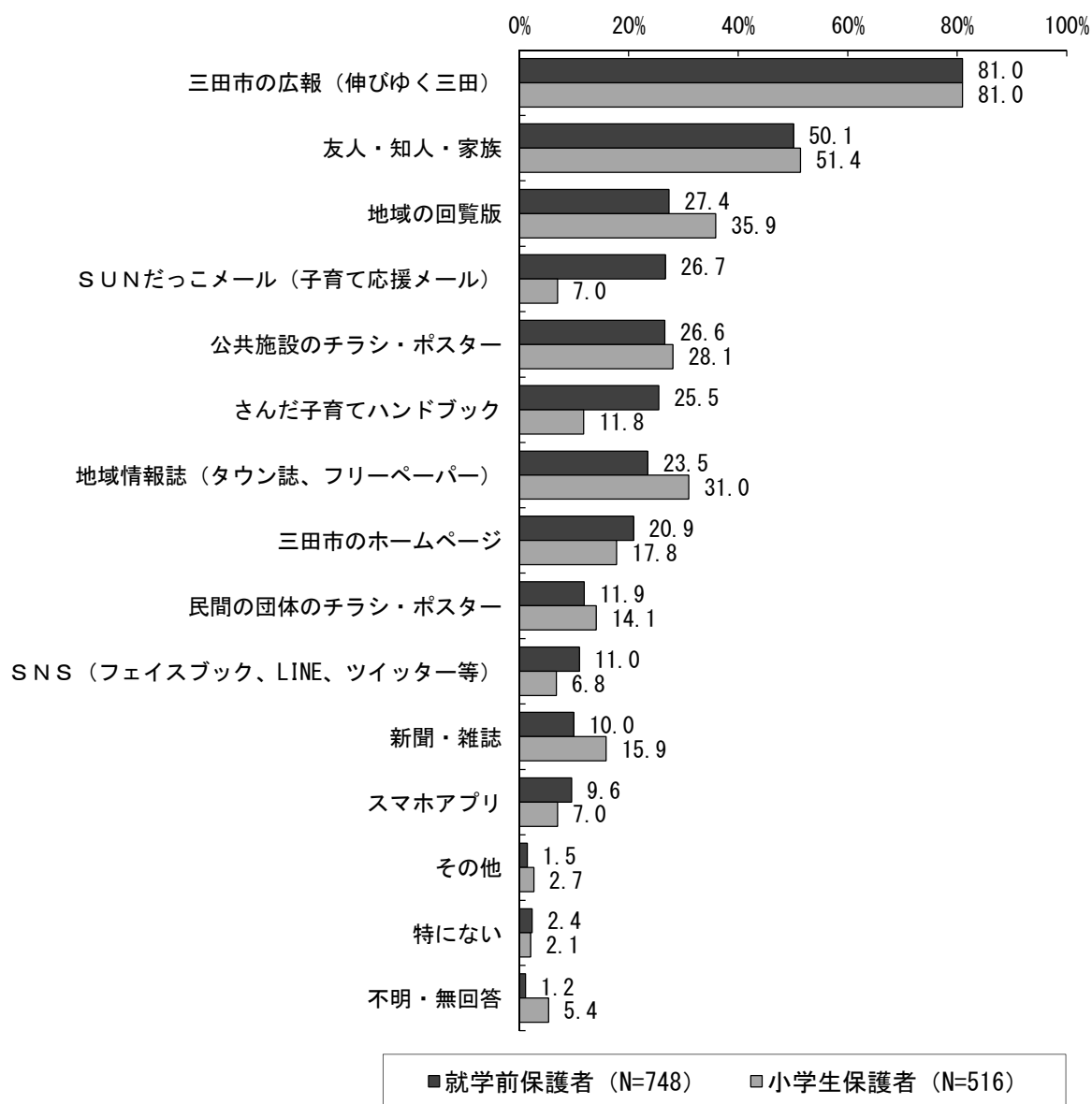
項目	就学前		小学生	
	2013 年	2018 年	2013 年	2018 年
①子育てに関する情報提供や相談体制	2.43	2.36	2.37	2.22
②子育て・子育てにやさしい居住・生活環境	2.62	2.39	2.54	2.33
③仕事と子育てが両立しやすい環境	1.69	1.78	1.78	1.82
④ひとり親家庭などさまざまな状況にある家庭への支援	2.01	2.04	1.94	1.97
⑤家庭や地域に対する子育て意識の啓発・醸成	2.20	2.11	2.12	2.10
⑥多世代交流など地域と親子の交流機会	2.43	2.43	2.35	2.34
⑦就学前教育・保育、学校教育の質	2.23	2.32	2.24	2.25
⑧子どもの遊びや体験活動の機会や場	2.37	2.36	2.35	2.30
⑨乳幼児期までの親と子の心と身体の健康づくり支援	2.30	2.22	2.23	2.19
⑩青少年の心と身体の健康づくり支援	2.08	2.07	1.98	1.98
⑪子どもを犯罪から守る体制づくり、防犯対策	2.01	2.03	2.01	1.98
⑫建物や歩道のバリアフリーなど、子連れでの移動への配慮	2.06	2.15	2.00	2.12

問 45 あなたは子育てに関する情報をどのように得ていますか。また今後、どのような方法で情報を得たいと思いますか。現在得ている方法と、今後得たい方法の両方について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。【複数回答】

現在子育て情報を得ているものについては、「三田市の広報」が最も多く、次いで「友人・知人・家族」「地域の回覧板」が多くなっています。「SUNだっこメール」は就学前では26.7%の回答がありますが、小学生では少なくなっています。

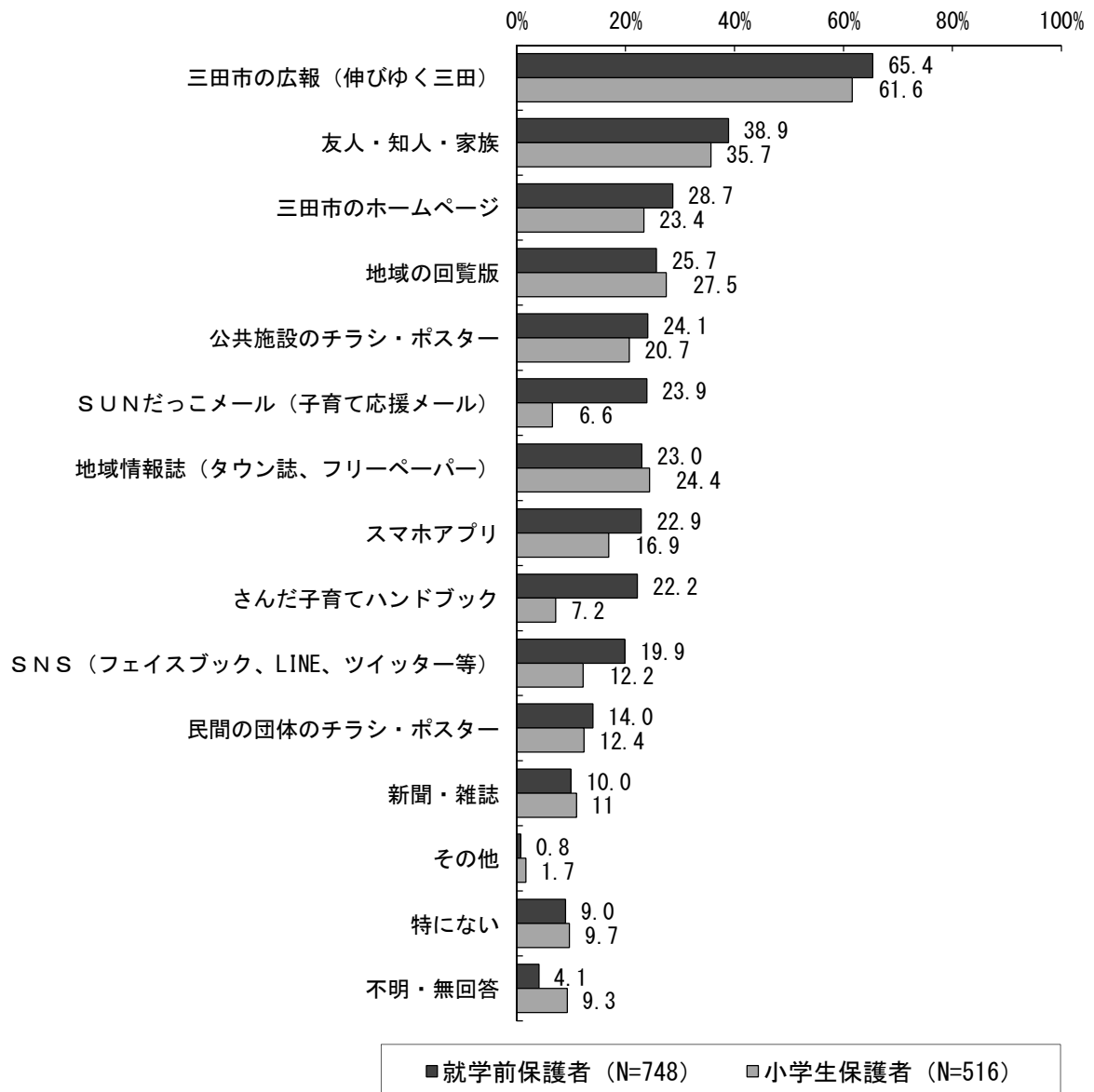
今後子育て情報を得るために利用したいものについては、現在利用しているものと大きな違いはありませんが、「三田市のホームページ」の順位が上がっており、子育て情報の入手に新たに利用したいと考えている保護者が比較的多いことがうかがえます。

現在子育て情報を得ているもの



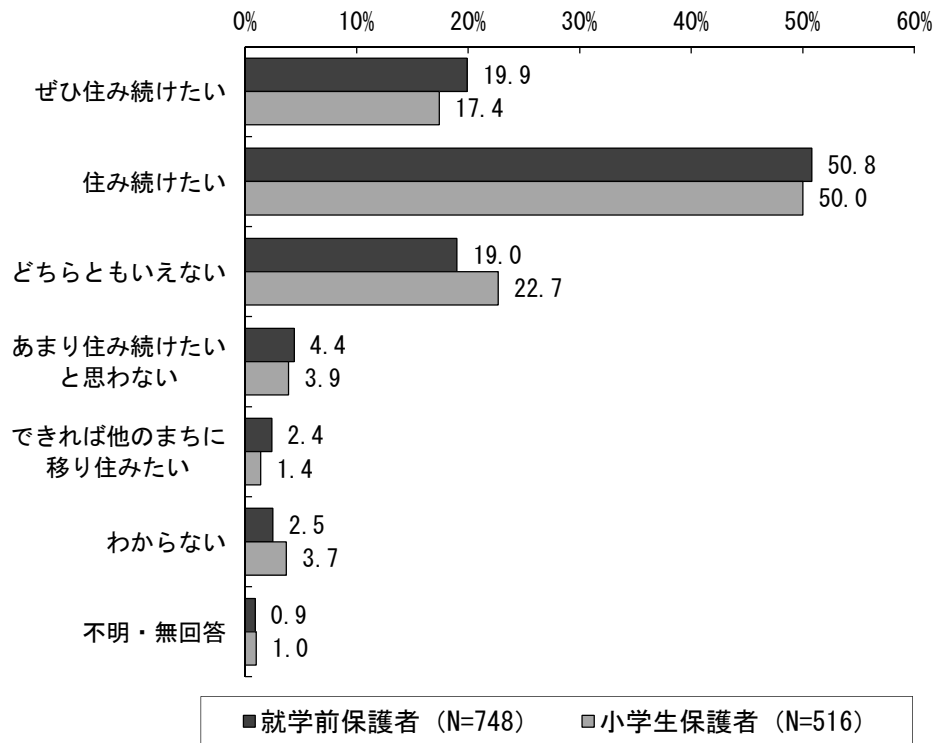


今後子育て情報を得るために利用したいもの



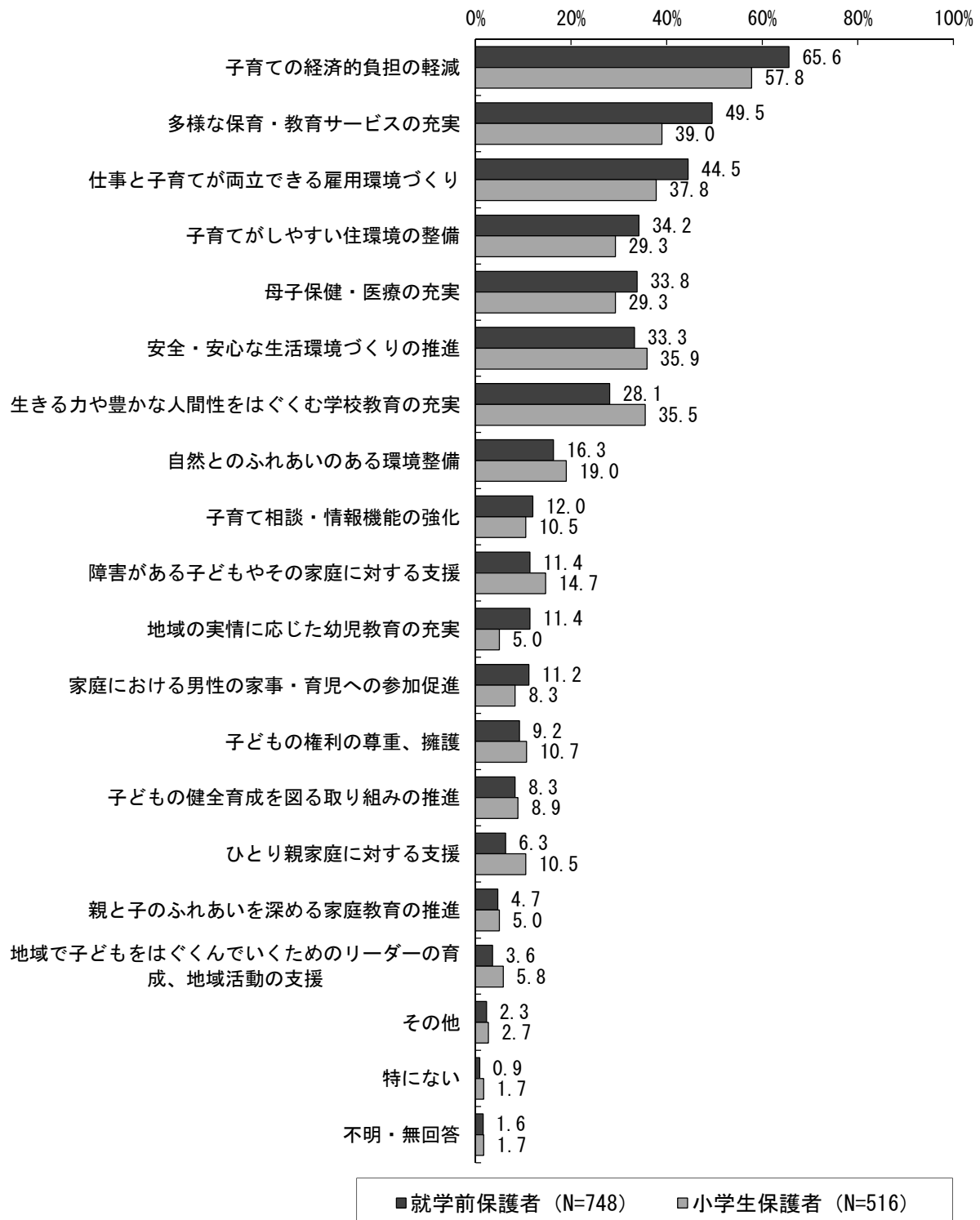
問 46 これまでおたずねしたことなどを総合的に判断して、三田市は子どもを育てながら住み続けたいまちであると思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「ぜひ住み続けたい」と「住み続けたい」を合計すると、いずれの調査についても約7割が三田市に住み続けたいと回答しています。



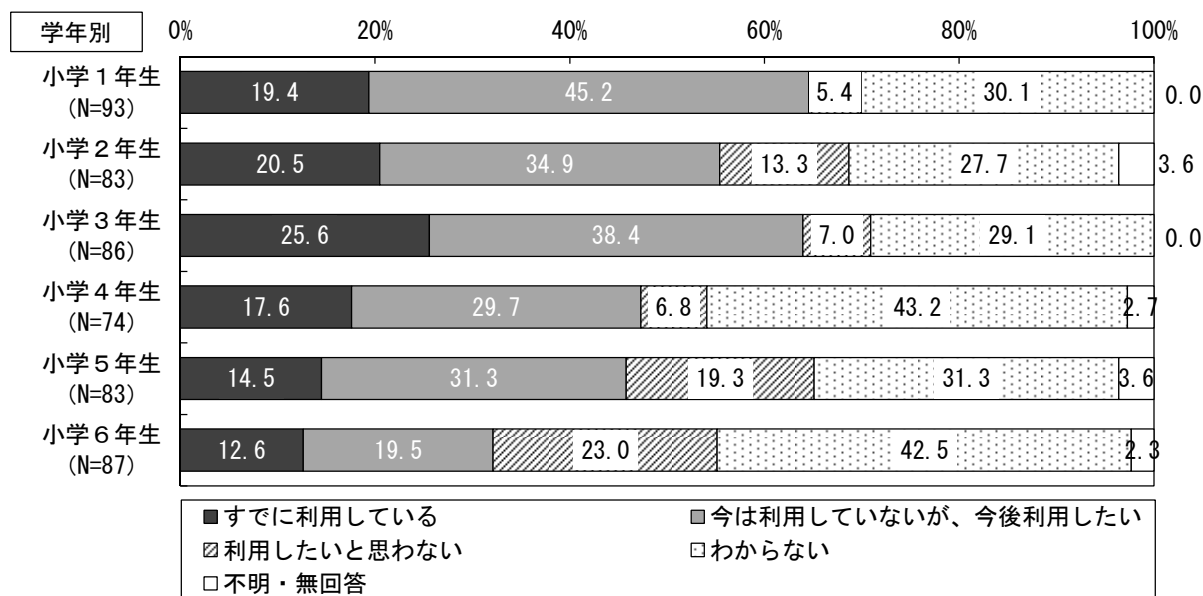
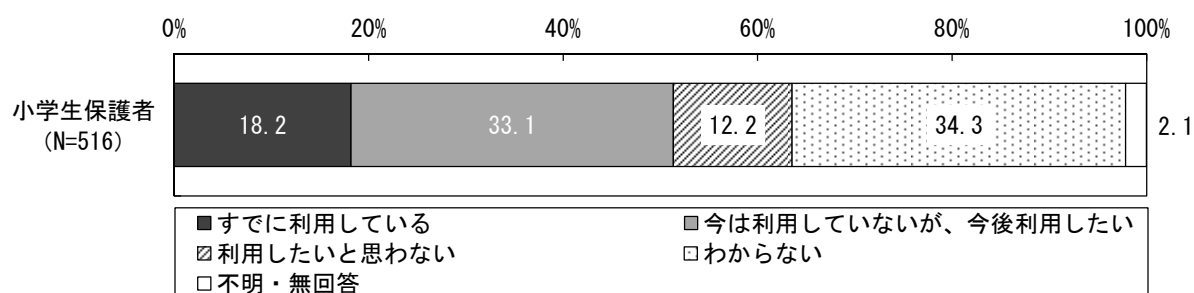
問 47 子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりを進めていく上で、三田市としてはどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。当てはまる番号5つまで○をつけてください。【複数回答】

いずれの調査も、「子育ての経済的負担の軽減」という回答が最も多くなっています。次いで、「多様な保育・教育サービスの充実」「仕事と子育てが両立できる雇用環境作り」が多くなっています。



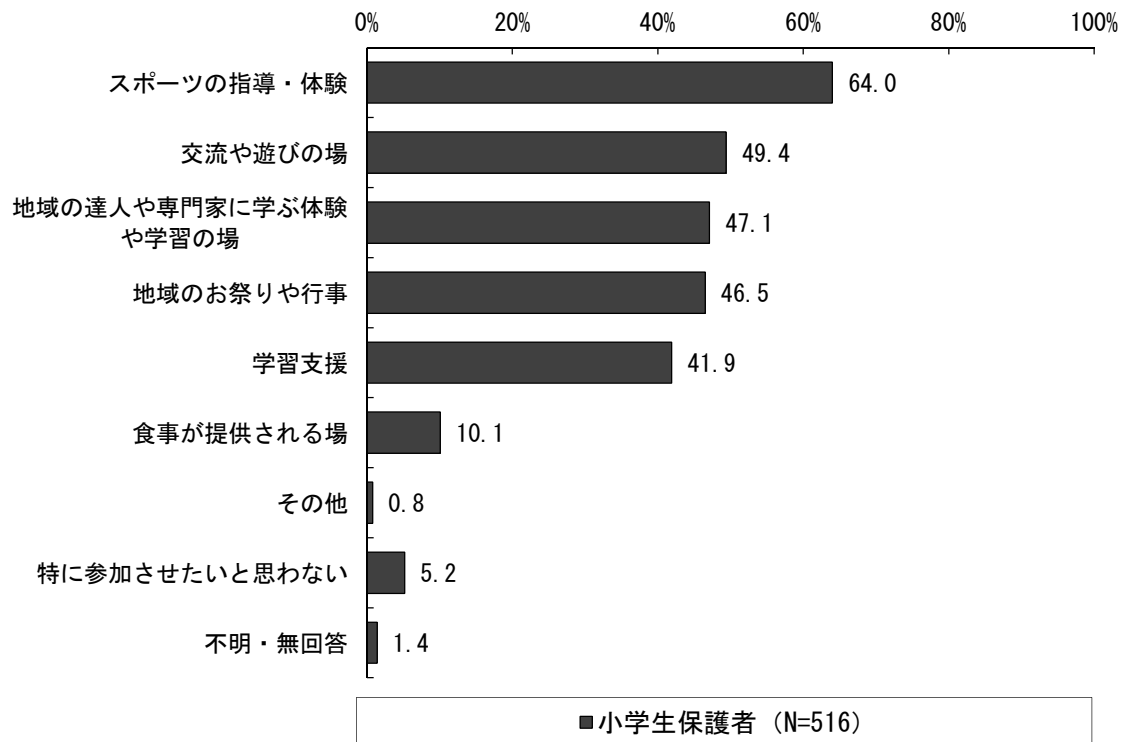
小学生問 17 三田市では、放課後や週末に子ども同士、子どもと大人の交流の機会をもうけ、体験及び学習活動を行う「放課後子ども教室」など、地域住民が主体となった活動が実施されていますが、宛名のお子さんに利用させたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。【小学生のみ】

放課後子ども教室については、「すでに利用している」が18.2%、「今は利用していないが、今後利用したい」が33.1%となっており、約半数が利用意向を持っていることが示されています。学年別にみると、1年生から3年生で利用意向が高く、4年生以上は学年が上がるほど利用意向が低くなっています。



小学生問 18 今後、放課後や週末に、地域にあれば子どもに参加させたいと思う活動  
はありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【小学生のみ・  
複数回答】

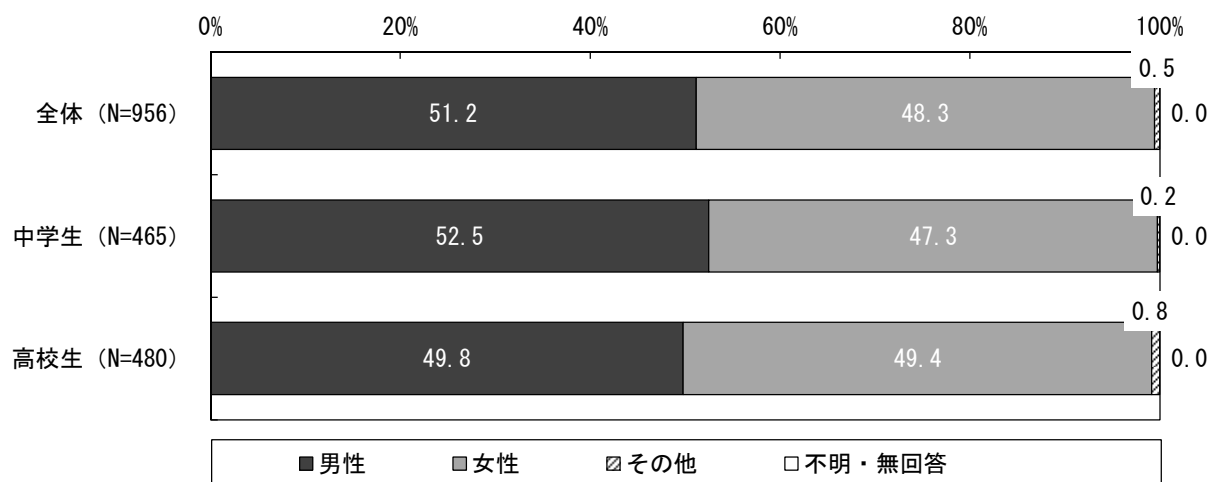
「スポーツの指導・体験」が64.0%で最も多くなっています。「交流や遊びの場」「地域のたつ  
じにゃ専門家に学ぶ体験や学習の場」「地域のお祭りや行事」「学習支援」についても、4割台の  
回答があります。



## 2. 中学生・高校生調査の結果

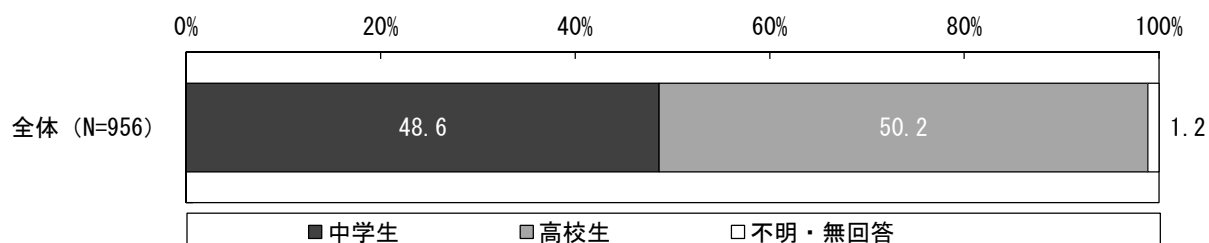
### 問1 あなたの性別。(〇は1つ)

中学生・高校生ともに男性がやや多くなっています。



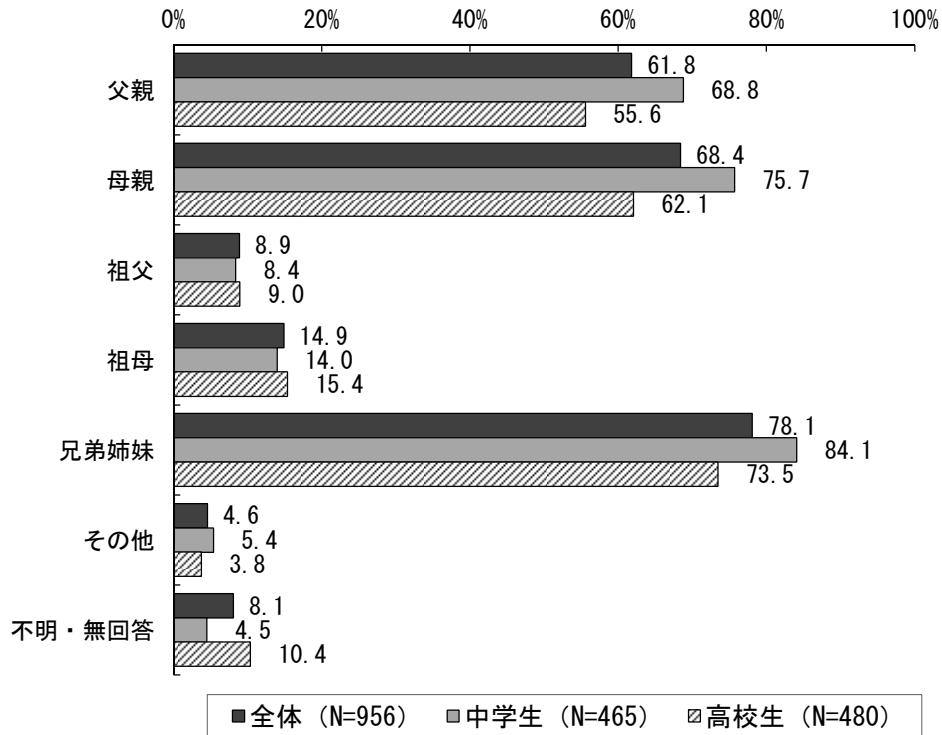
### 問2 あなたは中学生ですか。高校生ですか。(〇は1つ)

全体では、中学生 48.6%、高校生 50.2%となっています。



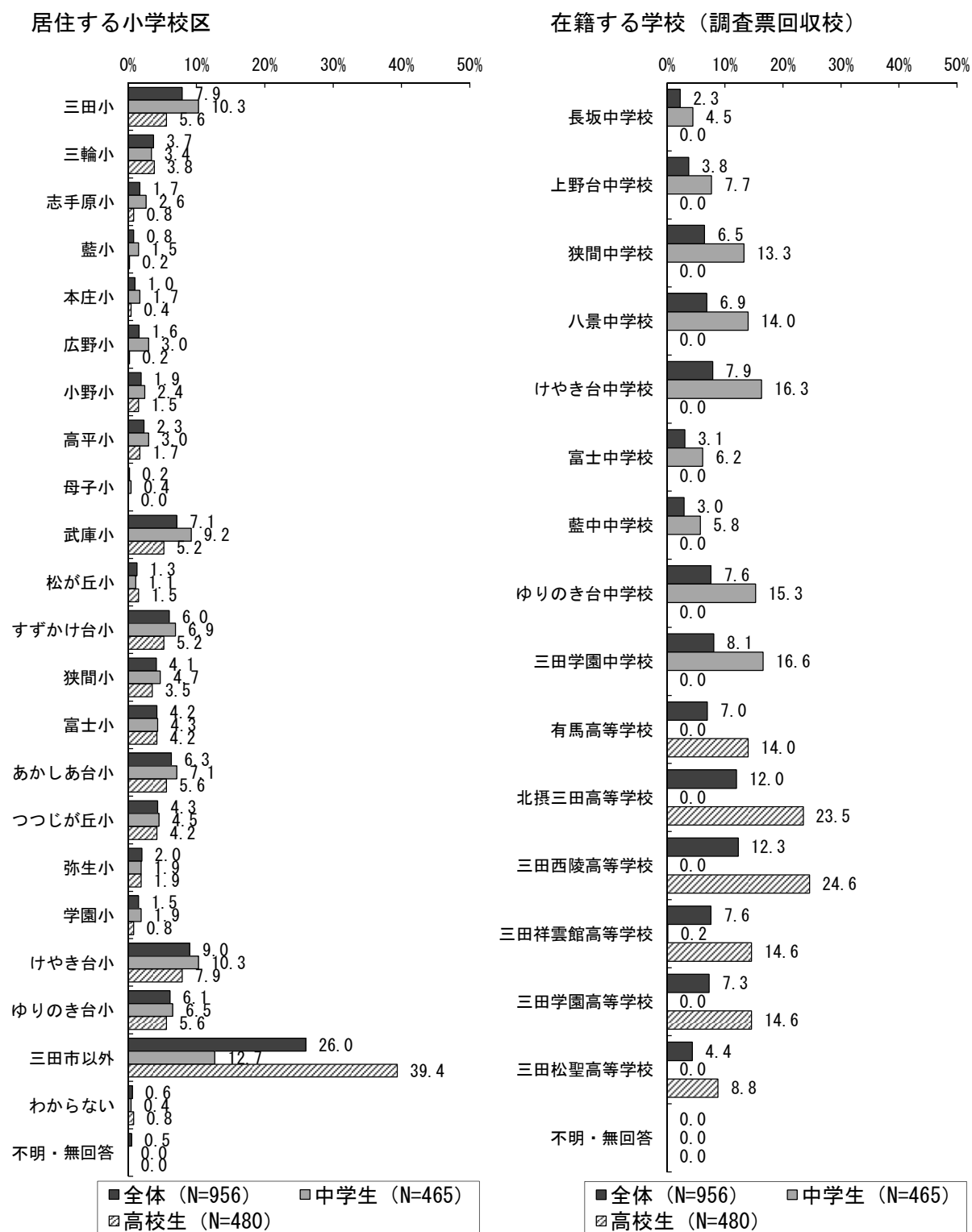
問3 あなたと同居している家族をお答えください。(〇はいくつでも)【複数回答】

父親、母親については、調査票の形式(父親・母親については就労の状況も一緒に尋ねていた)が影響して、回答が少なくなっている可能性があります。



問4 お住まいの小学校区はどちらですか。三田市に居住していない方は、「21. 三田市以外」に○をつけてください。(○は1つ)

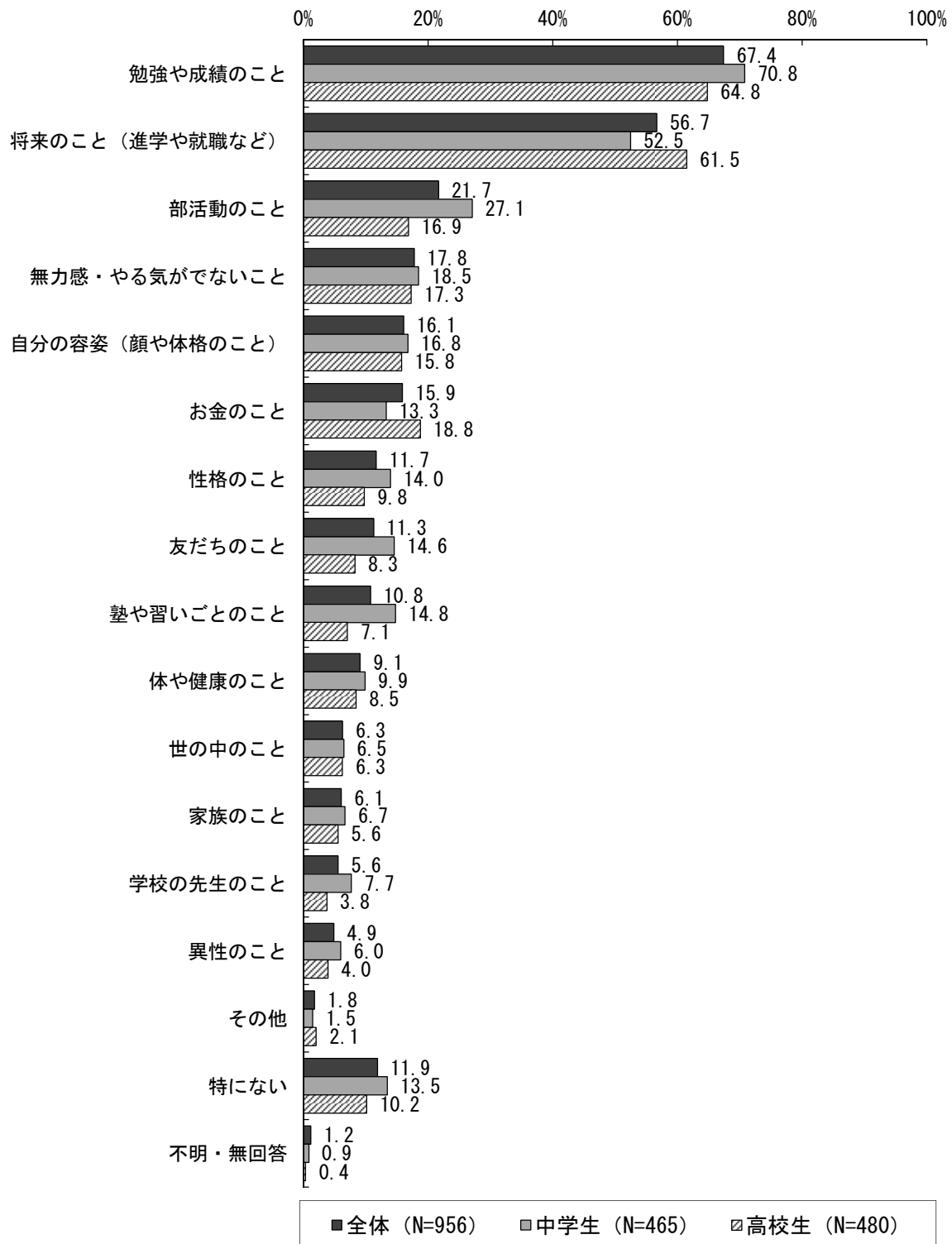
中学生・高校生ともに、三田市以外に居住する生徒の割合が最も高くなっています。三田市内では、けやき台小学校区、三田小学校区が比較的多くなっています。





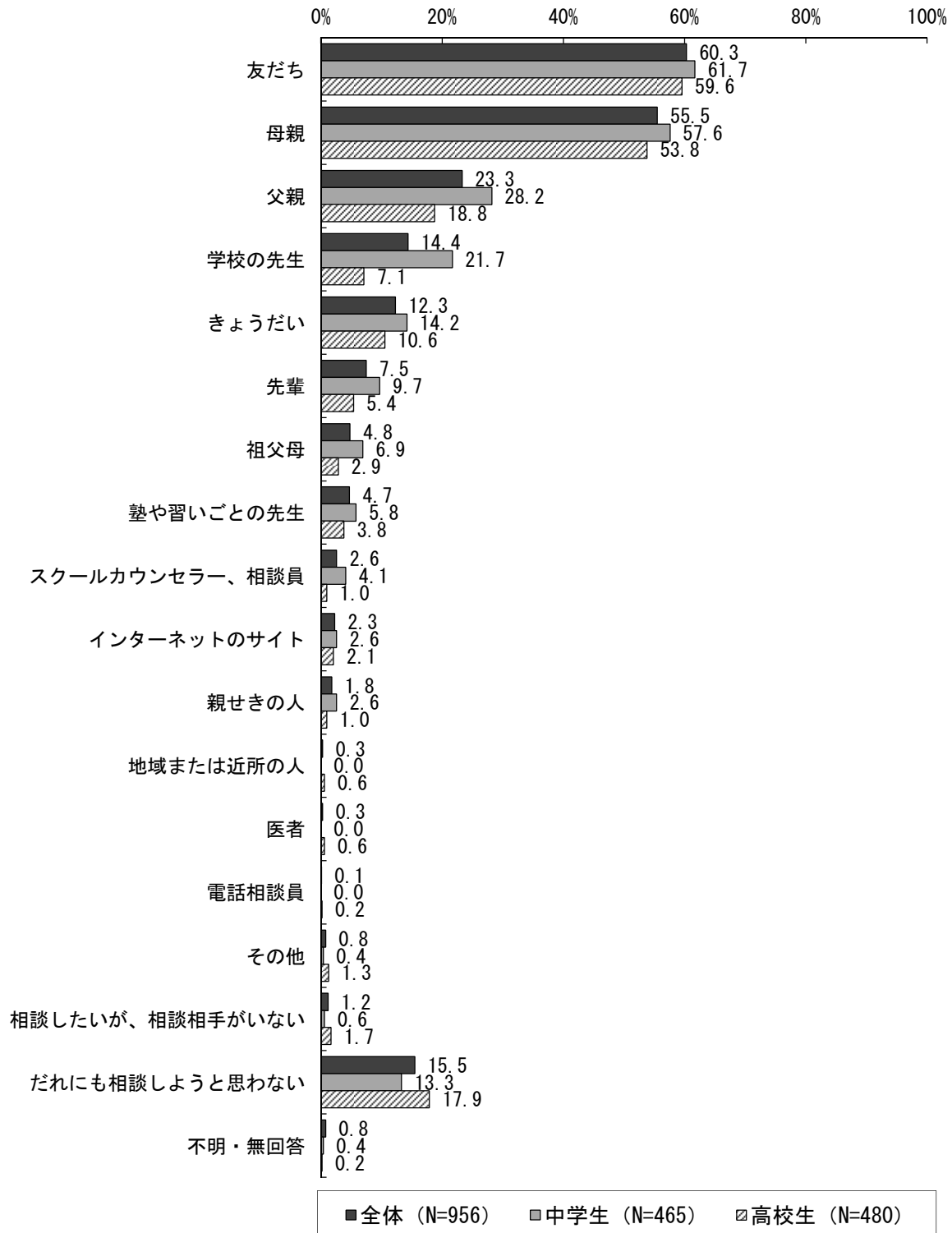
## 問5 あなたが今、悩んでいることは何ですか。(〇はいくつでも)【複数回答】

中学生・高校生ともに、「勉強や成績のこと」が最も多く、次いで「将来のこと」が多くなっています。上位2つについてはいずれも5割を超えており、三田市の中学生・高校生の多くが悩んでいることがうかがえます。これ以外では、中学生では「部活動のこと」が27.1%、高校生では「お金のこと」が18.8%で最も多くなっています。



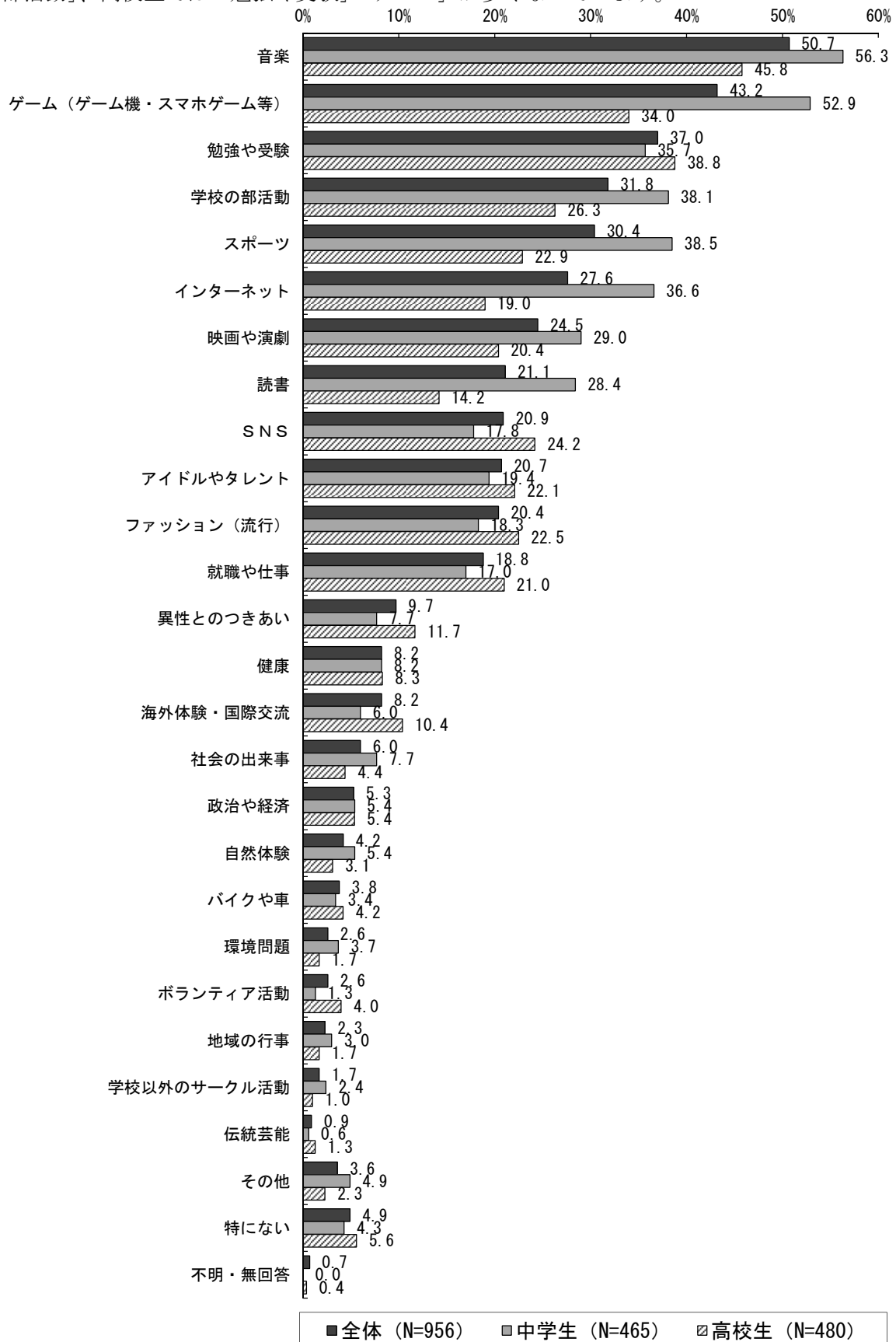
問6 あなたは、悩みや心配ごとをだれに相談しますか。(〇はいくつでも)【複数回答】

悩みや心配ごとの相談相手としては、「友だち」が最も多く、次いで「母親」が多くなっています。「だれにも相談しようと思わない」は中学生 13.3%、高校生 17.3%となっています。



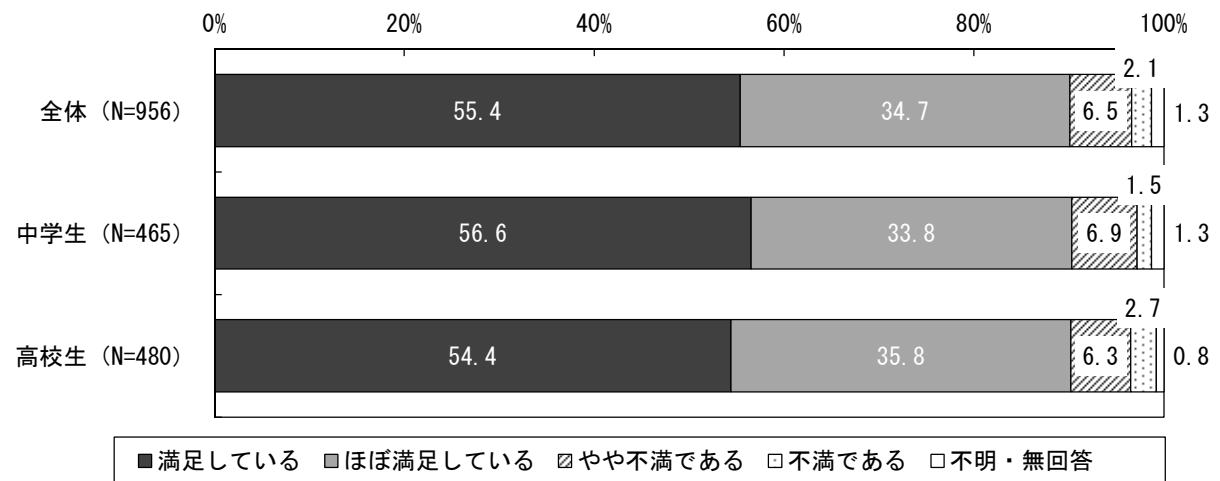
## 問7 あなたは、今どのようなことに関心がありますか。(〇はいくつでも)【複数回答】

中学生・高校生ともに「音楽」が最も多くなっています。次いで、中学生では「ゲーム」「学校の部活動」、高校生では「勉強や受験」「ゲーム」が多くなっています。



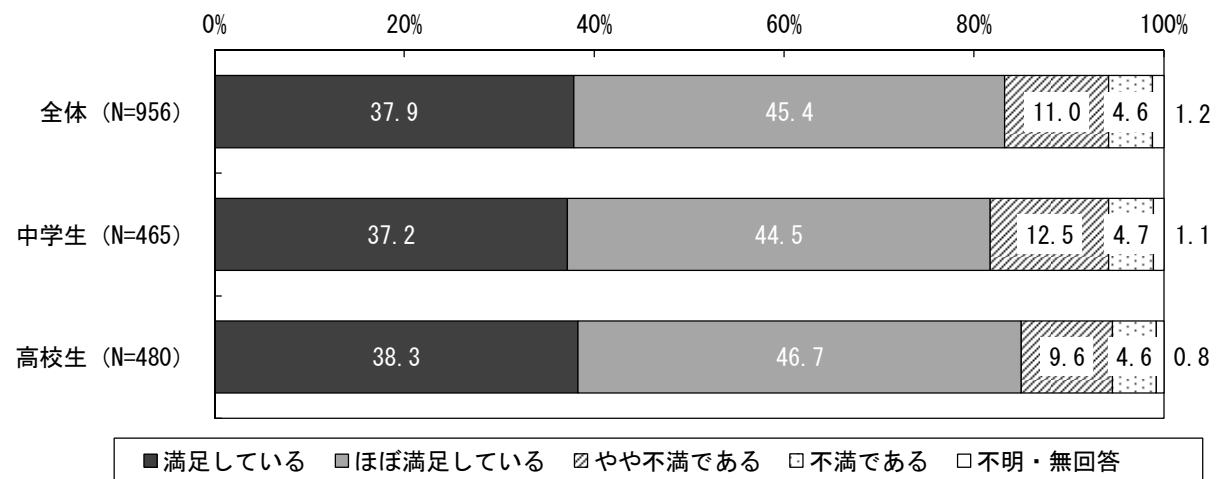
### 問8 家庭での生活に満足していますか。(〇は1つ)

中学生・高校生ともに約9割が「満足している」または「ほぼ満足している」と回答しています。



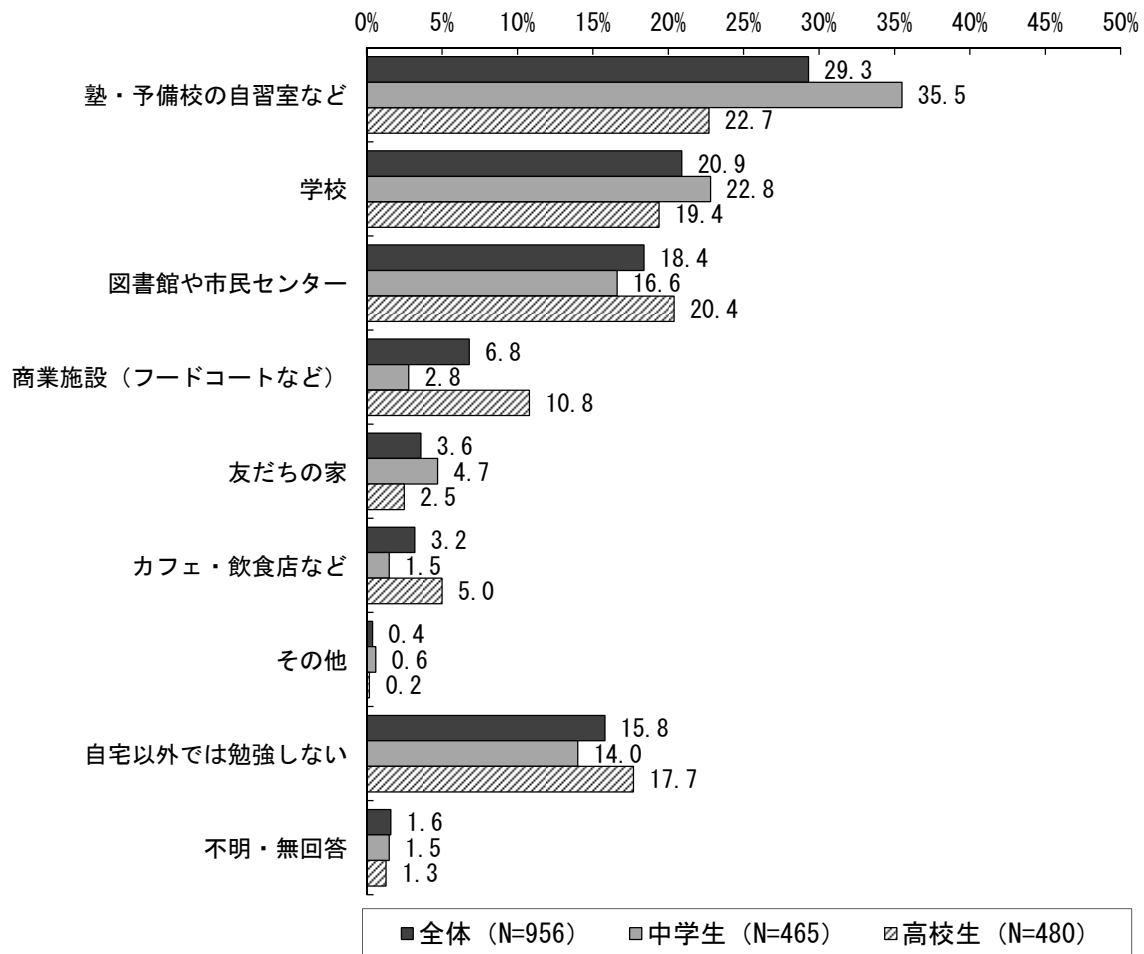
### 問9 学校での生活に満足していますか。(〇は1つ)

中学生・高校生ともに8割台が「満足している」または「ほぼ満足している」と回答しています。



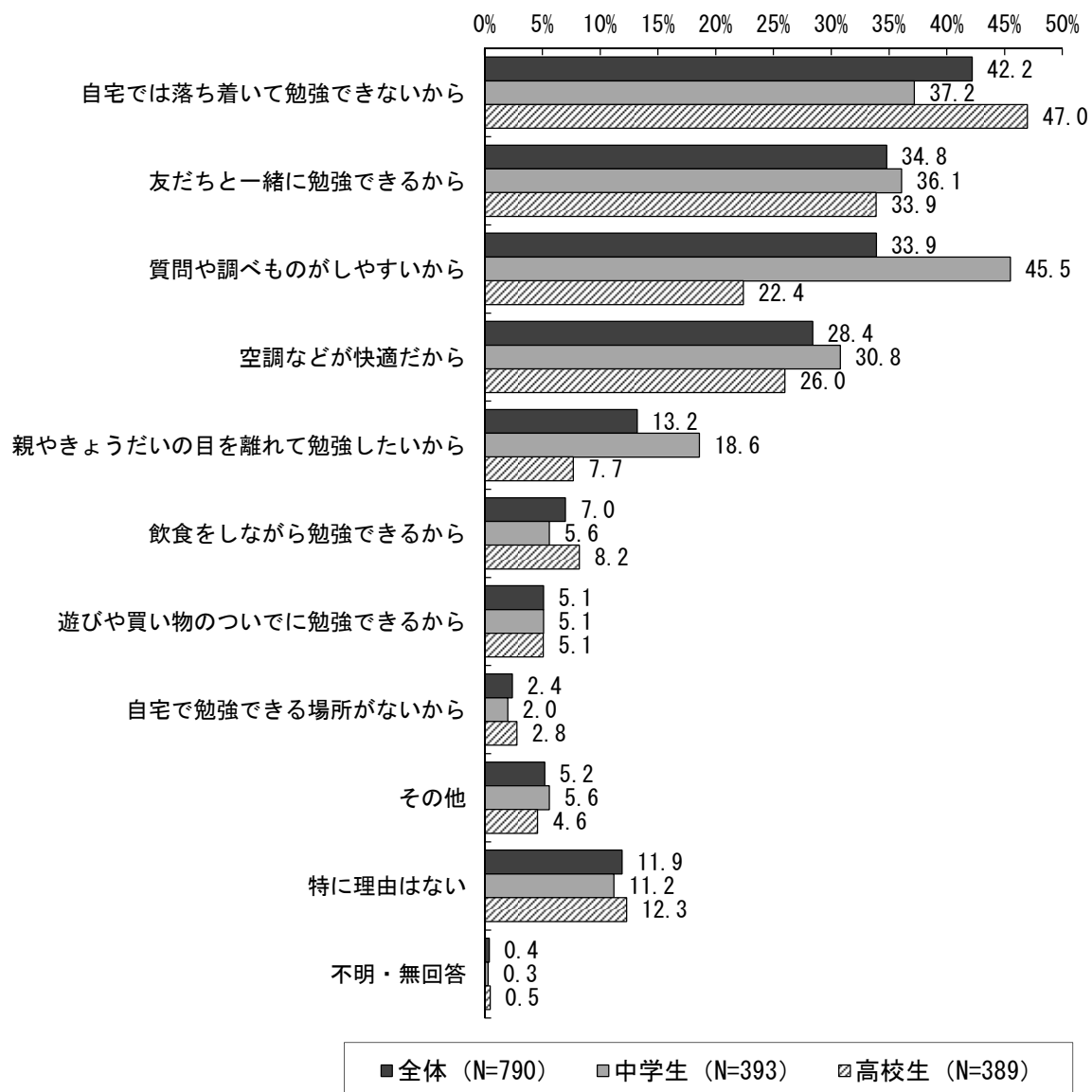
問10 あなたは、宿題をしたり、自分で勉強したりするとき、自宅以外にどのような場所で勉強しますか。主な場所1つを教えてください。(〇は1つ)

自宅以外の勉強場所として、中学生は「塾・予備校の自習室など」が35.5%で最も多く、次いで「学校」22.8%、「図書館や市民センター」16.6%となっています。高校生は「塾・予備校の自習室など」22.7%、「図書館や市民センター」20.4%、「学校」19.4%といずれも2割台で拮抗しています。また、「商業施設」という回答も10.8%あります。



問11 問10で「1」～「7」を選んだ人におうかがいします。問10で答えた場所で勉強する理由は何ですか。当てはまるものすべてを教えてください。(〇はいくつでも)【複数回答】

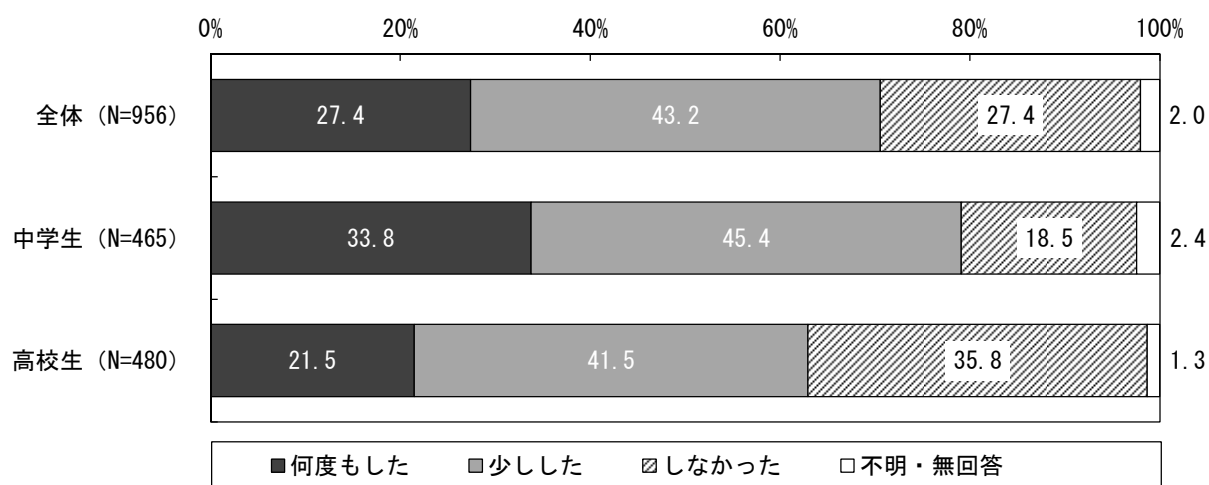
自宅以外の場所で勉強する理由として、中学生は「質問や調べものがしやすいから」が最も多く、高校生では「自宅では落ち着いて勉強できないから」が最も多くなっています。



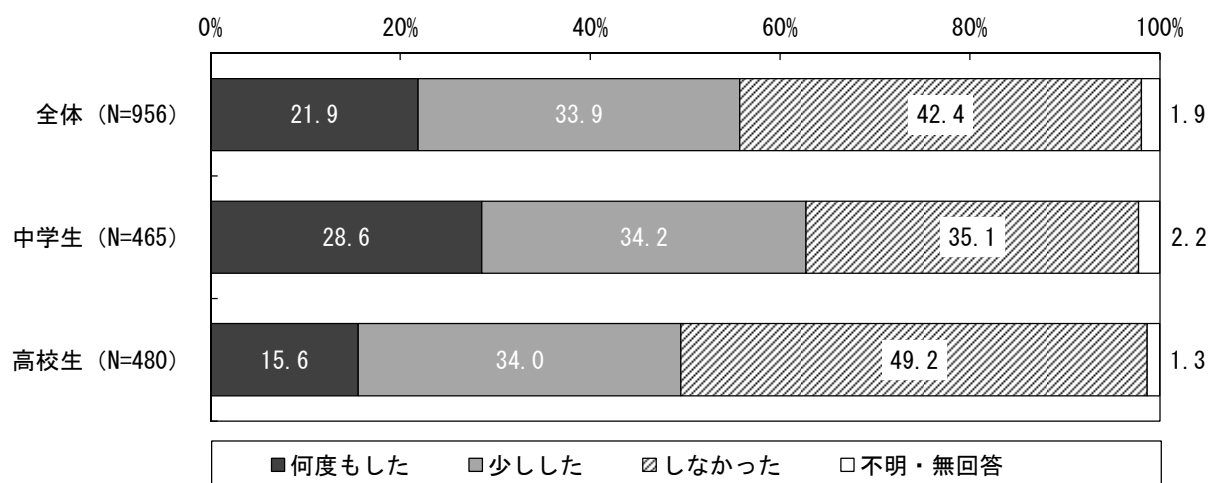
問 12 あなたは、入学してからこれまでに、学校の授業や行事・部活動以外で、次のことをそれぞれどのくらいしましたか。(①～⑬それぞれについて、○は1つ)

「何度もした」と「少しした」の合計で見ると、中学生・高校生ともに「①自然のなかで体を動かしたり楽しんだりする活動」が最も多く、次いで、中学生では「⑥地域のお祭りや行事に協力したこと」「②年下の子どもに勉強やスポーツなどを教えたり、遊んだりしたこと」が多く、高校生では「②年下の子どもに勉強やスポーツなどを教えたり、遊んだりしたこと」「⑪音楽や演劇、芸術などの文化芸術を鑑賞したり自分で取り組んだりしたこと」が多くなっています。

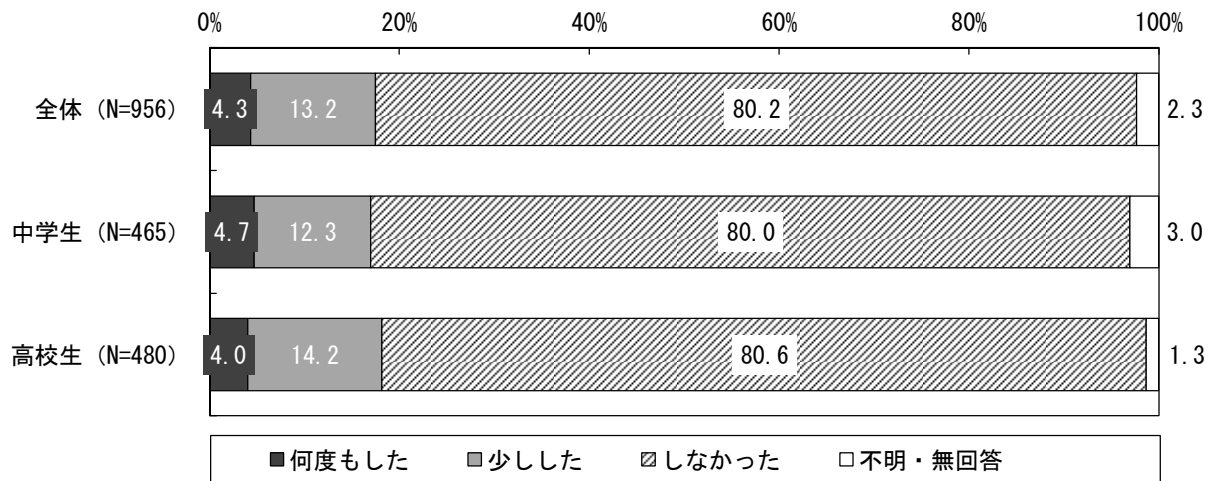
①自然のなかで体を動かしたり楽しんだりする活動



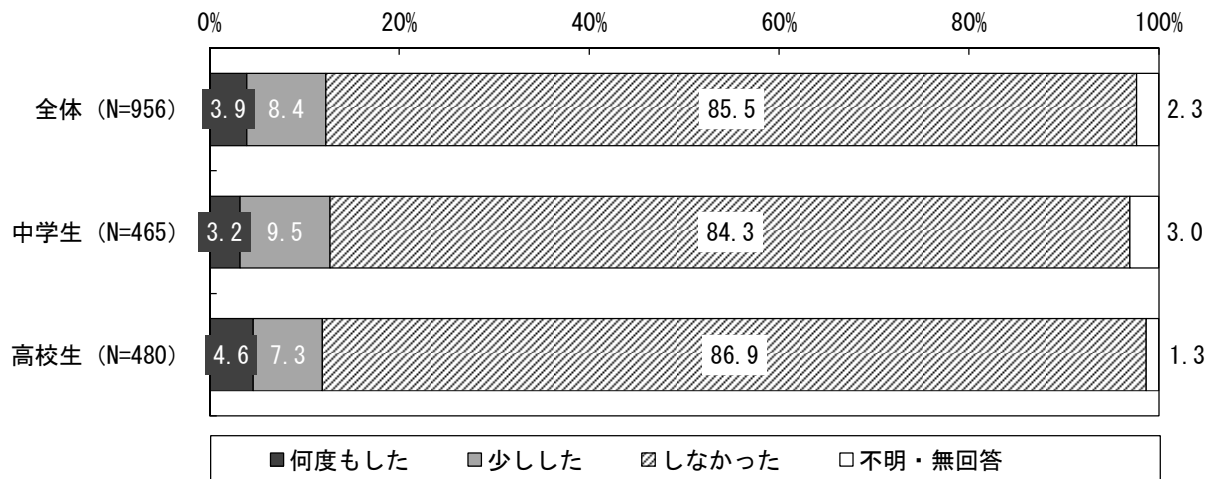
②年下の子どもに勉強やスポーツなどを教えたり、遊んだりしたこと



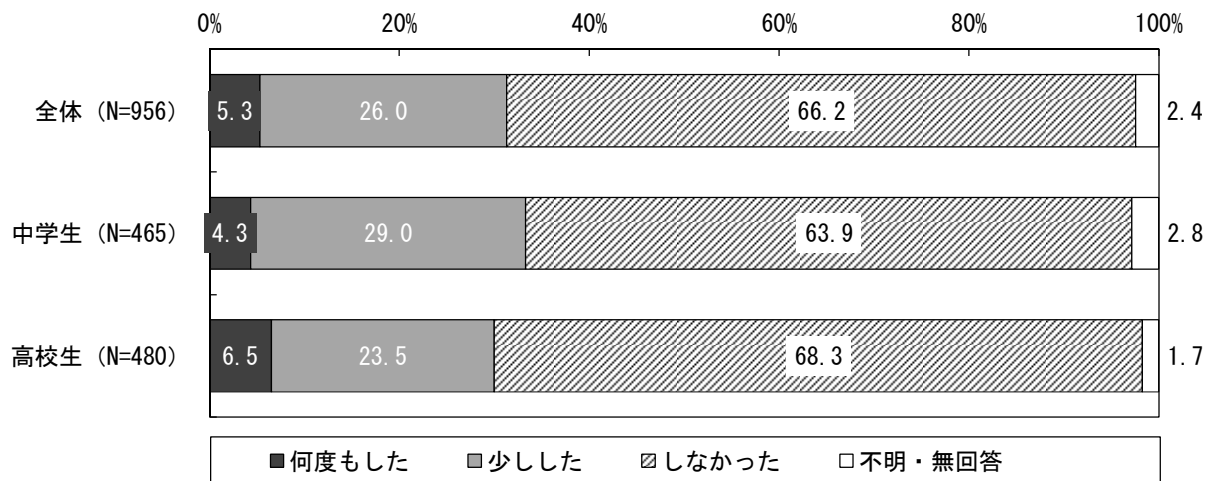
③保育施設でのボランティア活動



④老人ホームや老人クラブ、地域サロンなどで高齢者と話をしたこと

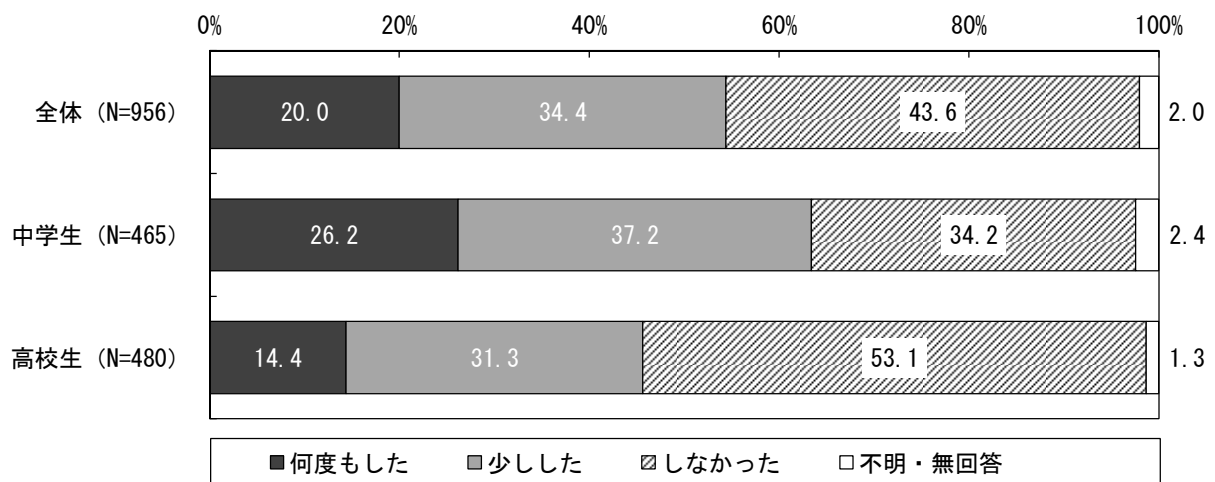


⑤体の不自由な人や困っている人の手助けをしたこと

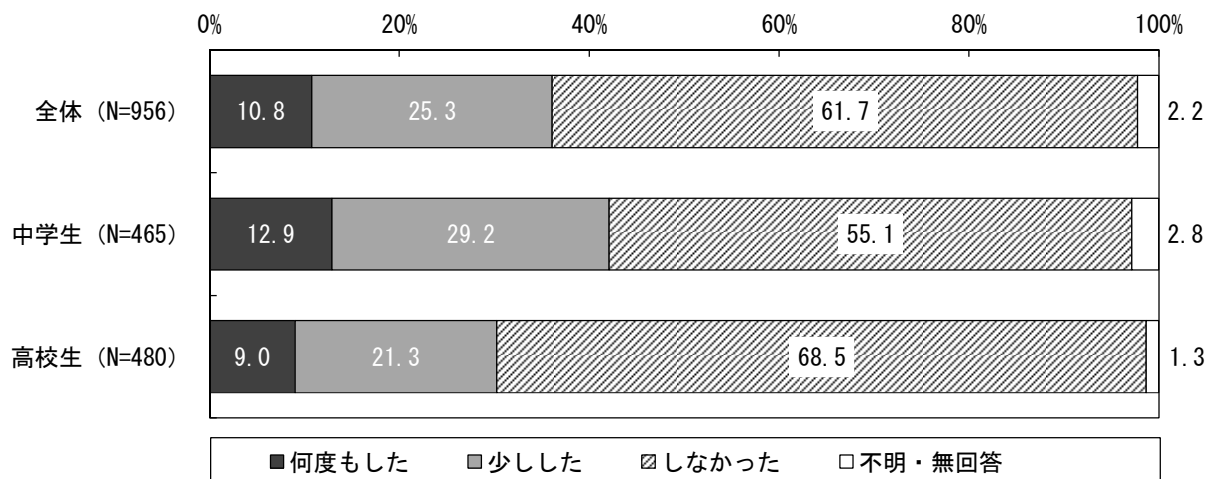




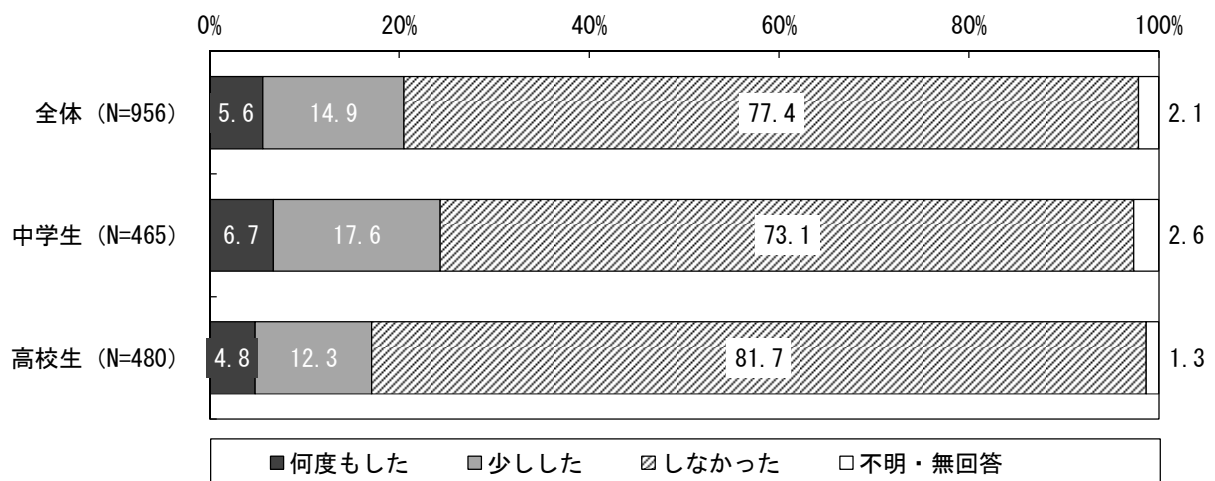
⑥地域のお祭りや行事に協力したこと



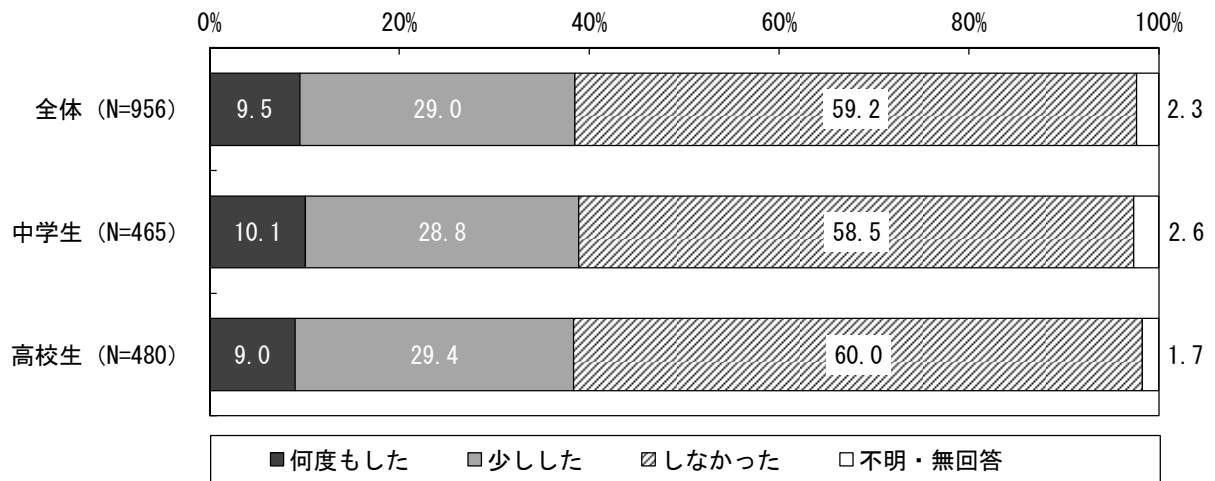
⑦地域の清掃活動やリサイクル活動に参加したこと



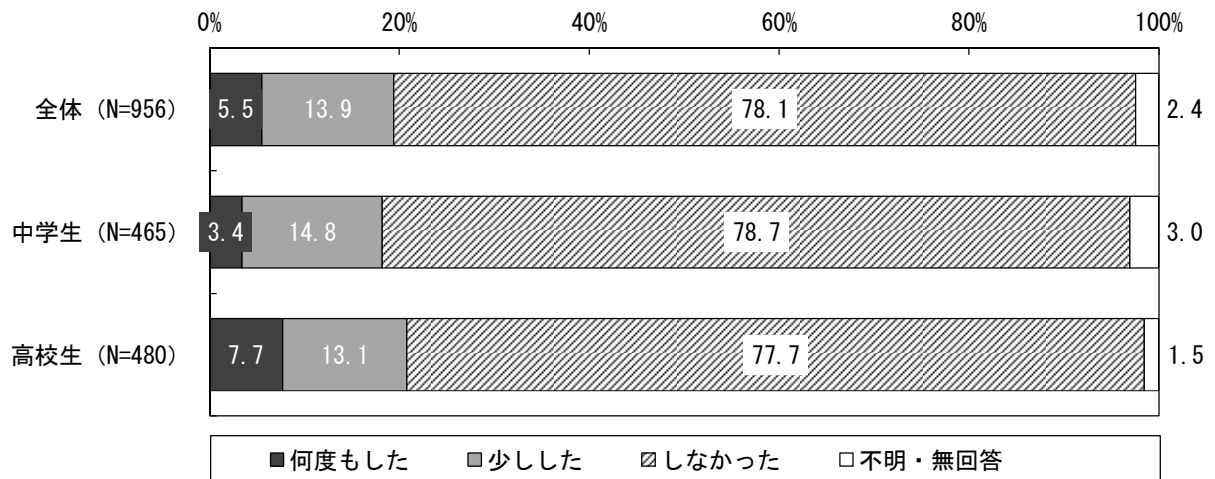
⑧地域の防災訓練に参加したこと



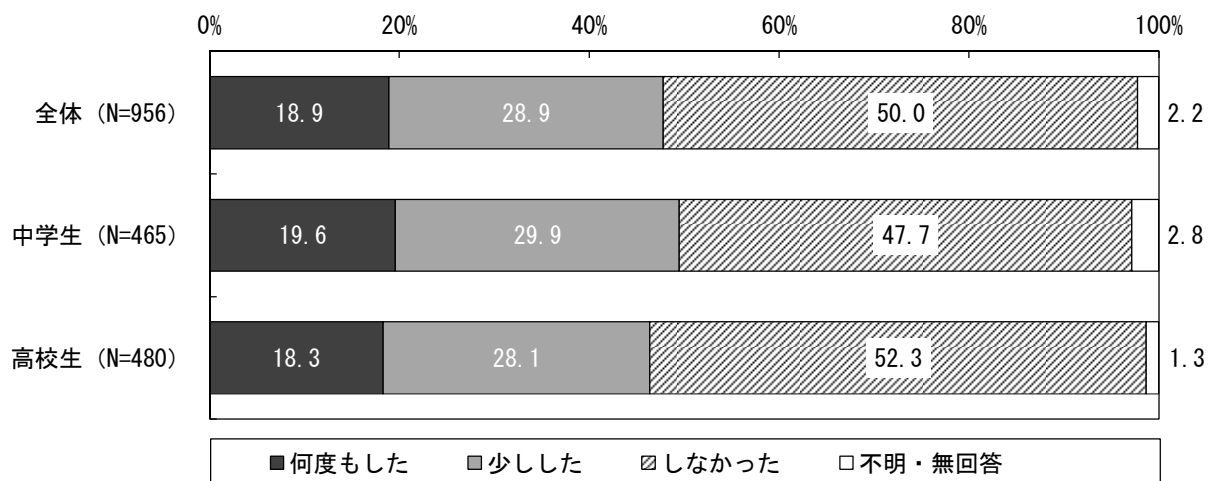
⑨募金活動に参加したこと



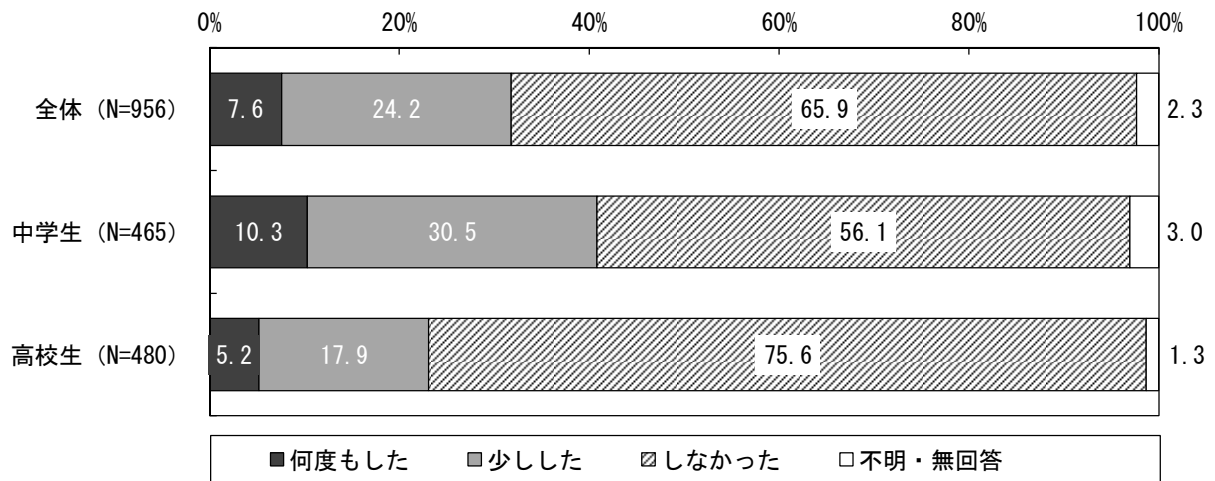
⑩その他ボランティア活動に参加したこと



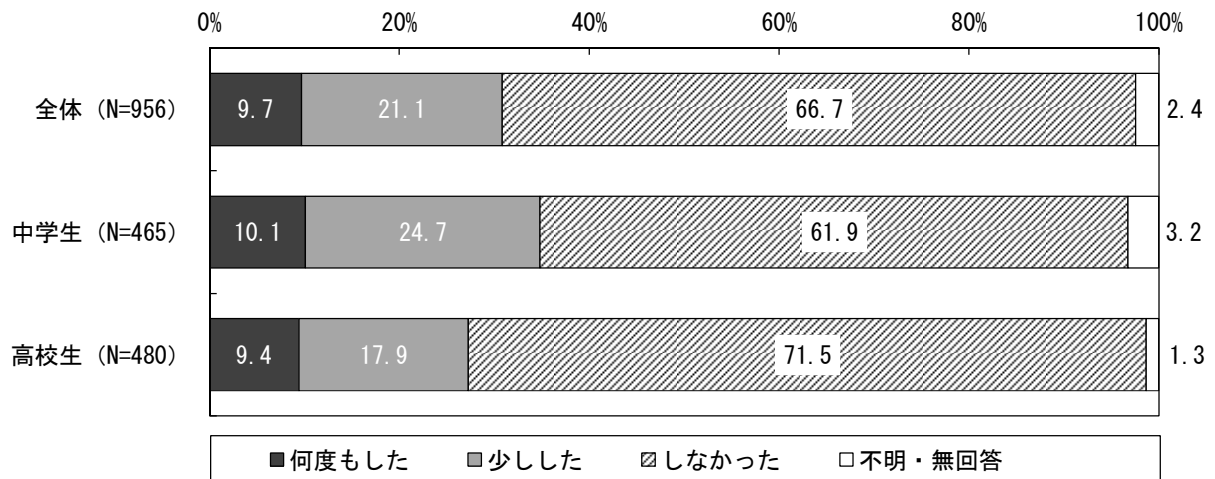
⑪音楽や演劇、芸術などの文化芸術を鑑賞したり自分で取り組んだりしたこと



⑫地域の歴史や文化財について学習・見学・体験したこと



⑬外国にルーツを持つ人との交流や、外国の文化について学習・体験したこと



問 12 を前回調査と比較すると、高校生では全体的に経験率が下がっており、特に「自然のなかで体を動かしたり楽しんだりする活動」については、「しなかった」が 10 ポイント以上増加しています。中学生についても、「募金活動に参加したこと」でやや経験率が下がっています。

中学生	今回調査				前回調査			
	何度もした	少しした	しなかった	不明・無回答	何度もした	少しした	しなかった	不明・無回答
自然のなかで体を動かしたり楽しんだりする活動	33.8	45.4	18.5	2.4	38.3	40.0	21.3	0.4
年下の子どもに勉強やスポーツなどを教えたり、遊んだりしたこと※ <sup>1</sup>	28.6	34.2	35.1	2.2	23.1	39.2	36.7	1.0
保育施設でのボランティア活動	4.7	12.3	80.0	3.0	2.7	12.9	83.5	1.0
老人ホームや老人クラブ、地域サロンなどで高齢者と話をしたこと※ <sup>2</sup>	3.2	9.5	84.3	3.0	3.8	11.0	84.2	1.0
体の不自由な人や困っている人の手助けをしたこと	4.3	29.0	63.9	2.8	6.3	28.5	63.7	1.5
地域のお祭りや行事に協力したこと	26.2	37.2	34.2	2.4	27.5	37.3	34.4	0.8
地域の清掃活動やリサイクル活動に参加したこと	12.9	29.2	55.1	2.8	14.6	29.0	54.8	1.5
募金活動に参加したこと	10.1	28.8	58.5	2.6	12.9	32.9	53.5	0.8

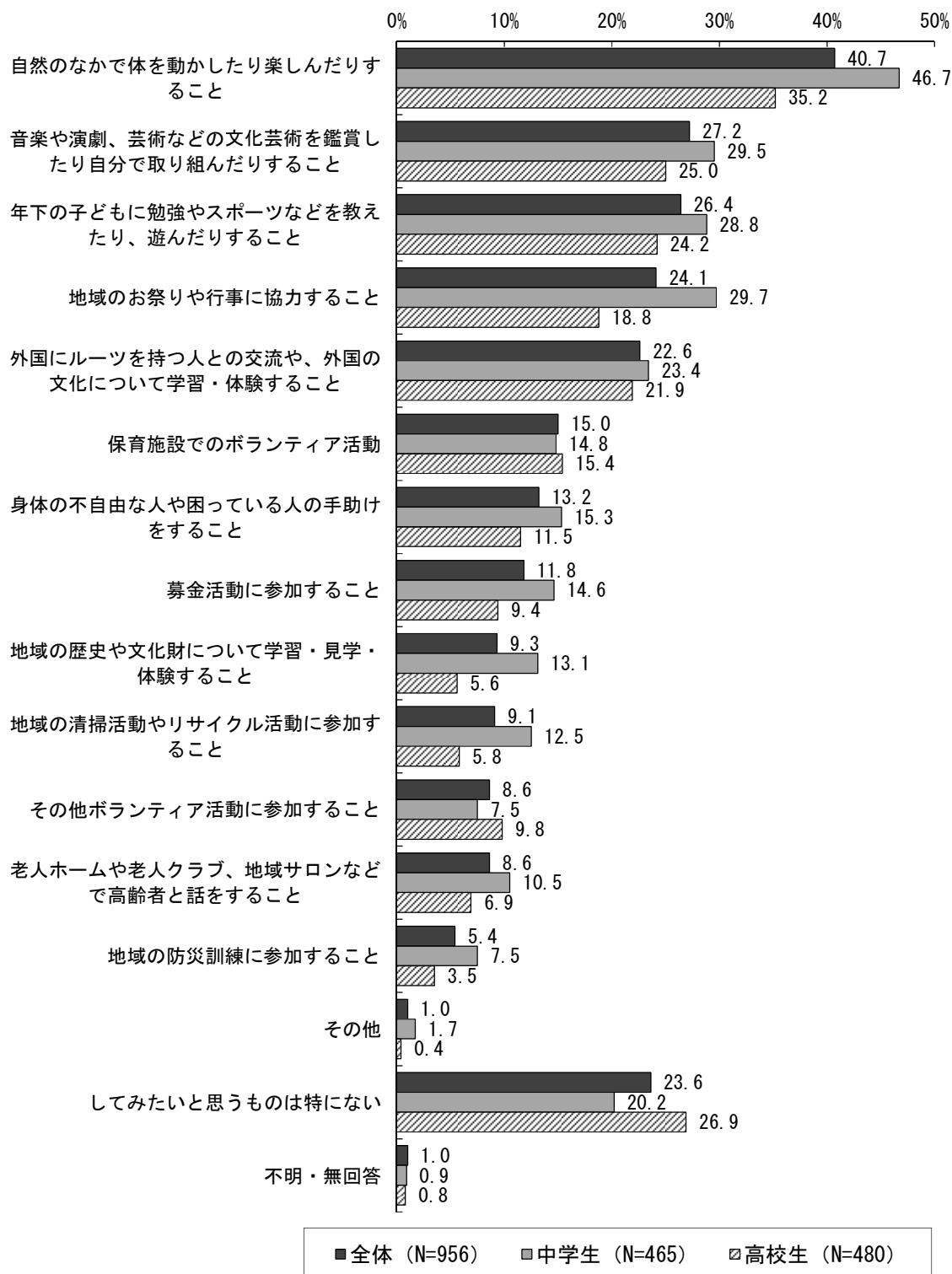
高校生	今回調査				前回調査			
	何度もした	少しした	しなかった	不明・無回答	何度もした	少しした	しなかった	不明・無回答
自然のなかで体を動かしたり楽しんだりする活動	21.5	41.5	35.8	1.3	30.9	43.4	25.3	0.4
年下の子どもに勉強やスポーツなどを教えたり、遊んだりしたこと	15.6	34.0	49.2	1.3	18.6	32.9	48.3	0.2
保育施設でのボランティア活動	4.0	14.2	80.6	1.3	6.5	18.6	74.7	0.2
老人ホームや老人クラブ、地域サロンなどで高齢者と話をしたこと	4.6	7.3	86.9	1.3	5.8	12.8	80.5	0.9
体の不自由な人や困っている人の手助けをしたこと	6.5	23.5	68.3	1.7	6.7	26.2	66.4	0.7
地域のお祭りや行事に協力したこと	14.4	31.3	53.1	1.3	17.9	33.8	47.9	0.4
地域の清掃活動やリサイクル活動に参加したこと	9.0	21.3	68.5	1.3	8.9	22.1	68.7	0.2
募金活動に参加したこと	9.0	29.4	60.0	1.7	9.6	35.3	54.8	0.2

※ 1 : 前回調査では「子どもに勉強やスポーツなどを教えたり、子どもと遊んだこと」

※ 2 : 前回調査では「老人ホームや老人クラブで高齢者と話をしたこと」

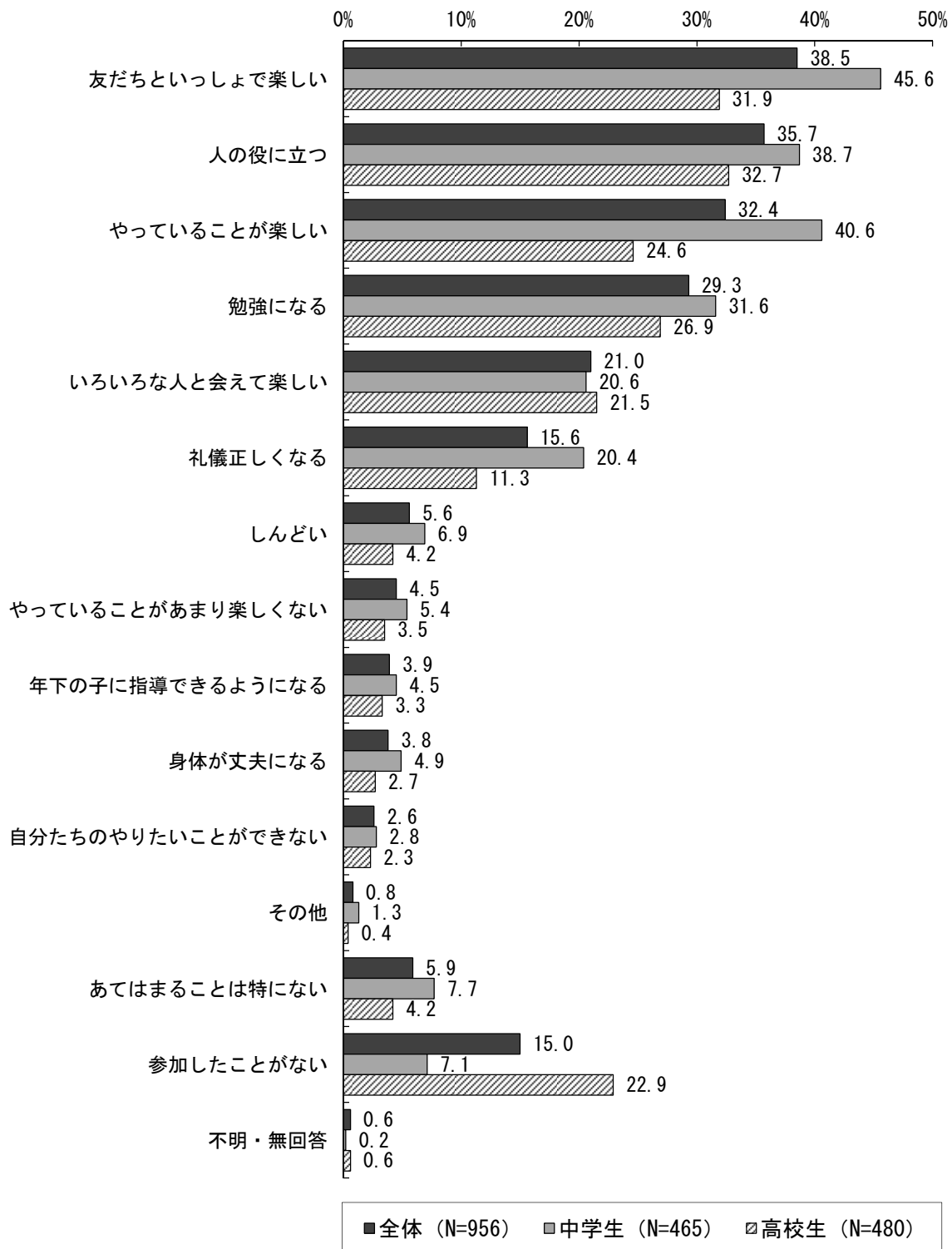
問 13 あなたは学校の授業や行事・部活動以外で、次のような体験活動をしてみたいと思いますか。してみたいと思うものすべてに○をしてください。(○はいくつでも)【複数回答】

学校以外でしてみたい体験活動については、中学生・高校生ともに「自然のなかで体を動かしたり楽しんだりすること」が最も多く、続いて中学生では、「地域のお祭りや行事に協力すること」、高校生では「音楽や演劇、芸術などの文化芸術を鑑賞したり自分で取り組んだりすること」が多くなっています。



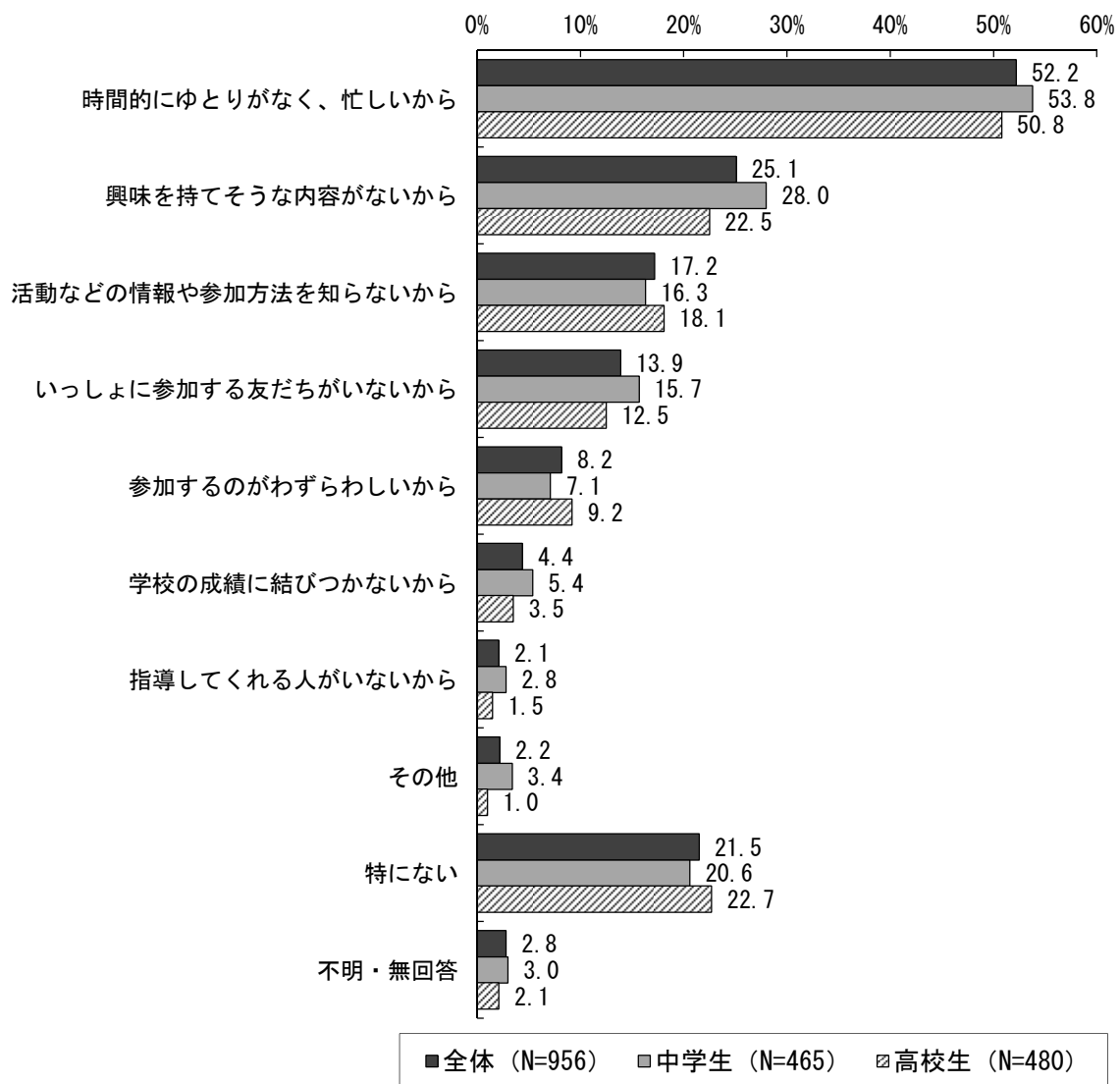
問 14 地域の行事や活動に参加することについてどう思いますか。(〇はいくつでも)  
【複数回答】

地域の行事や活動に参加することについて思うことでは、「友だちといっしょで楽しい」「人の役に立つ」「やっていることが楽しい」といった肯定的な回答が上位となっています。



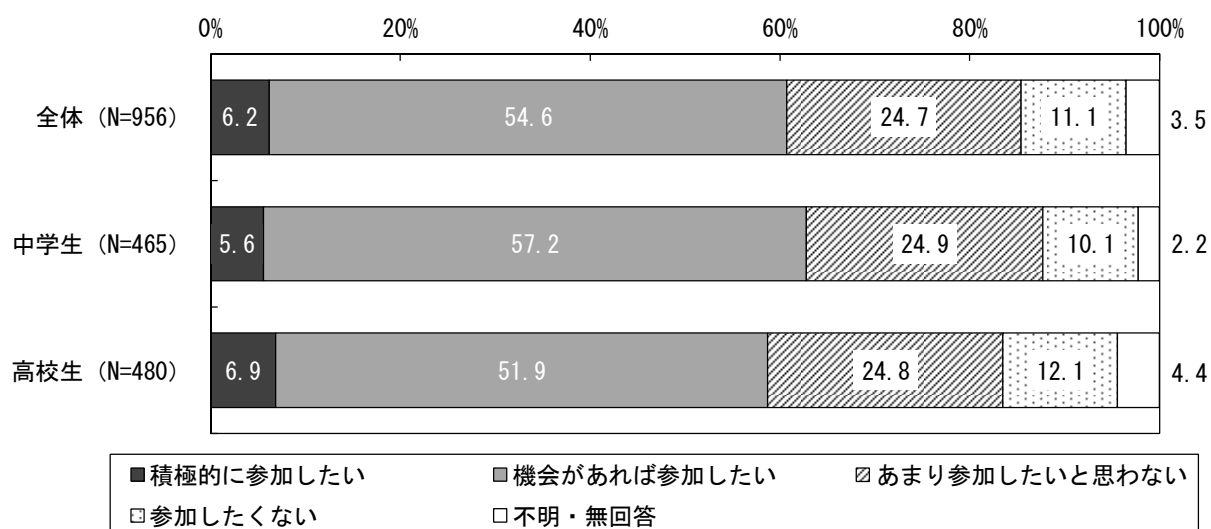
問 15 地域の行事や活動に参加しにくい理由、または参加していない理由があれば教えてください。(〇はいくつでも)【複数回答】

地域の行事や活動に参加しにくい、または参加していない理由については、「時間的ゆとりがなく、忙しいから」が最も多く、中学生・高校生ともに5割を超えています。続いて、「興味を持ってそうな内容がないから」「活動などの情報や参加方法を知らないから」が多くなっています。



問 16 あなたは今後、地域の行事や活動に参加したいと思いますか。(〇は1つ)

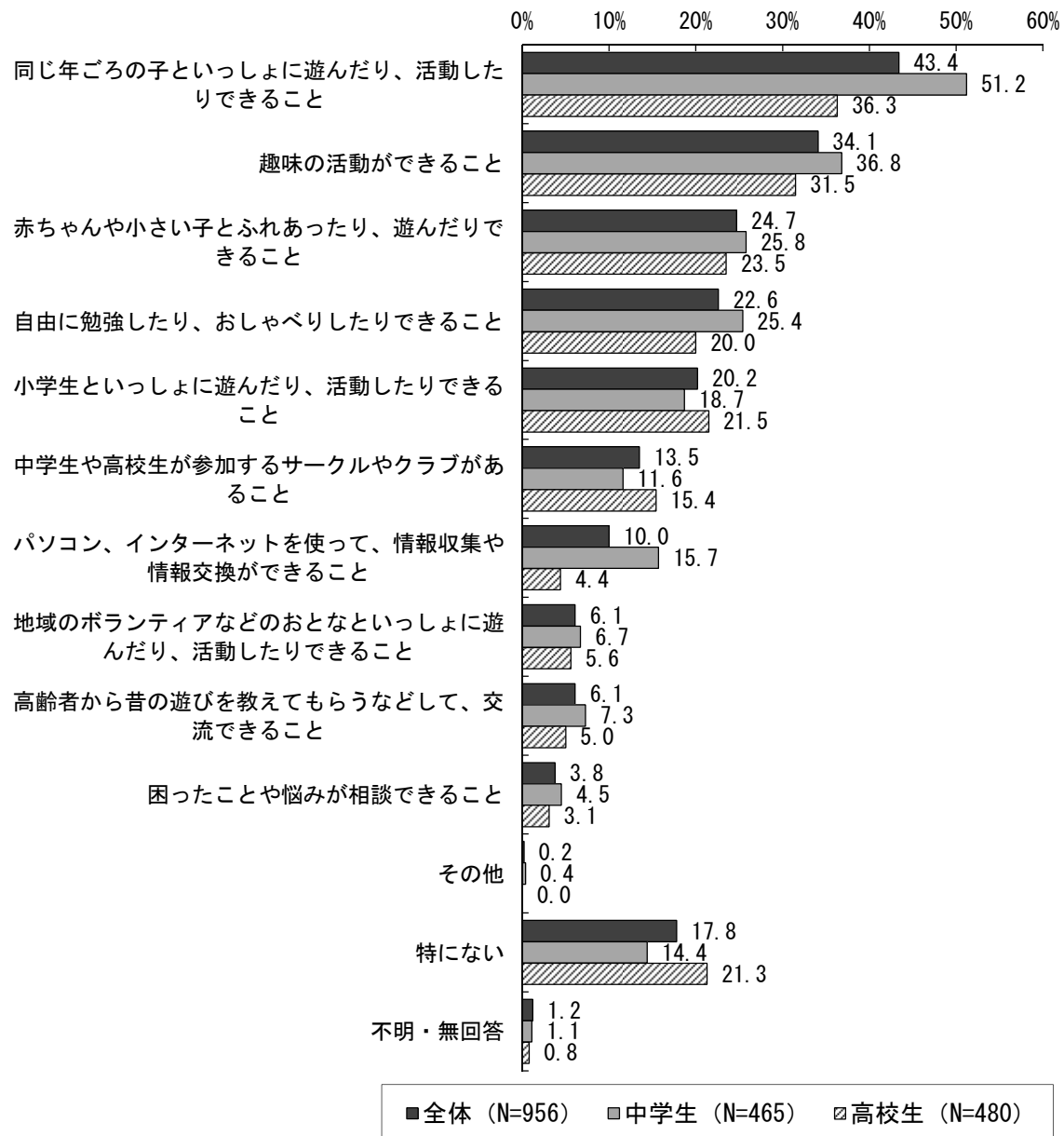
地域の行事や活動への参加意向をみると、「積極的に参加したい」は中学生・高校生ともに少数となっており、「機会があれば参加したい」と合計すると、6割前後が参加したいと回答しています。





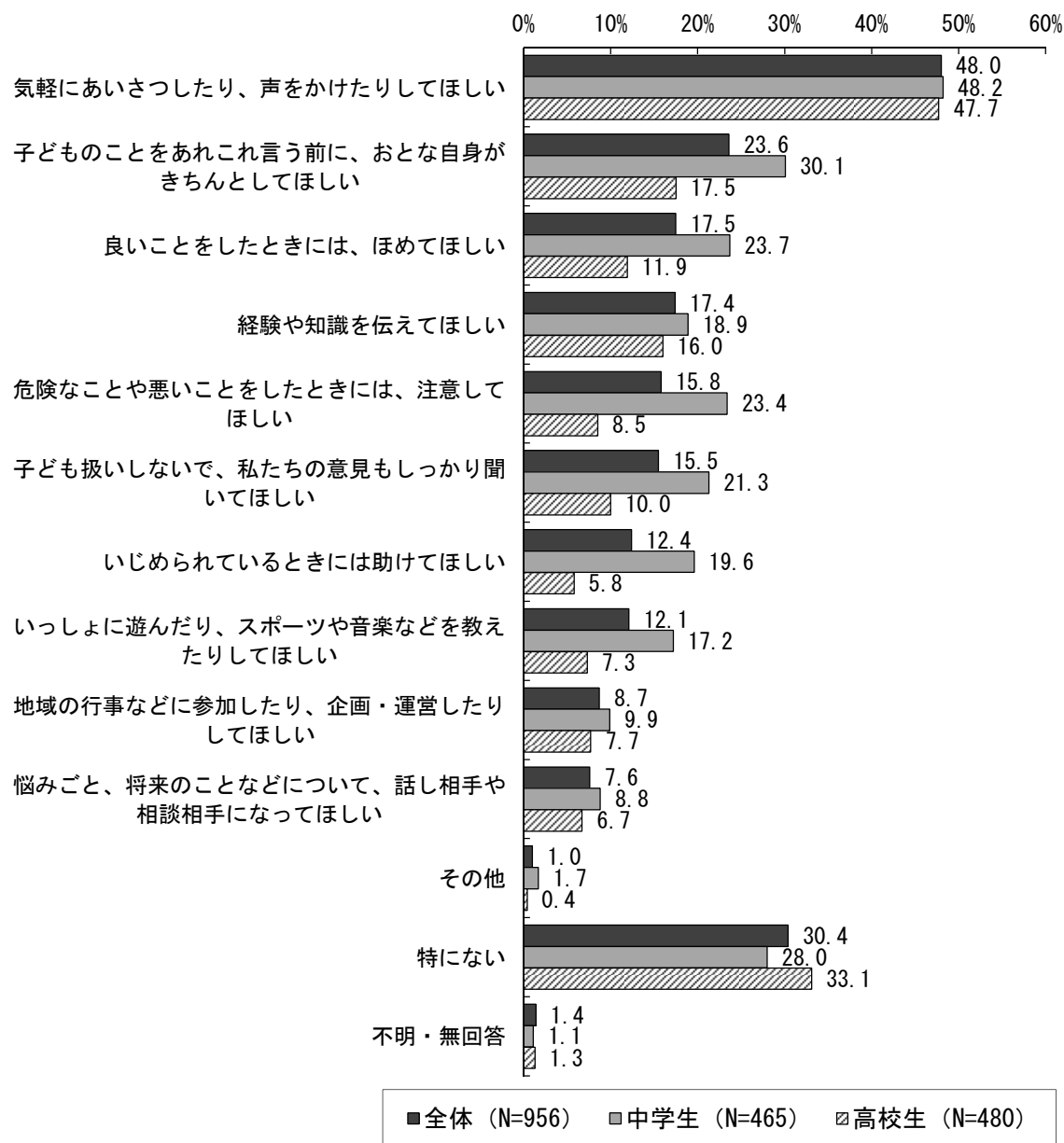
問 17 地域の人と遊んだり、いっしょに活動したりする場合、どのようなことができますか。(〇は3つまで)【複数回答】

中学生・高校生ともに「同じ年ごろの子といっしょに遊んだり、活動したりできること」が最も多く、次いで「趣味の活動ができること」「赤ちゃんや小さい子とふれあったり、遊んだりできること」が多くなっています。



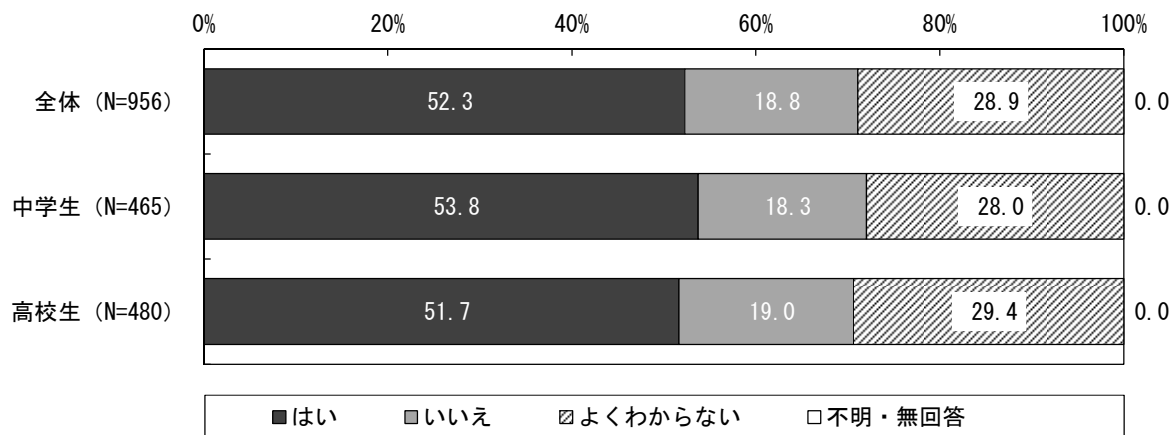
問 18 あなたは、地域や近所のおとなの人に対して、どのようなことを望みますか。  
 (〇はいくつでも)【複数回答】

地域や近所のおとなの人に望むことでは、中学生・高校生ともに「気軽にあいさつしたり、声をかけたりしてほしい」が約半数で最も多くなっています。次いで、「子どものことをあれこれ言う前に、おとな自身がきちんとしてほしい」「良いことをしたときには、ほめてほしい」が多くなっています。また、「特にない」も約3割の回答があります。



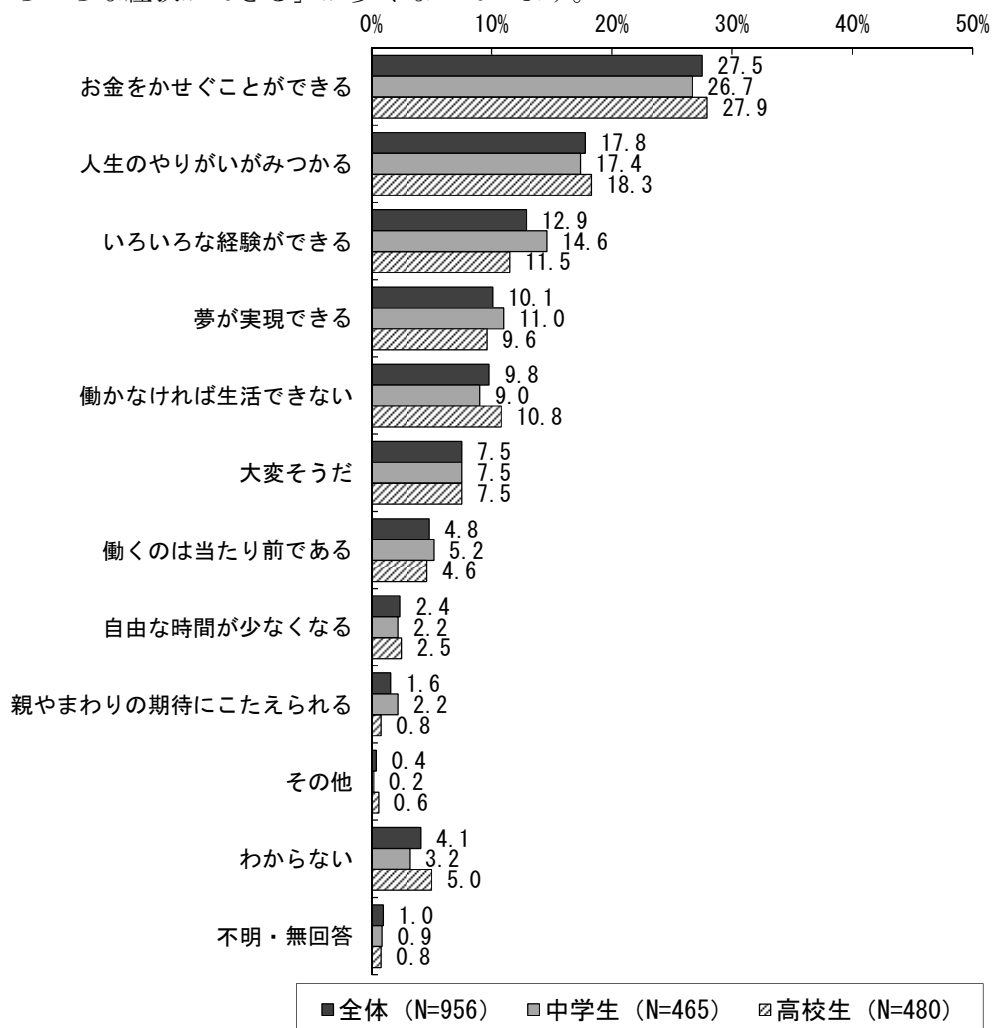
### 問 19 将来の夢を持っていますか。(〇は1つ)

中学生・高校生ともに5割台が「はい」と回答しています。



### 問 20 仕事についてどのようなイメージを持っていますか。(あなたの考えに近いもの1つに〇)

中学生・高校生ともに「お金を稼ぐことができる」が最も多く、次いで「人生のやりがいが見つかる」「いろいろな経験ができる」が多くなっています。

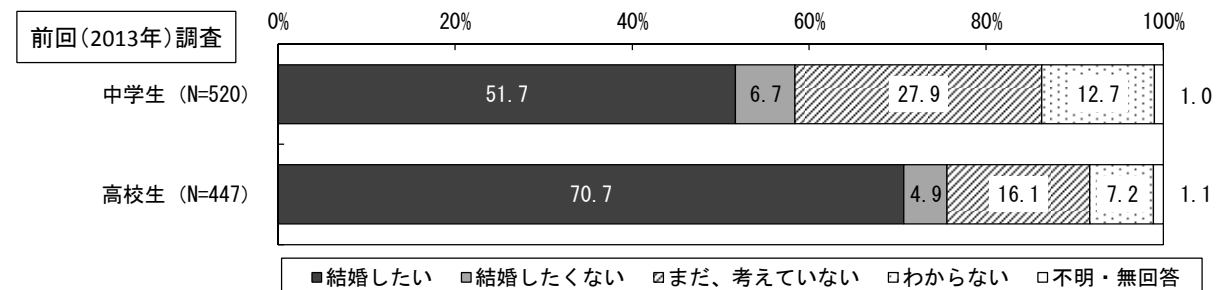
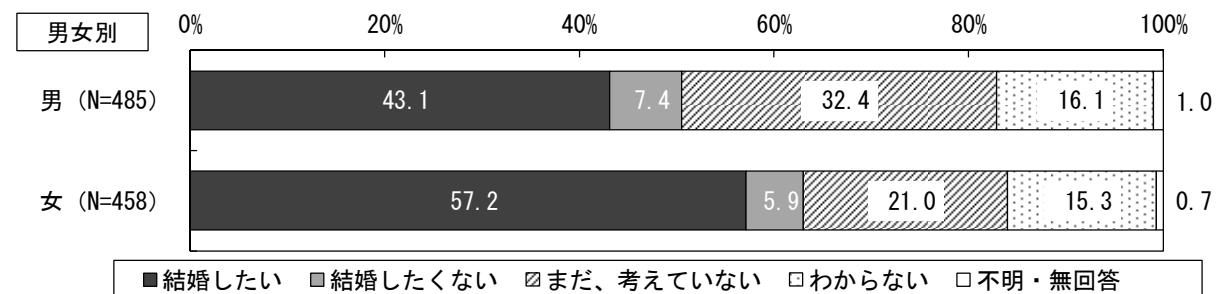
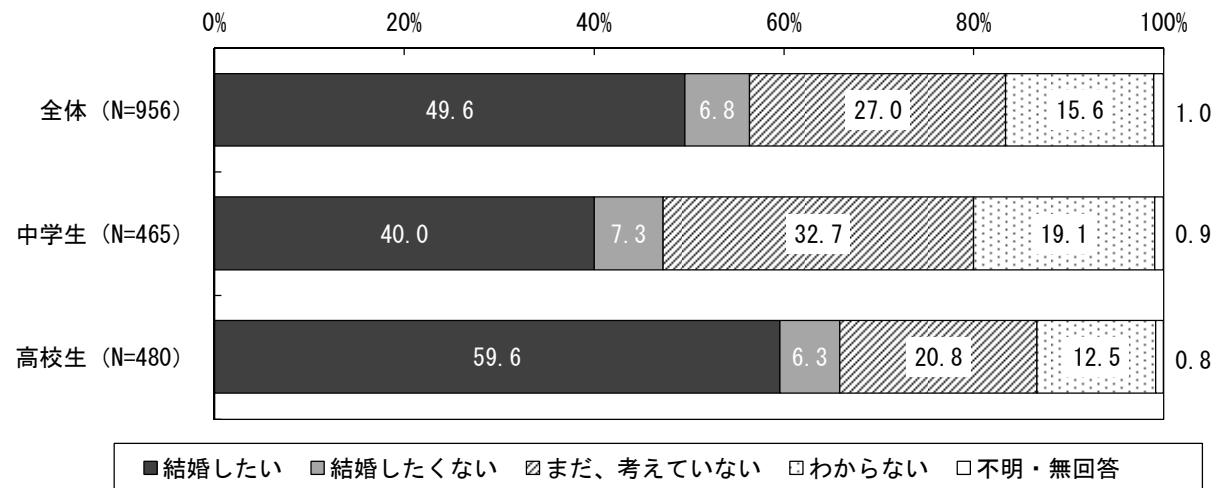


## 問 21 将来、結婚したい（特定のパートナーと一緒に暮らしたい）と思いますか。（〇は1つ）

将来、結婚したいと思うかどうかについては、中学生で40.0%、高校生で59.6%が「結婚したい」と回答しています。「まだ、考えていない」または「わからない」という回答が、中学生では約5割、高校生では約3割あります。

男女別では、男の方が「結婚したい」が少なく、「まだ、考えていない」が多くなっています。

前回調査と比較すると、中学生、高校生ともに「結婚したい」が減少し、「考えていない」「わからない」が増加しています。

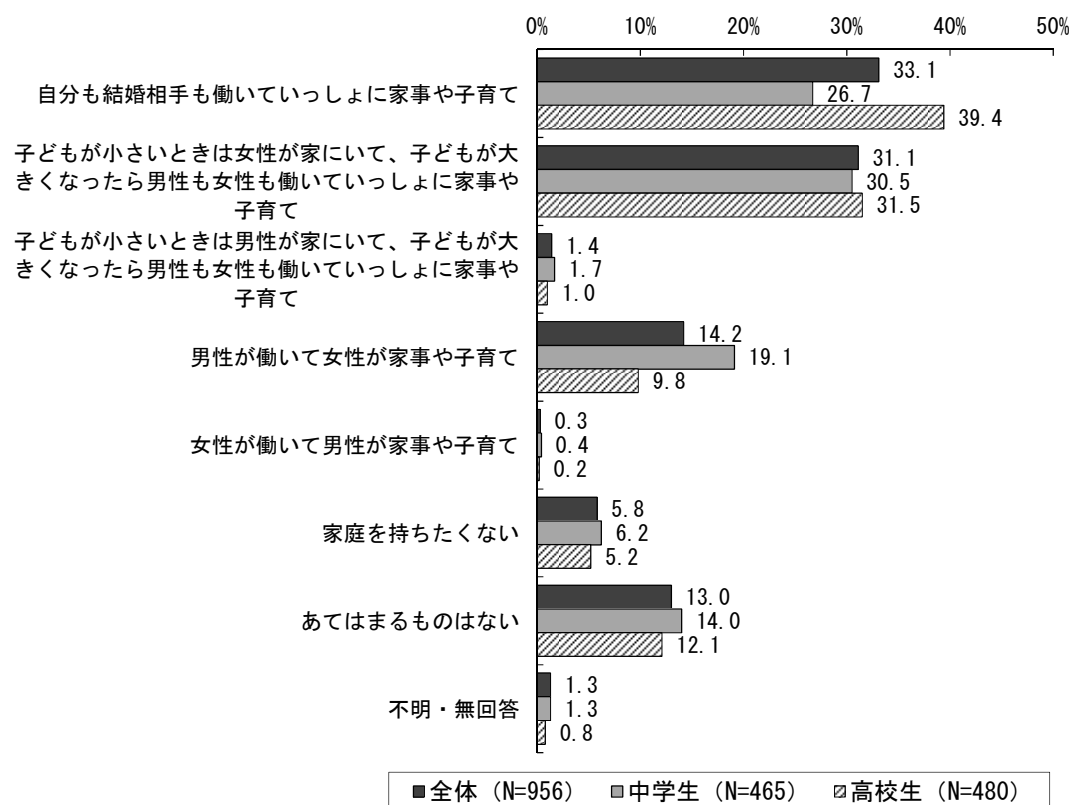


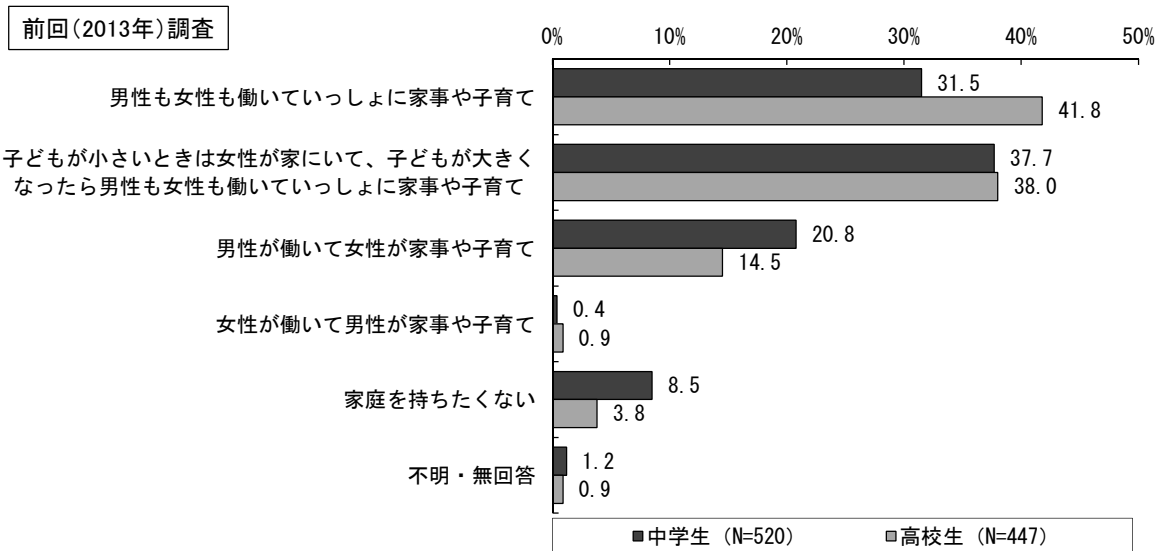
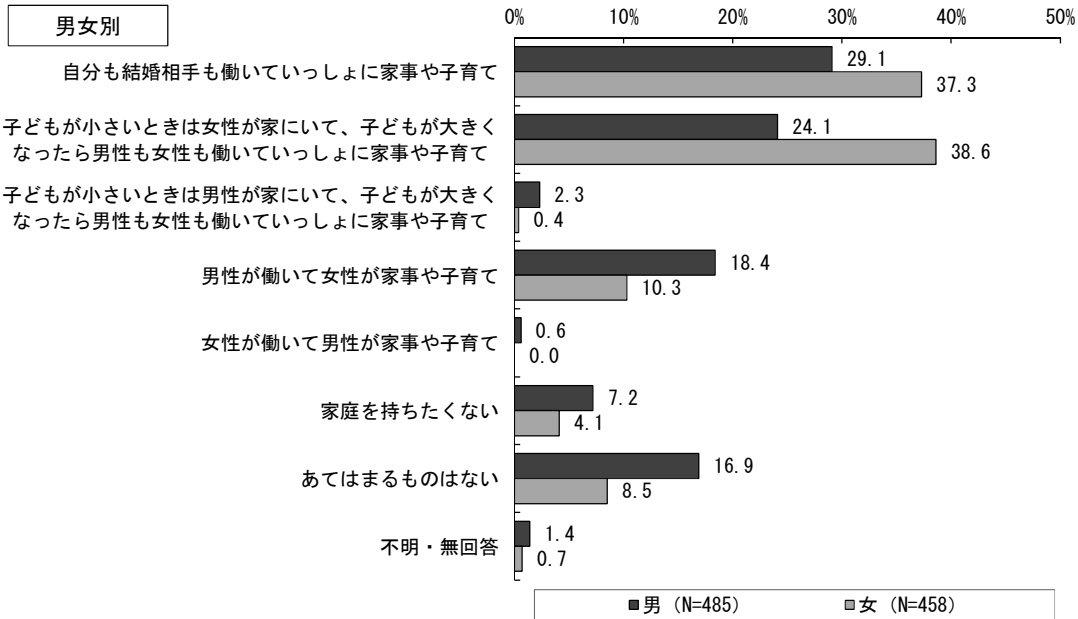
## 問 22 将来、どんな家庭をつくりたいですか。(あなたの考えに近いもの1つに○)

中学生では、「子どもが小さいときは女性が家にいて、子どもが大きくなったら男性も女性も働いていっしょに家事や子育て」が最も多く、高校生では「自分も結婚相手も働いていっしょに家事や子育て」が最も多くなっています。中学生では、「男性が働いて女性が家事や子育て」という回答も約2割あります。

男女別にみると、「男性が働いて女性が家事や子育て」「家庭を持ちたくない」「あてはまるものはない」は男の方が多く、「自分も結婚相手も働いていっしょに家事や子育て」「子どもが小さいときは女性が家にいて、子どもが大きくなったら男性も女性も働いていっしょに家事や子育て」は女の方が多くなっています。

前回調査とは選択肢の一部が異なっていますが、「子どもが小さいときは女性が家にいて、子どもが大きくなったら男性も女性も働いていっしょに家事や子育て」が中学生、高校生ともに減少し、中学生では「自分も結婚相手も働いていっしょに家事や子育て」、高校生では「男性が働いて女性が家事や子育て」も減少しています。一方で前回選択肢になかった「あてはまるものはない」が中学生、高校生ともに1割を超えています。

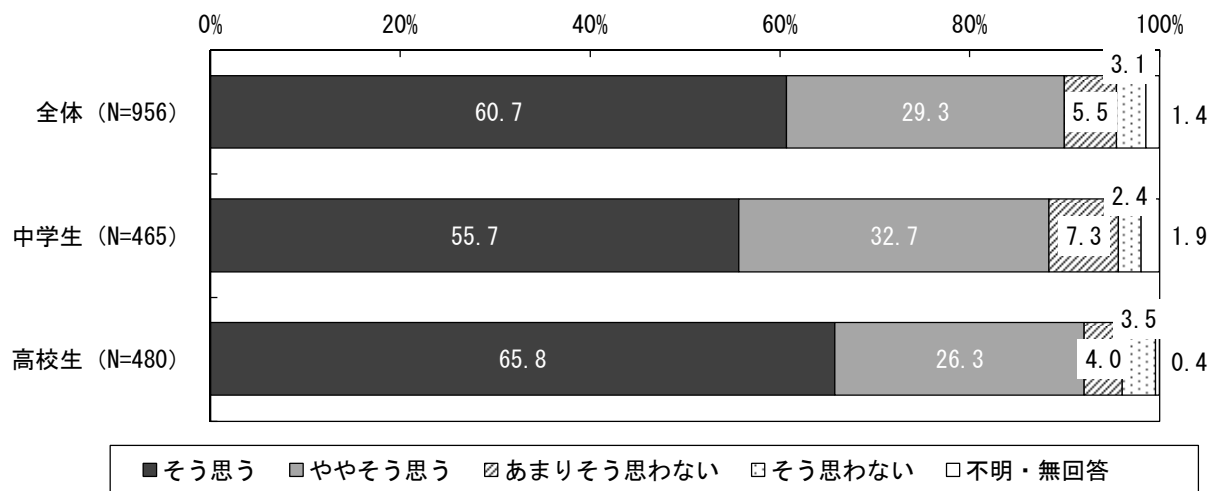




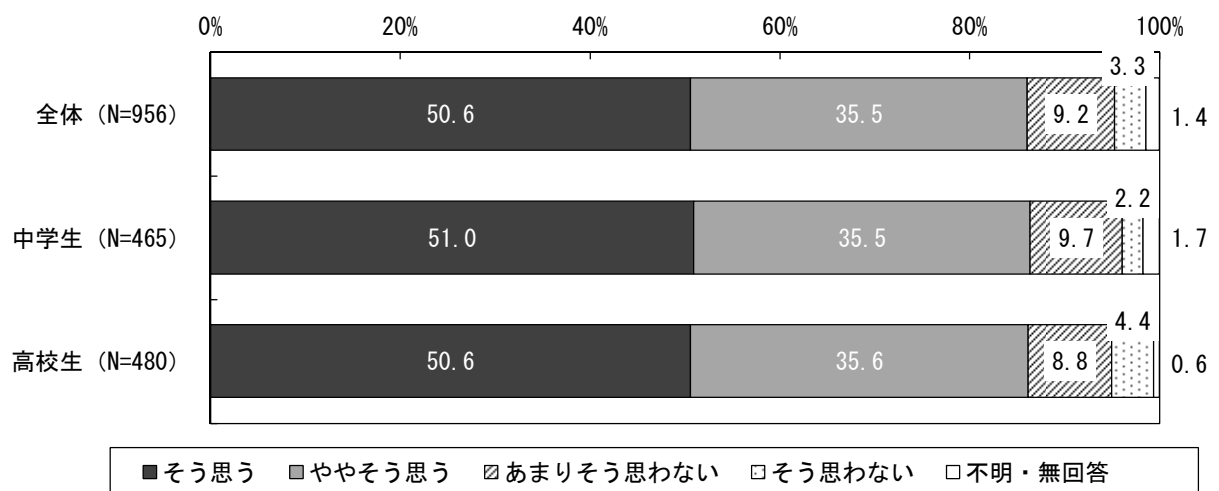
問 23 あなたは、子どもを産み、育てることについてどのように思いますか。(①～⑨のそれぞれについて、あなたの考えに近いもの1つに○)

ほとんどの項目で、肯定的な回答（「そう思う」または「ややそう思う」）が8～9割を占めています。「⑨子どもを育てるのは大変そうだ」についても、約9割が肯定的に回答しています。否定的な回答（「あまりそう思わない」または「そう思わない」）が最も多いのは、「⑧子どもはたくさんいたほうがよいと思う」で、約4割が否定的な回答となっています。次いで、「⑥地域とつながりができる」「⑦次の社会を担う世代をつくる」で否定的な回答が多くなっています。

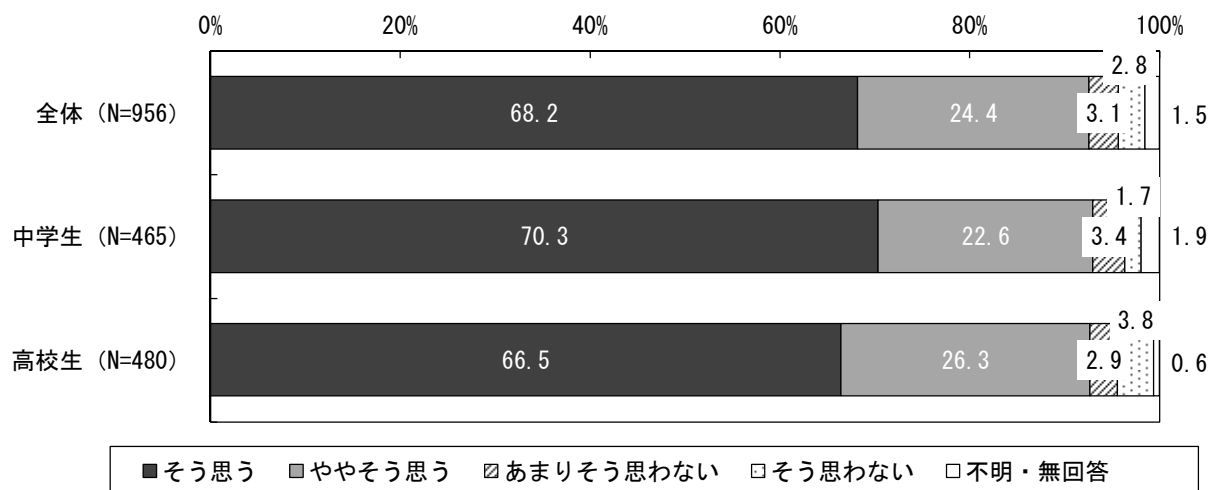
①子どもを育てることによって自分が成長する



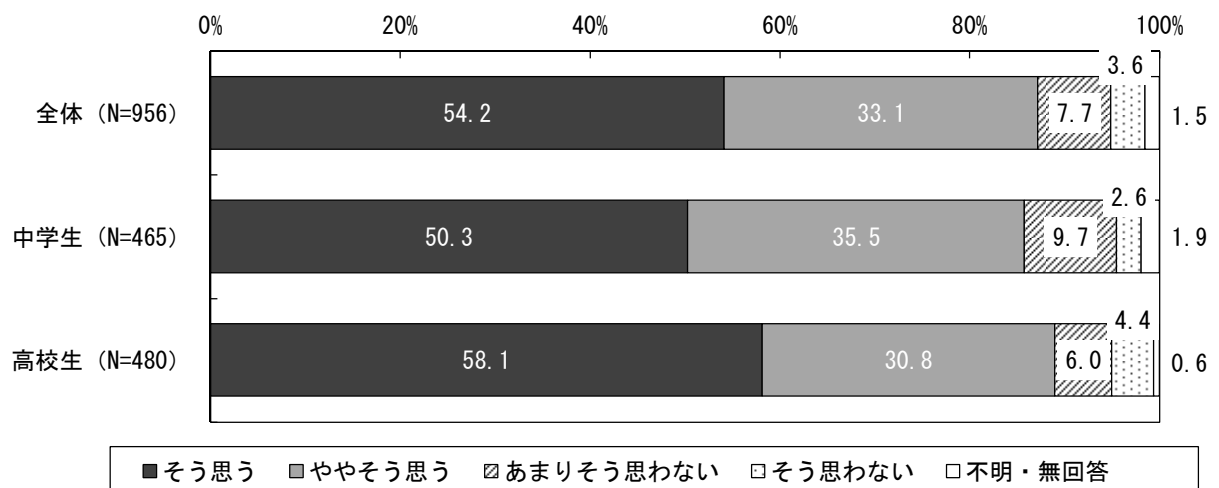
②子どもを育てることは楽しい



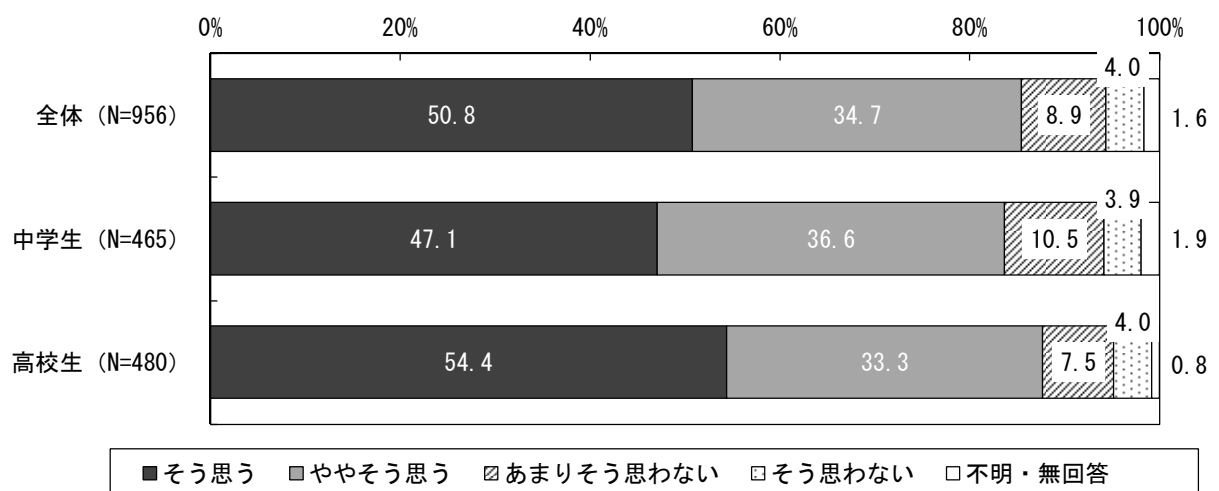
③家庭が明るく楽しくなる



④夫婦の結びつきを強める

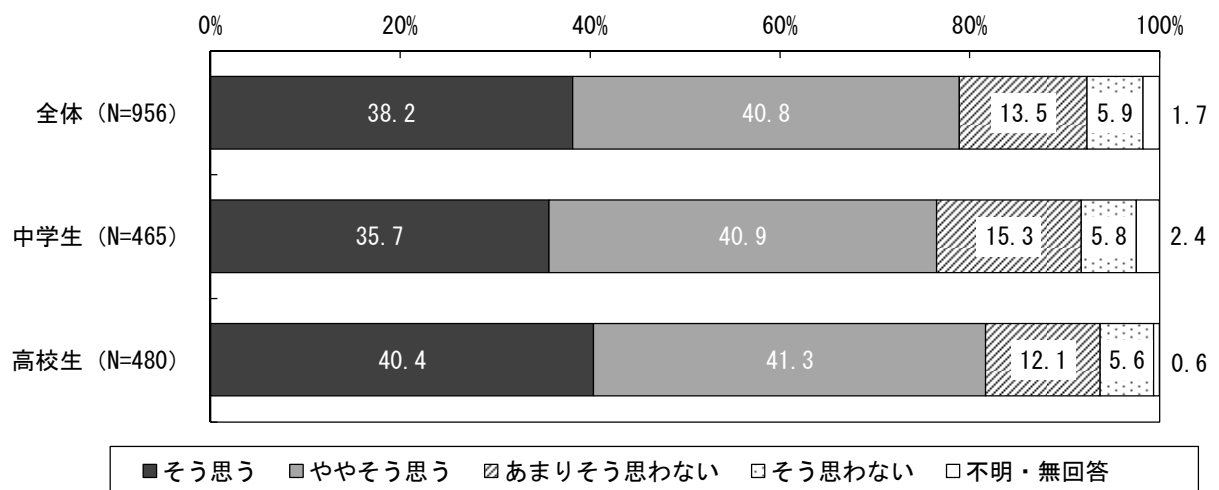


⑤老後のささえとなる

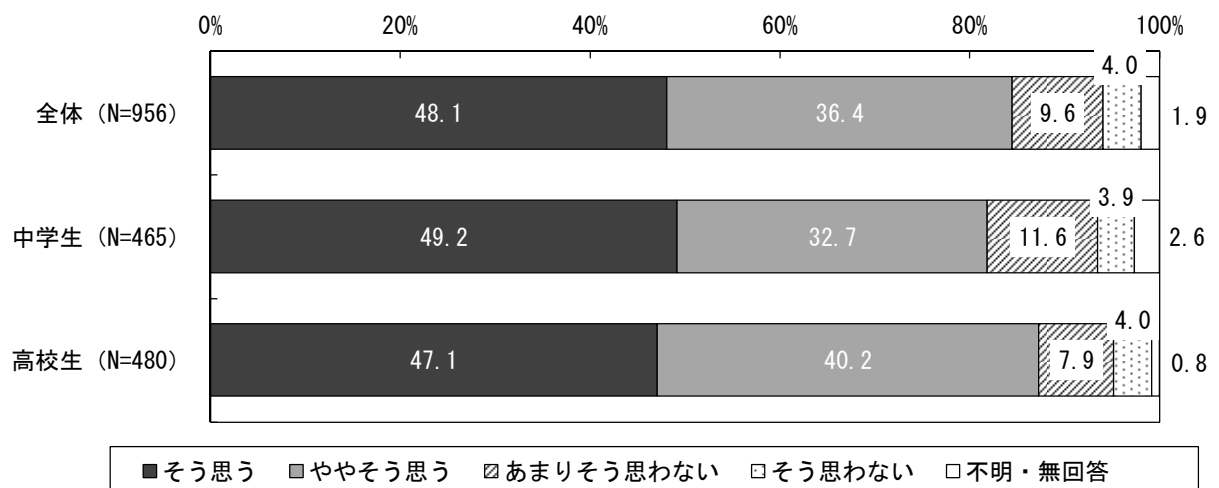




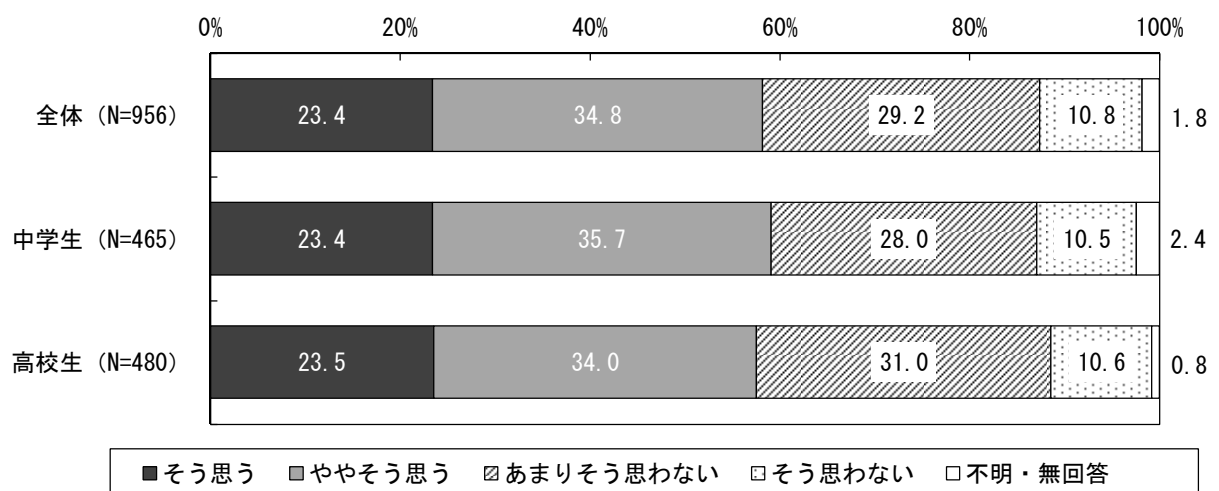
⑥地域とのつながりができる



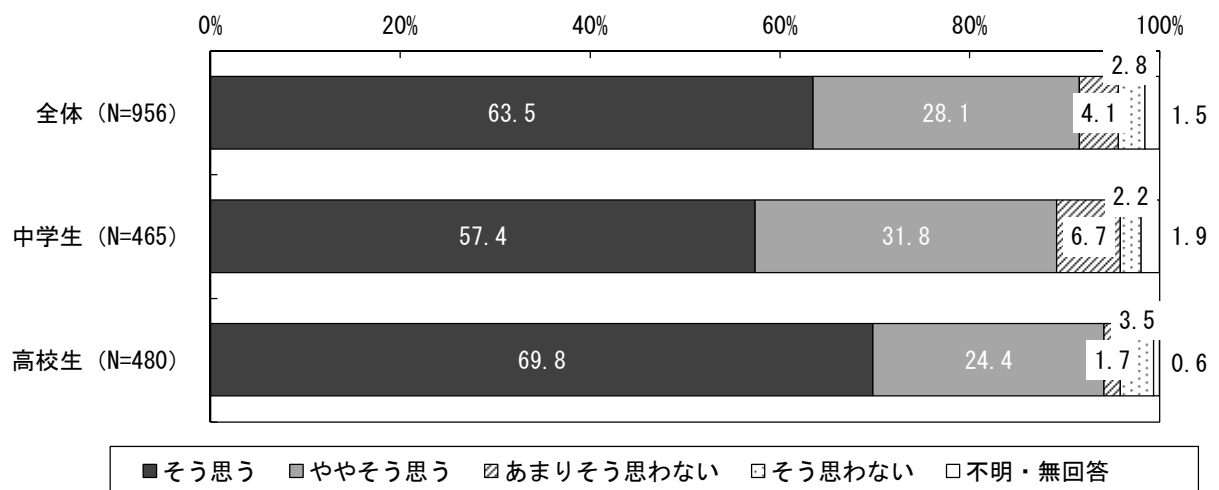
⑦次の社会を担う世代をつくる



⑧子どもはたくさんいたほうがよいと思う



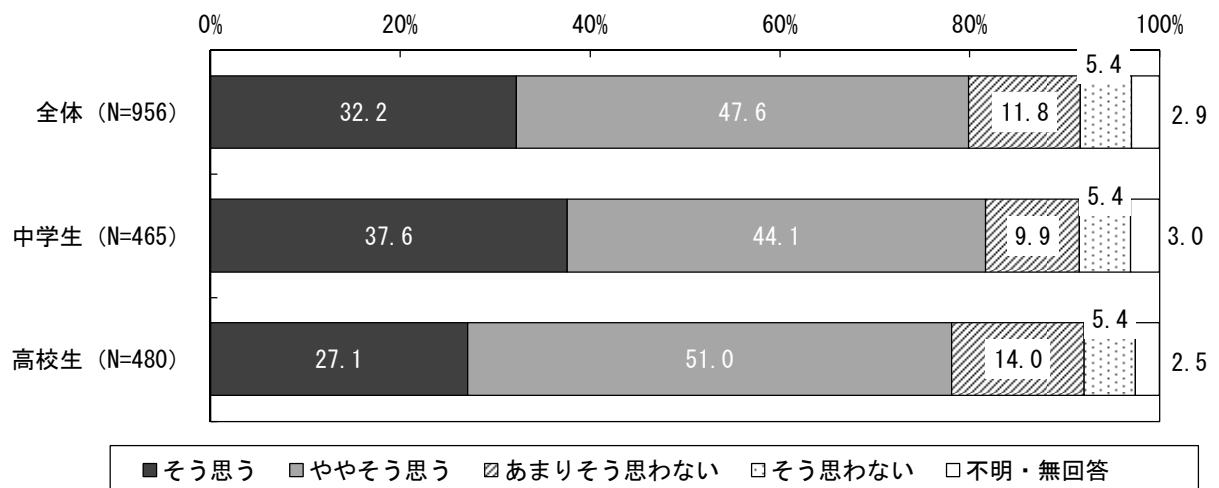
⑨子どもを育てるのは大変そうだ



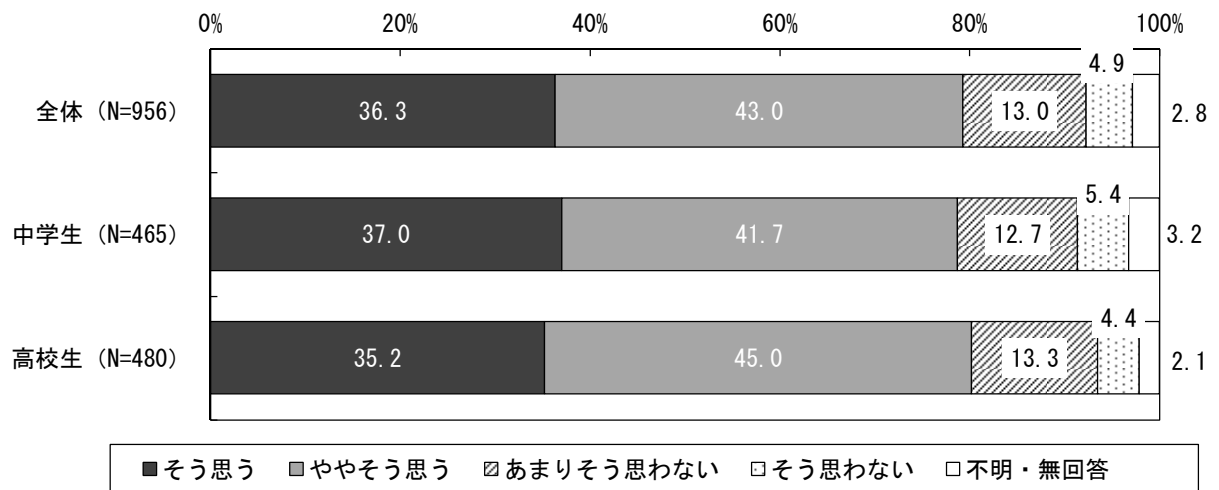
問 24 あなたは、三田市についてどう思いますか。(①～⑧のそれぞれについて、あなたの考えに近いもの1つに○)

肯定的な回答(「そう思う」または「ややそう思う」)が最も多いのは、「④自然が豊かなまち」で、「①明るいまち」「②安全なまち」「⑤子どもが育ちやすいまち」についても、肯定的な回答が約8割となっています。一方、「⑦市外の人にじまんできるまち」については否定的な回答(「あまりどう思わない」または「そう思わない」)が4割を超え、「⑥おとなが働きやすいま」「③便利なまち」についても、否定的な回答が3割を超えています。

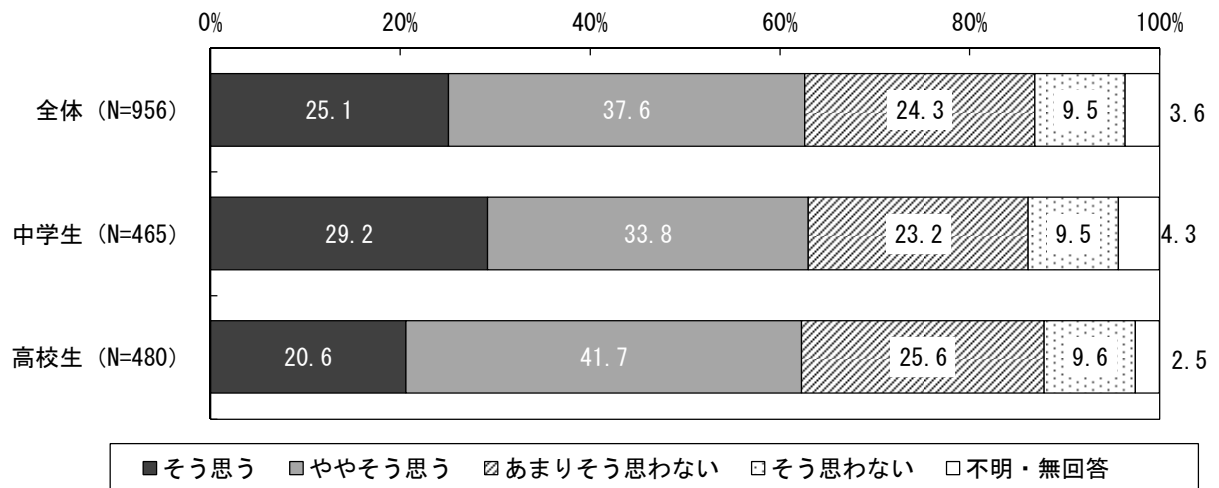
①明るいまち



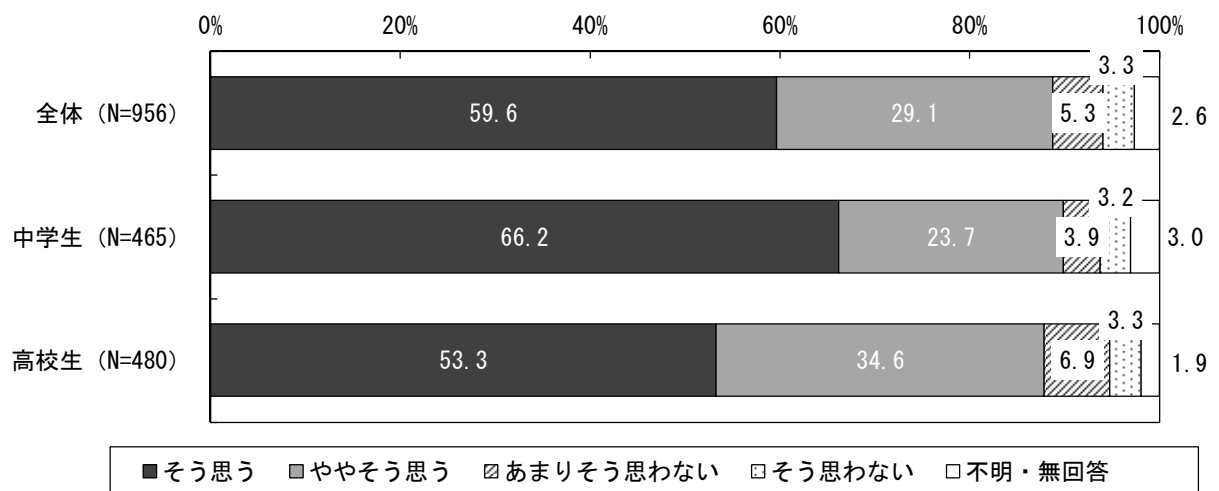
②安全なまち



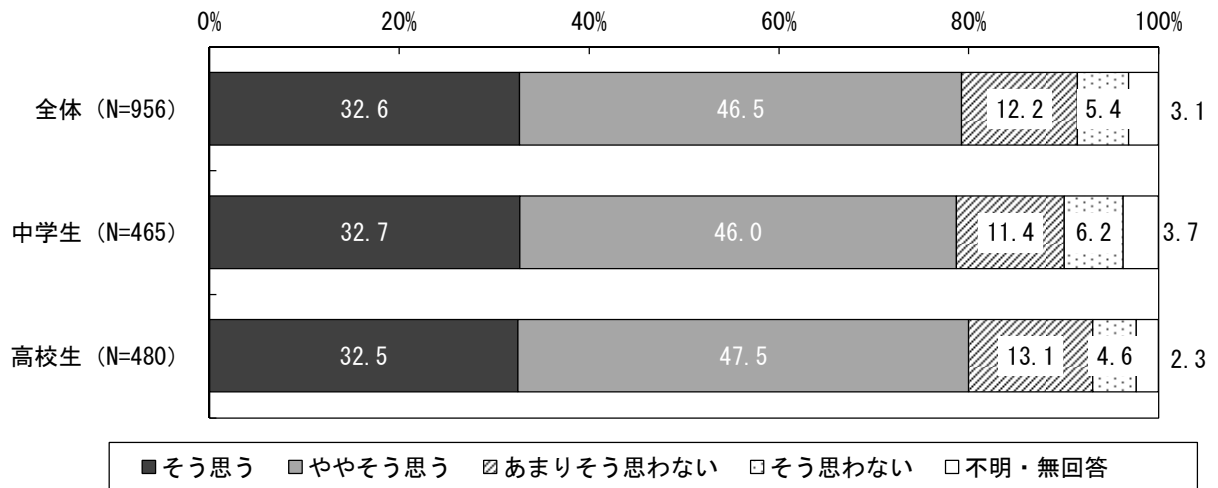
③便利なまち



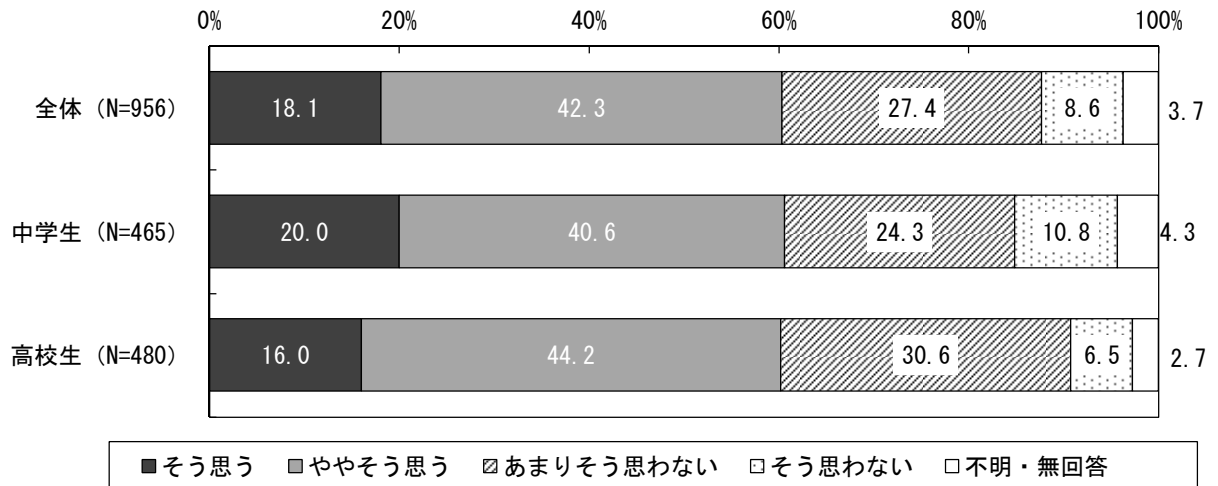
④自然が豊かなまち



⑤子どもが育ちやすいまち



⑥おとなが働きやすいまち



⑦市外の人にじまんでできるまち

